

バレット写本現代訳（2）

浜島 敏*

マタイによる福音書（2）

9 章

1 ゼブス^{おんふね}御舟に召して、^{ごさいしょ}御在所に着
かせ給うに、

2 中風^{ちゅうふう}を病んで床^{とこ}に就きける者^{もの}を具
し奉れば、その者^{もの}どものヒイデスを
御覧^{ごらん}あって、病人^{びょうにん}に、「いかに、子^こ、
汝^{なんじ}が咎赦^{とがゆる}されければ、頼^{たの}もしく思われ
よ」のたま^{おも}うに、

3 スキリバ^{なか}の中に悪口^{あっこう}し給うと思^{おも}う
心^{こころ}を知ろし召して、

4 宣^{のたま}わく、「何^{なに}とて悪念^{あくねん}を帯^{たい}せらるる
や」。

5 『汝^{なんじ}が咎赦^{とがゆる}されける』ということと
『起き上がりて自由^{じゆう}に歩^{あゆ}め』というこ
とは何れが易^{いず}かるべき^{やす}」。

1 イエスは舟に乗って湖を渡り、自
分の町に帰って来られた。

2 すると、人々が中風の人を床に寝
かせたまま、イエスのところへ連れて
来た。イエスはその人たちの信仰を見
て、中風の人に、「子よ、元気を出し
なさい。あなたの罪は赦される」と言
われた。

3 ところが、律法学者の中に、「この
男は神を冒瀆している」と思う者がい
た。

4 イエスは、彼らの考えを見抜いて
言われた。「なぜ、心の中で悪いこと
を考えているのか。

* Bin HAMAJIMA 本学名誉教授

6 ビルゼンの子、この世界にて咎を
 赦す力あることを分別せらるるために、
 病人に、「起き上がり、床を担いで家
 に帰れ」と言え、

7 立ち上がりて、我が家に帰りける
 なり。

8 在り合いける人々このことを見て、
 大きに恐れをなし、「人間に、かほど
 の力を授け給うよ」とて、デウスを敬
 い奉るなり。

5 『あなたの罪は赦される』と言うの
 と、『起きて歩け』と言うのと、どち
 らが易しいか。

6 人の子が地上で罪を赦す権威を持っ
 ていることを知らせよう。」そして、
 中風の人に、「起き上がって床を担ぎ、
 家に帰りなさい」と言われた。

7 その人は起き上がり、家に帰って
 行った。

8 群衆はこれを見て恐ろしくなり、
 人間にこれほどの権威をゆだねられた
 神を賛美した。

Dominica xviii post Pentecost. (聖霊御降臨後十八の主日) p.40v

1 IESVS von-fune ni mexite, go-zayxo ni ccucaxe-tamo ni, 2 chūbu vo yande (yami, yode) toco
 ni ccuqui-queru mono uo guxi-tatemaccureba, sono mono-domo no fides uo goran-atte, bionī ni, "Ycani, co,
 nanjji ga toga yurusare-queriba, tanomoxiqu vomouare yo." to notamo ni, 3 scriba no naca ni accō xi-
 tamo to vomo cocoro vo xiroximexite, 4 notamauaqu, "Nani tote aqunen vo tajxe-raruru ya?" 5
 "'*Najji ga toga yurusare-queru.' to yu coto to, 'Voqui-agarite jiyu ni ayume.' to yu coto va yzure ga
 yasucaru-bequi?" 6 Virgen no co cono xecay nite toga vo yurusu chicara aru coto vo funbet xe-raruru
 tame ni, beonin ni, "Voqui-agari, toco vo cataguete iye ni cayere." to notamayeba, 7 tachi-agarite, vaga
 iye ni cayeri-queru nari. 8 Ariay-queru fitobito cono coto vo mite, voqini vosore vo naxi, "Ninguen ni
 cafado no chicara vo sazzuque-tamo yo." tote, D's vo vyamay-tatemaccuru nari.

2 bionī=bionin; 5 *najji=nazjji; 8 D's=Deus;

1 〈御〉在所： 「ある人が住んでいる所、あるいは、今居る所」(『日葡』)

2 頼もしく思う： 「期待を掛ける、あるいは、信頼する」(『日葡』)

5, 6 節の「」の位置が新共同訳と異なっているが、バレットの方は、「ビルゼンの子」以後が次の文
 になっているため。

6 分別： 「判断の能力を働かして了解する、あるいは、合点がいく」(『日葡』)

8 在り合いける： 「居合わせる、たまたまその場にある」(『岩波』)

9 ゼズス、マテウスという人、肆に
 座して居られるを御覧あって、「我

9 イエスはそこをたち、通りがかり
 に、マタイという人が収税所に座って

が^{あと}後^きに来^{のたま}たら^たるべし」と宣^あえば、立^{おんあと}ち^{まい}上^{すなわ}が^{いえ}つて、御^ふ後^{もう}に参^{あまた}られ^{あくにん}けるなり。

10 即^{あまた}ち^{あくにん}その家^{まい}にて振^{はん}る舞^だい申^{まい}され^{はん}けるに、数^は多^{はん}のプ^{はん}ブリカ^だノと悪^は人^{はん}ども参^だり、ゼ^はズス、ヂ^はシポ^{はん}ロと^だもに飯^{はん}台^だにつ^{はん}き^だ服^{はん}するなり。

11 その時^{とき}、ハ^らリゼ^みウ等^みこのことを見^{なん}て、ヂ^{なん}シポ^だロに申^{なん}しけるは、「汝^{なん}達^だの師^し匠^{じやう}は何^{なん}とてプ^{あくにん}ブリカ^{しやう}ノ、悪^{はん}人^だと相^{はん}伴^だし給^{はん}うぞ」と言^{はん}いけるを

12 ゼ^きズス聞^めこし召^{のたま}して宣^{むび}わく。「無^む病^{びやう}の^{ひと}人^いのた^いめに医^い者^{しやえき}益^{ひやう}なし。た^ひだ病^{びやう}者^{しや}のた^ひめなり。

13 『サ^あキ^{われ}リヒ^のイ^のシ^のヨ^のよ^のりも憐^あれ^{われ}み^のを望^のむ』と^ゆ言^こうこと^なの心^なを何^な事^なぞと行^ゆいて^{なら}習^{われ}わ^よるべし。我^きは^{あくにん}ジ^よス^よトス^よを呼^よばん^よた^よめに来^よたら^よず、た^のだ^の悪^の人^のを呼^のばん^のた^のめなり」と宣^のうなり。

いるのを見かけて、「わたしに従いなさい」と言われた。彼は立ち上がってイエスに従った。

10 イエスがその家で食事をしておられたときのことである。徴税人や罪人も大勢やって来て、イエスや弟子たちと同席していた。

11 ファリサイ派の人々はこれを見て、弟子たちに、「なぜ、あなたたちの先生は徴税人や罪人と一緒に食事をするのか」と言った。

12 イエスはこれを聞いていわれた。「医者が必要とするのは、丈夫な人ではなく病人である。

13 『わたしが求めるのは憐れみであって、いけにえではない』とはどういう意味か、行って学びなさい。わたしが来たのは、正しい人を招くためではなく、罪人を招くためである。」

In festo Sancti Mathei Apost. (使徒福音史家聖マタイの祝日) p.92

9 IESVS Matheus to yu fito, ychigura (qura) ni zaxite yrare-queru uo goran atte, "Uaga ato ni quitarraru-bexi." to notamayeba, (saixi zayfo uo saqi to-xite banji uo uchi-sutete) *tachiagate, von-ato ni *mayrari-queru nari. 10 Sunauachi sono iye nite furumay mosare-queru ni, amata no publicano to acunin-domo mayri, IESVS discipolo tomo ni fandaj ni ccuqui, bucusuru nari. 11 Sono toqui Phariseu-ra cono coto vo mite, discipolo ni moxi-queru ua, "Nandachi no xixo ua nani tote publicano, acunin to xoban-xi-tamo zo?" yqueru uo, 12 IESVS quicoxi-mexite, notamaqu, "Mubeo no fito no tame ni yxa yequi naxi, tada beoja no tame nari. 13 'Sacrificio yorimo auaremi uo nozomu.' to yu coto no cocoro uo nani-goto zo to yuyte narauaru bexi. Vare ua iustos uo yoban tame ni quita-razu, tada acunin vo yoban tame nari." to notamo nari.

9 *tachiagate=tachiagatte; *mayrari=mayrare;

9 肆(いちぐら) : 「(市座の意。座(くら)は財物を置く所) 上代や中古に、市場で売買や交換

のために、商品を並べて置いた所」(『日本国語大辞典』)「令制に定めた、市の中の店」(『新潮』)

参られ：ローマ字表記は mayrari と見える。

10 ブブリカノ： 葡 publicano、羅 publicanus、「収税吏」

飯台：「食事用の丈の高い卓」(『日葡』)

(saixi ... sutete)：この部分は、解説ではなくて、追加であるが、原文にもないものである。

11 相伴：「食卓の相手や食事のお伴をすること」(『日葡』)

12 聞こし召す：「貴人が物事を聞く、または、聞き及ぶ」(『日葡』)

13 サキリヒシヨ： 葡 sacrificio、「犠牲」。

ジュストス： 葡 justo(s)、「正しい人」

18 ゼズス、諸人に御言葉^{しよにん みことば のたち ところ}を宣う所に
サセルダウテの司一人^{つかさいちにんき}来た^{はいたてまつ}って拝し奉
り、「いかに、ドミネ、我が娘^{わ むすめ}、ただ
今死^{いまし}ぬ。御幸^{ごこう}あつて御手^{おんて}をかけ給^{たま}わば、
蘇^{よみがえ}るべし」と申^{もう}されければ、

19 ゼズス、ヂシボロ^{め っ}を召し連^めれられ、
彼の人の後より赴^かかせ給^{ひと あと おもむ たも}うなり。

20-21 ここに十二年の間、血^{じゅうにねん あいだ ち くだん やまい}の下病
を患^{わづろ}う女人、ゼズスの御後^{よにん おんあと まい}に参り、
御衣^{おんころも}に手^てをかけ申^{おんころも}さば、病治^{もう}せんと思
われ、御衣^{おんころも}の裾^{すそ}に手^てをかけ奉^{たてまつ}れば、

22 ゼズス顧^{かえり}み給^{たま}い、かの女人^{よにん}を御覧^{ごらん}
あつて、

「いかに、娘^{むすめ}、頼^{たの}もしく思^{おも}われよ。受^う
けられたるヒイデス^{たす}によって助けられ
けるぞ」と宣^{のたま}えば、その時^{とき}より快気^{かい き}を
得^えらるるなり。

23 ゼズス、サセルダウテの私宅^{したく っ}に着
き給^{たま}い、泣^なき悲^{かな}しむ子ども^{もの}を御覧^{ごらん}あつ
て、

24 「そこを退^のかれよ、その娘^{むすめ}は死^しする
にあらず、臥^ふしける」と宣^{のたま}えば、嘲^{あざけ}り

18 イエスがこのようなことを話して
おられると、ある指導者がそばに来て、
ひれ伏して言った。「わたしの娘がたっ
たい死にました。でも、おいでになっ
て手を置いてやってください。そうす
れば、生き返るでしょう。」

19 そこで、イエスは立ち上がり、彼
について行かれた。弟子たちも一緒だっ
た。

20 すると、そこへ十二年間も患って
出血が続いている女が近寄って来て、
後ろからイエスの服の房に触れた。

21 「この方の服に触れさえすれば治し
てもらえる」と思ったからである。

22 イエスは振り向いて、彼女を見な
がら言われた。「娘よ、元気になりな
さい。あなたの信仰があなたを救った。」
そのとき、彼女は治った。

23 イエスは指導者の家に行き、笛を
吹く者たちや騒いでいる群衆を御覧に
なつて、

24 言われた。「あちらへ行きなさい。

たてまつ もの

奉る 者あり。

25 その時、^{とき}諸人を^{しよにん}外へ^{ほか}出だし、^い内に^{うち}
^い入らせられ、^{しにん}死人の手を^て取らせ^{とら}給う^{たも}

^{おりふし}折節、^{たちま}忽ち^{にょにんよみがえ}女人蘇りければ、

26 このこと^{きんごく}近国に^{ふうふんいた}風聞致しけるなり。

少女は死んだのではない。眠っている
 のだ。」人々はイエスをあざ笑った。

25 群衆を外に出すと、イエスは家の
 中に入り、少女の手をお取りになった。
 すると、少女は起き上がった。

26 このうわさはその地方一帯に広まっ
 た。

Dominica xxij post Pentecost (聖霊御降臨後第二十三の主日) p.43v

18 IESVS xonin ni mi-cotoba vo notamo tocoro ni, sacerdote no *ccucassa ychinin quitatte, faixi-
 tatemaccuri, "Ycani, Domine, vaga musme tadaima xinu. Goco atte, von-te vo caque-tamauba,
 yomigayeru-bexi." to mosare-quereba, 19 IESVS discipolo vo mexi-ccure-rare, cano fito no ato yori
 vomomucaxe-tamo nari. 20-21 Coco ni juni-nen no ayda, chi no cūdaru yamay uo uazuro nhonin, JESVS
 no von-ato ni mayri, von-coromo ni te vo caque-mosaba, yamay jixen to vomouare, von-coromo no suso
 ni te vo caque-tatemaccureba, 22 IESVS cayerimi-tamay, cano nhonin vo goran atte, "Ycani, musme,
 tanomoxiqu vomouare yo. Vque-raretaru fides ni yotte tasuque-rare-queru zo." to notamayebe, sono toqui
 yori quaiqui vo yeraruru nari. 23 IESVS sacerdote no xitacu ni ccuqui-tamay, naqi-canaximu mono-domo
 vo goran-atte, 24 "Soco vo nocare yo, sono musme ua xisuru ni arazu. Fuxi-queru." to notamayebe,
 azaqueri-tatemaccuru mono ari. 25 Sono toqui xonin vo foca ye idaxi, vchi ni yraxe-rare, xinin no te
 uo toraxe-tamo vorifuxi, tachimachi nhonin yomigayeri-quereba, 26 cono coto qūgocu ni fūbū itaxi-queru
 nari.

18 *ccucassa=cucasa 20-21 cūdaru=cūdaru; 26 qūgocu=quingocu; fūbū=fūbū;;

1 8 サセルダウテの司： 他の個所では「祭司長」の意味で使われているが、ここでは「会堂の司、
 指導者」の意味で使われている。

娘： ローマ字表記は musume ではなく musme。

2 0 下る： ローマ字 cūdaru (くんだる)。

2 2 快気： ローマ字表記が quaiqui とあることから、「クァイキ」と発音されていたと思われる。

2 6 風聞： 「世間に伝わる評判、あるいは噂」(『日葡』)

1 0 章

16 ゼズス、^{のたま}ヂシポロに^{われ}宣わく、「我
^{なんだち}汝達を^{おおかめ}狼の中に^{なか}羊の^{ひつじ}如く^{ごと}遣わすなり。^{つか}

16 「わたしはあなたがたを遣わす。
 それは、狼の群に羊を送り込むような

されば、蛇^{じゃ}の如く賢く、鳩^{ほと}の如く正直^{しょうじき}なるべし。

17 人^{ひと}に対して用心^{たいようじん}せらるべし。その故^{ゆえ}は、汝^{なんだち}達^{せんぎ}の座^ざに渡^{わた}され、シナゴウ^{しなごう}ウガ^{ちやうやく}にて打擲^{うちやく}せられ、

18 ジュデオ、ゼンチヨに我が証^わ拠^{しょうこ}に立^たたんため我^{われ}に對^{たい}して帝^{てい}王^{おう}、權^{けん}門^{もん}の前^{まえ}に出^いだされ、

19 されば渡^{わた}されん時^{とき}に到^{いた}て、何^{なに}事^{ごと}、あるいは何^{なに}と様^{よう}に言^ゆうべきと案^{あん}ぜらるべからず。その時^{とき}に臨^{のぞ}うで言^ゆわるべきことを給^{たま}わるべし。

20 その故^{ゆえ}は汝^{なんだち}達の才^{さい}智^{いち}にて言^ゆわるべからず。ただ汝^{なんだち}達^{やど}に宿^{たち}り給^{おんおや}う御^の親^{のたま}のスピリツ・サンチ宣^{のたま}うべし。

21 兄弟^{きょうだい}は兄弟^{きょうだい}を殺^{ころ}さんため、親^{おや}は子^こを殺^{ころ}さんために渡^{わた}すべし。子^こは親^{おや}に^{しきたいせつがい}色^し体^{たい}殺^{ころ}害^{がい}すべし。

22 我が名^わに對^{たい}して諸^{しよ}人^{にん}、汝^{なんだち}達^にを憎^{にく}むべきに、その終^おわりまで届^{とど}かん人^{ひと}は助^{たす}かるべし」と宣^{またち}うなり。

ものだ。だから、蛇のように賢く、鳩のように素直になりなさい。

17 人々を警戒しなさい。あなたがたは地方法院に引き渡され、会堂で鞭打たれるからである。

18 また、わたしのために総督や王の前に引き出されて、彼らや異邦人に証しをすることになる。

19 引き渡されたときは、何をどう言おうかと心配してはならない。そのときには、言うべきことは教えられる。

20 実は、話すのはあなたがたではなく、あなたがたの中で語ってくださる、父の霊である。

21 兄弟は兄弟を、父は子を死に追いやり、子は親に反抗して殺すだろう。

22 また、わたしの名のために、あなたがたはすべての人に憎まれる。しかし、最後まで耐え忍ぶ者は救われる。」

In commemoratione Sancti Pauli Apostoli. (使徒聖パウロの記念日) p.95

16 IESVS discipolo ni notamauaqu "Vare *nadachi uo vocame no naca ni ficcuji no gotocu ccucauasu nari. Sareba ja no gotocu caxicoqu, fato no gotocu xojjiqiu naru-bexi. 17 Fito ni tayxite yojin xeraru-bexi. Sono yuye ua, nādachi xengui no za ni uatasare, sinagoga nite chochacu xerare, 18 Judeo, jentio ni vaga *xocō ni tatan tame vare ni tajxite, teyuo, quenmon no maye ni idasare, 19 sareba, vatasaren toqui ni ytatte, nani-goto, arujua nani-to-yo ni yu-bequi to anjeraru-becarazu. Sono toqui ni nozōde yuaru-bequi coto uo tamauaru-bexi. 20 Sono yuye ua *nadachi no saichi nite, yuaru-becarazu, tada nādachi ni yadori-tamo von-voya no Spu Santi notamo-bexi. 21 Quoday ua quoday uo corosan tame, voya ua co uo corosan tame ni uatasu-bexi. Co ua voya ni xiquitay xetgay su-bexi. 22 Vaga na ni tajxite xonī nādachi uo nicumu-bequi ni, sono vouari made todocan fito ua tasucaru-bexi." to notamo nari.

16 *nadachi=nandachi; 17 nadachi=nandachi; 18 *xocō=xōco; 19 nozōde=nozonde; 20 *nadachi=nandachi;

nadachi=nandachi; Spu Santi=Spiritu Sancti (聖霊) 22 xoni=xonin: nādachi=nandachi:

1 8 権門: 「司法官、あるいは、長官」(『日葡』)

1 1 章

2 籠者^{ろうしゃ}となられけるジョアン、キリシ^{ごこうせき}の御行績^{き たま}を聞き給い、弟子^{で し}二人^{ふたり}を差し遣^さわし、

3 「来^きたり給^{たま}うべき御拯^{おんたす}け手^ては御身^{おんみ}にましますか。さら^さずば別^{つか}に待^{まち}ち申^{もう}すべきや」と問^とい奉^{たてまつ}られければ、

4 ゼズス、御^ご辺^{へん}歸^{かえ}りて、見^み、聞^きかれけることをジョアンに語^{かた}られよ。

5 盲目^{もうもく}は見^み、足^{あし}蹇^{しな}えたる者^{もの}は歩^{あり}き、癩^{らい}病^{びよう}は清^{きよ}く癒^いえ、聾^{みみし}いたる者^{もの}は聴^きき、死人^{しにん}は蘇^{よみが}えり、貧^{ひに}人にエワンゼリヨ^{ひろ}を弘^{ひろ}むる。

6 我が上^わにおいてエスカンダ^うロ^うを受^うけざるものはバ^のア^{たま}トたるべし」と宣^{のたま}い、

7 歸^{かえ}し給^{たま}いて後^{のち}、御^{おん}前^{まえ}の人^{ひと}々にジョアン^{のたま}の上^うを宣^{のたま}わく、「何^{なに}事^{ごと}を見^みんとてデゼルト^{おもむ}へ赴^{かぜ}かれけるぞ。風^{かぜ}に靡^{なび}く竹^{たけ}を見^みんためか。

8 柔^{やわ}らかなる衣^い装^{しょう}を着^きる者^{もの}を見^みんためか。柔^{やわ}らかなる衣^い装^{しょう}を着^きける人^{ひと}は禁^{きん}中^{ちゆう}などにこそあれ、

9 ポロヘエタ^のを見^みんために赴^{おもむ}かれけるや。汝^{なんだち}達^いに言^{まこと}う。真^{まこと}にその人^{ひと}はポロ

2 ヨハネは牢^{らう}の中で、キリストのなさったことを聞^きいた。そこで、自^{おの}分の弟子^{でし}たちを送^{おく}って、

3 尋^{もと}ねさせた。「来^きるべき方^{かた}は、あなたでし^{でし}ょうか。それとも、ほかの方^{かた}を待^{まち}たなければなりませんか。」

4 イエスはお答^{こた}えにな^なった。「行^いって、見^み聞^ききして^{して}いることをヨハネに伝^{つた}えなさい。

5 目^めの見^みえない人^{ひと}は見^みえ、足^{あし}の自^{おの}由^{よし}な人^{ひと}は歩^{ある}き、思^{おも}い皮^{かわ}膚^ふ病^{びよう}を患^{かか}っている人^{ひと}は清^{きよ}くなり、耳^{みみ}の聞^{きこ}えな^{ない}人^{ひと}は聞^{きこ}え、死^し者^{しや}は生^いき返^{かえ}り、貧^ひしい人^{ひと}は福^{ふく}音^{おん}を告^つげ知^しらされて^{いて}いる。

6 わたしにつま^{つま}ずか^{ずか}ない人^{ひと}は幸^{さい}いである。」

7 ヨハネの弟子^{でし}たち^{たち}が歸^{かえ}ると、イエスは群^{ぐん}衆^{しゆう}にヨハネについて話^わし始^{はじ}められた。「あ^あなた^{なた}がた^たは、何^{なに}を見^みに荒^あれ野^のへ行^いったのか。風^{かぜ}にそよぐ葦^{あし}か。

8 では、何^{なに}を見^みに行^いったのか。しなやかな服^{ふく}を着^きた人^{ひと}か。しなやかな服^{ふく}を着^きた人^{ひと}なら王^{わう}宮^{きゆう}に^{いて}る。

ヘエタよりも^{まさ}勝りたる。

10 これは『御^{おん}身^みの道^{みち}を造^{つく}らしめんア
ンジョ^{おん}を御^{おん}身^みの先^{さき}に遣^{つか}わす』とスキリ
ツウラに表^{あらわ}れたるなり。

9 では、何を見に行ったのか。預言者か。そうだ。言っておく。預言者以上の者である。

10 『見よ、わたしはあなたより先に使者を遣わし、あなたの前に道を準備せよう』と書いてあるのは、この人のことだ。

Dominica secunda aduentus (待降節第二主日) p.4v

2 Roxa to narare-queru João, Christo no gocoxequi (co, uoconay) vo quiqui-tamay, dxi ninin vo saxi-ccucauaxi, 3 "Quitari-tamo-bequi von-tasuquete va von-mi nite maximasu ca? Sarazu *va (sode naquba) bechi ni machi-mosu-bequi ya?" to *toy-tatematcu-rare-quereba, 4 JESVS "Gofen cayerite mi, quicare-queru coto vo Joan ni catarare yo. 5 Mômocú va mi, axi naye-taru mono va ariqui (aruqi), raybeo va quiyogu yye, mimixij taru mono va quiqui, xinín ua yomigayeri, finin ni euagelho vo fromuru. 6 Vaga vye ni uoyte escandalo (susamu coto nay tomogara ua, varu maximasanu) vo vquezaru mono va beato taru-bexi." to notamay, 7 cayexi (cayesaxe)-tamayte nochi vō-maye no fito-bito ni João no vye vo notamauaqu, "Nanigoto vo min tote dezerto ye vomomucare-queru zo? Caje ni nabiqu taque vo min-tame ca? 8 Yauaraca naru yxo vo quiru mono vo min-tame ca? Yauaraca naru yxo vo qui-queru fito ua quinchū (dayri no uchi) nado ni *cosso are. 9 Profeta vo mī-tame ni vomomucare-queru ya? Nandachi ni yu. Macoto ni sono fito ua profeta yori mo masari taru (profeta no naca no profeta nari). 10 Core va, "Vō-mi no michi vo ccucuraximen anjo vo von-mi no saqui ni ccucauas." to scriptura ni arauaretaru nari.

3 *va=ba; *toy-tatematcu-rare=toy-tatemaccu-rare; 7 vō-maye=von-maye; 8 *cosso=coso; 9 mī-tame=min-tame;

10 *vo-mi=von-mi;

2 籠者：「囚人、すなわち、獄舎に入れられた者」(『日葡』)

3 さらずば：ローマ字表記は sarazu va であるが、sarazu ba の誤記と考える。

問い奉られ：ローマ字表記の *matcurare は matçurare か maccurare の誤記。

4 御辺：「貴所に同じ」(『日葡』)。貴所「あなた、あなた様。話しかける相手を尊敬して言う」(『日葡』)。

5 貧人：「貧しい人、貧乏な人」(『日葡』)。『日葡』には、finnin と finin の見出しがある。

エワンゼリヨ：葡 evangelho、希 euangelion (良い便り)、「福音」。

6 エスカンドロ：escāndalo、羅 scandalum、希 scandalon (わな、落とし穴、障害物)、「躓き」

8 禁中：「国王の宮殿」(『日葡』)

25 ゼズス^{のたま}宣わく、「いかに、我^わが

25 そのとき、イエスはこう言われた。

おんおや てんち おんあるじ ごと
御親、天地の御主。かくの如きこのこ
とを智者、学匠に隠して小さき者に顯
し給うによって、御礼を申すなり。

26 いかに、パアレ、御前にかくの
如く定めたく思し召す故に、

27 ある程のことを我に渡し給うなり。
御親より他に子を知らざる如く、親を
知ること、子より他になし。もし、そ
の子、親を顯すにおいては余人も知る
べし。

28 辛苦を致し、重荷を負う輩皆我に
来たられよ。悉く宥め達すべし。

29 然れば、我が首枷を取って汝達の
上に置かれよ、我が柔和と心の謙りを
我よりならび習わるべし。然るにおい
ては、汝達のアニマの寛ぎを見つけれ
るべきなり。

30 真に我が首枷は御意よくして、
重荷は軽き」と宣うなり。

「天地の主である父よ、あなたをほめ
たたえます。これらのことを知恵ある
者や賢い者には隠して、幼子のような
者にお示しになりました。

26 そうです、父よ、これは御心に適
うことでした。

27 すべてのことは、父からわたしに
任せられています。父のほかに子を知
る者はなく、子と、子が示そうと思う
者のほかには、父を知る者はいません。

28 疲れた者、重荷を負う者は、だれ
でもわたしのもとに来なさい。休ませ
てあげよう。

29 わたしは柔和で謙遜な者だから、
わたしの軛を負い、わたしに学びな
さい。そうすれば、あなたがたは安らぎ
を得られる。

30 わたしの軛は負いやすく、わたし
の荷は軽いからである。」

Sanct Mathi. Apost. Sanct. Francisco (使徒聖マチア並びに聖フランシスコの祝日) p.85v

25 IESVS notamauaqu, "Ycani, uaga von-voya, tenchy no von-Aruji, caquno-gotoqi cono coto vo chixa, gacuxo ni cacuxite chijsaqui mono ni arauaxi-tamo ni yotte von-rej uo mosu nari. 26 Ycani, Pe., von-maye ni caquno gotocu sadame-taqu vonboximesu yuye ni, 27 aru fodo no coto uo uare ni uataxi-tamo nari. Von-voya yori foca ni co vo xirazaru gotocu, voya uo xiru coto co yori foca ni naxi. Moxi sono co voya vo arauasu ni uoyte ua, yoji mo xiru-bexi. 28 Xinqu vo ytaxi, vomoni uo vo tomogara mina vare ni quitarare yo. Cotogotocu nadame tassu-bexi. 29 Xicareba vaga cubicaxe vo totte, nādachi no vye ni vocare yo. Vaga nhuua to cocoro no fericundari uo vare yori narabi narauaru-bexi. Xicarū ni uoyte ua nandachi no anima no cuccurogui uo miccuque-raruru-bequi nari. 30 Macoto ni vaga cubicaxe ua guioy yoquxite (ajjiuay yoqu) vomoni ua caroqi." to notamo nari.

26 Pe.=Padre; 27 yoji=yojin; 29 nādachi=nandachi;

26 思し召す：ローマ字 vonboximesu (ヨンボシメス)。

- 27 余人： 「別の人」（『日葡』）
 28 首枷： 原義は牛やその他の動物につける「くびき」。
 29 原文では narauaru-bexi の前に narabi があるが、消線が引かれているように見える。

13章

24 ドミヌス・ゼズス、ヂシポロ^{のたま}に宣
 わく、「我が田畠^{わ でんばく}に良き種^{よ たね}を蒔^まく人^{ひと}に
 天^{てん}の国^{くに}を譬^{たと}ゆるなり。

25 されば人々^{ひとびと}臥^ふしける隙^{ひま}に、我が敵^{わ てき}
 来^きたつて、小麦^{しょうばく}の種^{たね}の中^{なか}にジザニヤを
 蒔^まき交^{まんじ}えて帰^{かえ}るなり。

26 その後、穂^{のち}に出^ほでたる小麦^{いん}の中^{しょうばく}に
 ジザニヤ交^{まんじ}りければ、

27 人々^{ひとびと}司^{つかさ}に告^つげて言^ゆう、『いかに、主^{あるじ}、
 か^{でんばく}の田畠^{よ たね}に良き種^まを蒔^まき、共^{とも}にジザニ
 ヤはいかなる所^{ところ}より生^おい出^いでけるぞ』
 と申^{もう}しければ、

28 司^{つかさ}の曰^{いわ}く、『人間^{にんげん}の敵^{てき}これ^{いた}を致^{いた}せし』
 とありければ、奴等^{やつこらかさ}重^{いわ}ねて曰^{われら}く『我等^{われら}
 行^ゆきてその草^{くさ}を引^ひき抜^ぬくべきや』と申^{もう}
 しければ、

29 主人^{しゅじん}の曰^{いわ}く、『いやとよ、今^{いま}その草^{くさ}
 を引^ひき抜^ぬくならば、忽^{たちまち}ち小麦^{しょうばく}交^{まんじ}えて抜^ぬ
 くべし。

30 刈^かるべき時^{とき}まで二^{ふた}さま共^{とも}におき、
 刈^かり取^とる時^{とき}に臨^{のぞ}んで、刈^かるべき者^{もの}に
 『まずジザニヤを掴^{つか}んで火^ひにくべ、ま
 た小麦^{しょうばく}を我が倉^{くら}に納^{おさ}めよ』とありける」

24 イエスは、別のたとえを持ち出し
 て言われた。「天の国は次のようにたと
 えられる。ある人が良い種を畑に蒔
 いた。

25 人々が眠っている間に、敵が来て、
 麦の中に毒麦を蒔いて行った。

26 芽が出て、実ってみると、毒麦も
 現れた。

27 僕たちが主人のところに来て言っ
 た。『だんなさま、畑には良い種をお
 蒔きになったではありませんか。どこ
 から毒麦が入ったのでしょうか。』

28 主人は、『敵の仕業だ』と言った。
 そこで、僕たちが、『では、行って抜
 き集めておきましょうか』と言うと、
 29 主人は言った。『いや、毒麦を集め
 るとき、麦まで一緒に抜くかもしれな
 い。

30 刈り入れまで、両方とも育つまま
 にしておきなさい。刈り入れの時、
 「まず毒麦を集め、焼くために束にし、
 麦の方は集めて倉に入れなさい」と、
 刈り取る者に言いつけよう。』

のたま
と宣うなり。

Dominica quinta post Epifan. (御公現後の第五主日) p.14

24 D. JESVS discipolo ni notamauacu, "Vaga dembacu ni yoqui tane uo maqui fito ni ten no cuni uo tatoyuru nari. 25 Sareba fitobito fluxi-queru fima ni, vaga tequi *quitate, xobacu no tane no naca ni zizania vo maqui mājiyete cayeru nari. 26 Sono nochi fo ni indetaru xobacu no naca ni zizania mājiri-quereba, 27 fitobito *ccucassa ni ccuquete yu, 'Ycany, aruji, cano dembacu ni yoqui tane uo maqui tomo ni *zizani ua ycanaru tocoro yori voy-ide-queru zo?' to moxi-quereba, 28 *ccucassa no yuaqu 'Ninguen no tequi core vo itaxexi.' to ari-quereba, yaccuco-ra *cassanete iuaqu, 'Varera yuquite, sono cusa vo fiqui-nuqu-bequi ya?' to moxi-quereba, 29 xujin no yuaqu, 'Yyatoyo, yma sono cusa vo fiqui-nuqu naraba, tachimachi xobacu *majite nuqu-bexy. 30 Caru-bequi toqui made 2a-sama tomo ni voqui, cari-toru toqui ni nozonde, caru-bequi mono ni 'Mazzu zizania vo ccucande fi ni cube, mata xobacu vo vaga cura ni vosame yo.' to ary-queru." to notamo nari.

24 D.=dominus; 25 *quitate=quitate; mājiyete=mājiyete; 26 mājiri=mājiri; 27 *ccucassa=ccucasa; *zizani=zizania;

28 *ccucassa=ccucasa; *cassanete=casanete; 29 *majite=ma(n)jite, or ma(n)jiyete; 30 2a-sama=futa-sama;

25 ジザニヤ： 羅 zizania.「燕麦、ドクムギ属」

28 奴： ローマ字表記 yaccuco (『日葡』 yatcuco)。いずれにせよ、「やつこ」ではなく、「やつこ」である。「下僕、奴隷、または、捕虜」(『日葡』)

29 交えて： ローマ字表記では majite であり、majitte の誤記とも考えられるが、文章の構造からは「交じって」よりも「交えて」の方が好ましいので、あえて、majiyete (majiiete, majijete) とし、そのように理解した。

31 ゼズス、万民に譬えを宣わく、
「ある人、わが畠に蒔きける芥子の粒
を天の国に譬ゆるなり。」

32 されば、この粒は万ずの種の中に
第一小さきと雖も、生じ出づるときに
は、諸草に勝りて生長し、天の鳥類来
たつてその枝葉の下に住み居る程の
樹木となるなり」。

33 重ね譬えを述べて宣わく。「ある
女人小麦の粉、器物三つに膨るる程入
れたるホロメントを天の国に譬ゆるな
り」。

31 イエスは、別のたとえを持ち出し
て、彼らに言われた。「天の国はから
し種に似ている。人がこれを取って畑
に蒔けば、

32 どんな種よりも小さいのに、成長
するとどの野菜よりも大きくなり、空
の鳥が来て枝に巣を作るほどの木にな
る。」

33 また、別のたとえをお話しになっ
た。「天の国はパン種に似ている。女
がこれを取って三サトンの粉に混ぜる
と、やがて全体が膨れる。」

34 かくの如く万民へ譬えを取りて宣
い、譬えなくして宣うことなし。

35 これは、『譬えを取りて、我が口を
開け、世界の始まりよりの秘密を吐き
出すべし』とのポロヘシヤを遂げ給わ
んがためなり。

34 イエスはこれらのことをみな、た
とえを用いて群衆に語られ、たとえを
用いないでは何も語られなかった。

35 それは、預言者を通して言われて
いたことが実現するためであった。
「わたしは口を開いてたとえを用い、
天地創造の時から隠されていたことを
告げる。」

Dominica sexta post Epiph. (御公現後の第六主日) p.14v

31 JESVS banmin ni tatoye vo notamauaqu, "Aru fito vaga fataqe ni maqui-queru caraxi no ccubu vo, ten no cuni ni tatoyuru nari. 32 Sareba cono ccubu ua yorozu no tane no naca ni day-ychi chijsaqui to *yedomo, xoji izuru *toquinba, xoso ni masarite xeijoxi ten no choruj *quitate sono yenda-fa no xita ni sumi-iru fodo no jumocu to naru nari." 33 Casane tatoye vo nobete notamauaqu, "Aru nhonin xobacu no co, quimot (vccuua-mono) miccu ni fucururu fodo yre-taru fromento vo ten no cuni ni tatoyuru nari." 34 Caquno gotocu banmin ye tatoye vo torite notamay, tatoye naquxite notamo coto naxi. 35 Core va 'Tatoye vo torite, vaga cuchi vo aque, xecay no fajimari yori no fimit vo faqui-idasu-bexi.' tono profecia vo togue-tamauan ga tame nari.

31 *quitate=quitate; 32 *yedomo=yyedomo; *toquinba=toquiniva;

3 2 ときには：ローマ字表記はtoquinbaとある。意味不明であるが、toqui nivaと考えた。

3 3 小麦：『日葡』にはxôbacu, comuguiの見出しあり。

三つ：ローマ字表記はmiccuであり、「みつ」なのか「みつつ」なのかははっきりしない。

ホロメント：葡 fermento。「酵素、酵母、パン種」

44 ゼブス、デシポロに譬えを宣わく、
「山野に隠し置きたる数多の財宝に天
の国を譬ゆるなり。されば、これを見
つけける人、深く隠し喜びをもって帰
り、我が身の所帯を悉く沽却し、彼の
山野を買いけるなり。」

45 同じく、天の国を勝れたる珠を尋
ぬる商人に譬ゆるなり。

46 彼の人一つの珠を見つけて、我が

44 「天の国は次のようにたとえられ
る。畑に宝が隠されている。見つけた
人は、そのまま隠しておき、喜びなが
ら帰り、持ち物をすっかり売り払って、
その畑を買う。」

45 また、天の国は次のようにたとえ
られる。商人が良い真珠を探している。

46 高価な真珠を一つ見つけると、出
かけて行って持ち物をすっかり売り払

せんぐ こきやく くだん たま か
世具を沽却し件の珠を買いけるなり。

47 また数多の魚類十分に入りたる
かいちゆう あみ てん くに たと
海中の網に天の国を譬ゆるなり。

48 されば、彼の網を浜に曳き上げ、
よ うお わ うつわもの えら い あ
良き魚をば我が器物に選び入れ、悪し
き魚をば捨つるなり。

49 然れば、この世界の終わりに、か
しか せ かい お
くの如くあるべし。その故はアンジョ
あまくんだり ぜんにん なか あくにん えら
天降り、善人の中より悪人を選び、

50 火の坑に墜され、その所に震いわ
ひ あな おと ところ ふる
ななき、泣き悲しむことあるべし。

51 「このこと、汝達心得らるるや」
のたま おのおの りようじよう もう
と宣えば、各々、「領掌す」と申され
ければ、

52 重ねて宣いけるは、「天の国の智者、
かさ のたま てん くに ちしや
がくしよう くに ふる あたら もの と い
学匠は倉より古き、新しき物を取り出
だしける富貴の亭主に譬ゆるなり」と
のたち
宣うなり。

い、それを買う。

47 また、天の国は次のようにたとえ
られる。網が湖に投げ降ろされ、いろ
いろな魚を集める。

48 網がいっぱいになると、人々は岸
に引き上げ、座って、良いものは器に
入れ、悪いものは投げ捨てる。

49 世の終わりにもそうなる。天使た
ちが来て、正しい人々の中にいる悪い
者どもをより分け、

50 燃え盛る炉の中に投げ込むのであ
る。悪い者どもは、そこで泣きわめい
て歯ぎしりするだろう。」

51 「あなたがたは、これらのことが
みな分かったか。」弟子たちは、「分か
りました」と言った。

52 そこで、イエスは言われた。「だか
ら、天の国のことを学んだ学者は皆、
自分の倉から新しいものと古いものを
取り出す一家の主人に似ている。」

Sancta Luzia, mata Sancta Ana. (聖女ルチア、また聖アンナ) p.97

44 IESVS discipolo ni tatoye vo notamauaqu, "Sanya ni cacuxi-uoqui-taru amata no zai fō ni ten no cuni uo tatoyuru nari. Sareba, core uo miccuque-queru fito fucaqu caquxi, yorocobi uo motte cayeri, uaga mi no xotay uo cotogotocu coquiacuxi (vru), cano (qudan, migui no) sanya uo caiqueru nari. 45 Vonajicu ten no cuni uo suguretaru tama vo fāzunuru aquindo ny tatoyuru nari. 46 Cano fito fitoccu no tama uo miccuquete, vaga xēgu (zayfō) uo coquiacuxi, cudan no tama uo cai-queru nari. 47 Mata amata no guioruj jūbun ni yri-taru caichu no ami ni ten no cuni vo *tatōyuru nari. 48 Sareba cano ami uo fama ni fiqui-ague, yoqui vuo voba vga vccuua-mono ni yerabi-yre (yeri), axiqui vuo voba succuru nari. 49 Xicareba, cono xecay no vouari (aratamaran toqi) ni caquno gotocu aru-bexi. Sono yuye ua anjo ama-cūdari, jennin no naca yori acunī uo yerabi, 50 fī no ana ni votosare, sono tocoro ni furuy-vananaqui, naqui-canaximu coto aru-bexi." 51 "Cono coto nandachi cocoroye-raruru ya?" to notamayeba, vono-vono

"*Reôjin (uquegay) su." to mosare-quereba, 52 casanete notamay-queru ua, "Ten no cuni no chixa, gacuxo ua cura yori furuqui, ataraxiqui mono (tacara) uo tori-idaxi-queru fucqui *ni (fagoqumaruru, yaxinay) teixu ni tatoyuru nari." to notamo nari.

45 fâzunuru=tanzunuru; 46 xêgu=xengu; 47 *tatôyuru=tatoyuru; 49 cûdari=cundari; acunî=acunin;

51 *reojin=reojio; 52 fucqui *ni=fucqui no;

この部分は、鼻音を表すのに鋭アクセント符号がつけられている場合が多いが、ここでは tilde に統一した。

47 譬ゆる： ローマ字表記では、tatôyuru とあるが、tatoyuru か tatôru のことであろうと『キ研』に注があるが、もともと、長音符号については、かなり恣意的であるので、tatoyuru と考える方が好ましいと考える。

50 領掌： ローマ字表記では reojin と読めるが、reojio (『日葡』 riôjo) の誤記と考える。「同意すること」(『日葡』)

52 富貴の： ローマ字表記では、fucqui ni と読める。fuequi も考えたが、最終的に ni を no の誤記と考えた。

16章

13 ゼズス、ヒリペのセザレアとい
う所へ赴かせ給い、ヂシポロに、
「一切人間ビルゼンの子は誰にてある
ぞ」と問い給えば、

14 「『ジョアン・パウチスタにてまし
ます』と申す者もあり、『エリヤス』
と申す者もあり。『ゼレミヤスあるい
はポロヘエタのうち一人にてあるべし』
と申す者もあり」、と申されければ、

15 「汝達は、我を誰にてあると言われ
けるぞ」と問い給えば、

16 シモン・ペドロ、「御生は生き給う
デウスの御子キリシトにて在す」と申
されければ、

17 「いかに、バルジョナ・シモン、汝

13 イエスは、フィリポ・カイサリア
地方に行ったとき、弟子たちに、「人々
は、人の子のことを何者だと言ってい
るか」とお尋ねになった。

14 弟子たちは言った。「『洗礼者ヨハ
ネだ』と言う人も、『エリヤだ』と言
う人もいます。ほかに、『エレミヤだ』
とか、『預言者の一人だ』と言う人も
います。」

15 イエスが言われた。「それでは、あ
なたがたはわたしを何者だと言うのか。」

16 シモン・ペトロが、「あなたはメシ
ア、生ける神の子です」と答えた。

17 すると、イエスはお答えになった。
「シモン・バルヨナ、あなたは幸いだ。」

の^{こつにく}骨肉^つ告げざれども^{てん}天に在^{まし}す我^わが御親^{おんおや}
 知らせ^し給^{たま}うによって^しベアト^{たも}なり。

18 汝^{なんじ}に言^ゆうなり。その^み身^なの名^なペドロ
 なれば、この^{いし}石^{うえ}の上に我^わがエケレイジ
 ヤを^た建^たつべし。そのエケレイジヤ^{たい}に対
 して^{もんかの}インヘルノの門^か叶^あうべからず。

19 御^ご辺^{へん}に天^{てん}の国^{くに}の鍵^{かぎ}を^{あた}与^{なにごと}えん。何^な事^{ごと}
 にても^{せかい}あれ、この^{せかい}世界^{かい}において^{から}拵^{から}むべ
 き^{てん}こと^{てん}を天^{てん}にても^{から}拵^{から}め、^{ゆる}許^{ゆる}さるべき^{のたも}こと
 とを^{てんじょう}天上^{てんじょう}にても^{ゆる}許^{ゆる}し給^{たま}うべし」と^{のたも}宣^{のたも}う
 なり。

あなたにこのことを現したのは、人間
 ではなく、わたしの天の父なのだ。

18 わたしも言うておく。あなたはペ
 トロ。わたしはこの岩の上にわたしの
 教会を建てる。陰府の力もこれに対抗
 できない。

19 わたしはあなたに天の国の鍵を授
 ける。あなたが地上でつなぐことは、
 天上でもつながれる。あなたが地上で
 解くことは、天上でも解かれる。」

In festo Apostolorum Petri et Pauli (聖ペトロ聖パウロ両使徒の祝日) p.88v

13 IESVS Philipe no Cesarea to yu tocoro ye vomomucaxe-tamaj, discipolo ni "Yssay ningen (mina fito) virgen no co ua tare nite aru zo?" to toy tamayebe, 14 "Iōão Baptista nite maximasu." to mosu mono mo *nari., 'Helias' to mosu mono mo ari, Ieremias arujua profeta no vchi ychinj nite aru bexi.' to mosu mono mo ari." to mosare-quereba, 15 "Nandachi ua vare vo tare nite aru to yuare-queruzo?" to toy tamayebe, 16 Simon Pedro "Von-mi ua iqui-tamo Deus (ynochi no D's) no Von-co X°. nite maximasu." to mosare-quereba, 17 "Ycani, Bar-Jona Simō, *najji no cot-nicu (qetnicu) ccugue-zare domo, ten ni maximasu vaga von-voya xiraxe-tamo ni yotte beato nari. 18 Nanjji ni yu nari, sono mi no na Pedro nareba, cono yxi no vye ni vaga *eclezia vo taccu-bexi. Sono ecelesia ni taixite inferno no mon canō-becarazu. 19 Gofen ni ten no cuni no cagui uo atayen. Nanigoto nite mo are, cono xecay ni uoyte caramu-bequi coto uo, ten nite mo carame, yurusaru-bequi coto uo, tenjo nite mo yuruxi-tamo bexi." to notamo nari.

14 *nari=ari; ychinj=ychinjn; 16 D's=Deus; X°. =Xristo; 17 *najji=nanjji; 18 *eclezia=ecclesia;

1 3 ビルゼンの子: 「人の子」であるが、「乙女マリアの子」と書かれている。

1 4 バウチスタ: 葡 batista、伯 baptista、「バプテスト」

1 6 キリシト: ローマ字表記で、X°という省略形が使われているが、ギリシア語で、キリストを XPICTOC (Cは sigma) と書くことに基づいて、しばしば用いられた。Xはローマ字の CH にあたり、Pはローマ字の R に当たるため、XP (khiro) と省略されることもある。

17章

1 その時代^{じだい}ゼズス、ペドロとジャコ
べ、またその弟^{おとうと}ジョアン^めを召し連れら
れ、秘^{ひそ}かに高き山^{たかやま}に登り給^{のぼ}い、

2 その前^{まえ}において御身^{おんみ}を^{へん}変じ給^{たま}えば、
御顔^{おんかお}、日輪^{にちりん}の如^{ごと}く耀^{かかや}き、御衣裳^{おんいしやう}は雪^{ゆき}の
如^{ごと}く白^{しろ}くなりけるなり。

3 その時^{とき}、モイゼスとエリヤス見^{まみ}え
られ、ゼズスとともに言葉^{ことば}を交^かわし申^{もう}
さるれば、

4 ペドロ、「いかにドミネ、我^{われ}等^らここ
に居^いること然^{しか}るべきなり。思^{おも}ひ召^めし給^{たま}
わば、御身^{おんみ}とモイゼス、またエリヤス
のため^みに三^{さん}つの住^すみ所^{ところ}を^{しらす}拵^{もう}え申^{もう}すべし」
と申^{もう}さるるうちに

5 白雲^{はくうん}かかり、そのうちより、「これ
は我^わが内証^{ないしやう}に叶^{かな}い給^{たま}う、我^わが大切^{たいせつ}の子^こ
なり。その御言葉^{みことば}を聞^きかれよ」と宣^{のたま}う。

6 御声^{おんこえ}を^きヂシポロ聞^きき、折節^{おりふし}大^{おほ}きに
恐^{おそ}れ申^{もう}さるれば、俯^{うつぶ}きに倒^{たお}れ伏^ふし申^{もう}
さるる。

7 ゼズス近^{ちか}寄^より給^{たま}い、彼^{かれ}に御手^{みで}をか
け給^{たま}い、「立^たち上^あがれ。恐^{おそ}るべからず」
と宣^{のたま}う。

8 ゼシポロ起^おきて目^めを^あ上^あげられけれ
ば、ゼズスより外^{ほか}に誰^{たれ}をも見^みられざる
なり。

9 されば、山^{やま}より下^{くだ}り給^{たま}うに、ゼズ

1 六日の後、イエスは、ペトロ、そ
れにヤコブとその兄弟ヨハネだけを連
れて、高い山に登られた。

2 イエスの姿が彼らの目の前で変わ
り、顔は太陽のように輝き、服は光の
ように白くなった。

3 見ると、モーセとエリヤが現れ、
イエスと語り合っていた。

4 ペトロが口をはさんでイエスに言っ
た。「主よ、わたしたちがここにいる
のは、素晴らしいことです。お望みで
したら、わたしがここに仮小屋を三つ
建てましょう。一つはあなたのため、
一つはモーセのため、もう一つはエリ
ヤのためです。」

5 ペトロがこう話しているうちに、
光り輝く雲が彼らを覆った。すると、
「これはわたしの愛する子、わたしの
心に適う者。これに聞け」という声が
雲の中から聞こえた。

6 弟子たちはこれを聞いてひれ伏し、
非常に恐れた。

7 イエスは近づき、彼らに手を触れ
て言われた。「起きなさい。恐れるこ
とはない。」

8 彼らが顔を上げて見ると、イエス
のほかにはだれもいなかった。

ス、「ビルゼンの子、死して生き返る
までは、見られたることを他言あるべ
からず」と仰せ告げらるるなり。

9 一同が山を下りるとき、イエスは、
「人の子が使者の中から復活するまで、
今見たことをだれにも話してはならな
い」と弟子たちに命じられた。

Dominica 2a in quadragesima (四旬節の第二の主日) p.18v

1 Sono jiday JESVS, Pedro to Jacobe, mata sono vototo (qioidai) *Joã vo mexi-ccure-rare (uotomo nite), fisoca ni tacaqui yama (cozan) ni nobori-tamay, 2 sono maye ni uoyte, von-mi (ganxocu) vo fenji-tamayeba, von-cavo (qexiqi, qixocu) nichirĩ no gotocu cacayaqui, von-yxo (coromo) va yuqui no gotocu xiroqu (miye tamo) nari-queru nari. 3 Sono toqui Moyses to Helias mamiye-rare (qitarare), JESVS to tomo ni cotoba vo cauaxi-mosarureba, 4 Po. "Ycani, Domine, varera coco ni yru (jjiyusuru, sumu) coto xicar-bequi nari. Voboxi-mexi-tamauba (võ-cocoro ni cano ni uoyte ua, go-quixocu ni vō ni uoyte ua), vō-mi to Moyses, mata Helias no tame ni miccu no sumi-docoro (dencaqu vo tate) vo coxiraye-mosu-bexi." to mosaruru vchi ni, 5 faquun cacari (cumo fitomura cudari, cōmeō cacayaqitaru), sono vchi yori "Core ua vaga nayxo ni canay-tamo, vaga tayxet no co nari. Sono mi-cotoba vo quicare yo!" to notamo. 6 Vō-coye vo discipolo quiqui, vorifuxi voqui ni vosore-mosa-rureba (uosore uo naxi), vccubuqi ni tauore-fuxi, mosaruru. 7 JESVS chicayori (chicazuqi) tamay, care ni mi-te vo caque-tamay, "Tachi-agare, vosoru-becarazu." to notamo. 8 Discip. uoqite, me vo aguerare-quereba, JESVS yori foca ni tare vomo mirarezaru nari. 9 Sareba yama yori cudari-tamo (mitchi sugra) ni, JESVS "Virgẽ no co, xixite (xiqitai ni cayerazaru maye ni) iqui-cayeru made ua miraretaru coto vo tãgon aru-becarazu." to voxẽ-ccugue-raruru nari.

1 *Joã=João; 2 nichirĩ=nichirin; 4 Po.=Pedro; 4 vo=von; vō-mi=von-mi; 6 vō-coye=von-coye; 8 discip.=discipolo;

9 virgẽ=virgem;

1 弟： 行間注に「兄弟」とある。一般には兄弟は複数の場合のみ使う表現であるが、単数として用いられている。

5 内証： 「内心または意思」(『日葡』)

18章

1 ゼシポロ、ゼズスの御傍に参り、
「天の国において何れが高きと思し召
すぞ」と申されければ、
2 小人一人召し寄せ、ゼシポロの中

1 そのとき、弟子たちがイエスのと
ころに来て、「いったいだれが、天の
国でいちばん偉いのでしょうか」と言っ
た。

お たま
に置き給いて、

3 宣わく、「汝^{のたま}等に誠^{なんじら まこと しめ}に示すなり。
小児^{しょうに ごと あら}の如くに非ずんば、天^{てん}の国^{くに}に到^{いた}
るべからず。

4 この小児^{しょうに}の如く謙^{ごと}る輩^{へりくだ}は天^{ごともがら}の国^{てん}に
て大^{おお}きなるべし。

5 我が名^{わ な}に対して、この様^{たい}なる小^{よう}さ
き者^{ちい}を請^もぜん輩^{しょう}は即^{ともがら}ち我^{すなわ}を請^{われ}ず。

6 「また、我^{われ}をヒイデス^うに受^かくる彼^か
の小^{ちい}さき者^{もの}をうちより一^{いちにん}人^{すき}をも荒^あむべ
き輩^{ともがら}は、石^{いし}臼^{うす}を括^くりつけて海^{かい}中^{ちゆう}に沈^{しず}
めんこと、その人^{ひと}のために専^{もっぱ}らなり。

7 エスカンダロあるこの世^せ界^{かい}は不^ふ憫^{びん}
かな。エスカンダロは来^きたらで叶^{かの}うま
じけれんども、企^くてん者^{もの}は不^ふ憫^{びん}なり。

8 汝^{なんだち}達^{たち}のあるいは手^て、あるいは足^{あし}よ
りその身^みにスカンダロをなさば、切^き
つて捨^すてられよ。手^{しゅ}足^{そく}を持^もちながら終^おわ
りなき火^か中^{ちゆう}に入^いらんよりも、弱^{よわ}く腰^{こし}立^た
たずして寿^{じゅ}命^{めい}に到^{いた}ること、汝^{なんだち}達^{たち}のため
に良^よきことなり。

9 眼^{まなこ}よりエスカンダロあらば、抜^ぬ
いて捨^すつべし。両^{りやう}眼^{がん}を持^もちながら、終^おわ
りなき火^か中^{ちゆう}に入^いらんよりも一^{いち}眼^{がん}をもつ
て寿^{じゅ}命^{めい}に到^{いた}ること最^{もっと}も勝^{すぐ}れたり」。

10 「構^{かま}いてこの小^{しょう}児^にの中^{なか}に一^{いちにん}人^{にん}をも
下^さげ卑^{いや}しむことなかれ。汝^{なんだち}達^{たち}に言^ゆうな
り。か^{もの}の者^{しゅんご}の守^{しゅんご}護^ごのアンジ^{てん}ョ天^{まし}に在^あす
わ おんおや つね はいがん たてまつ
我が御^{おん}親^{おや}を常^{つね}に拝^{はい}顔^{がん}し奉^{たてまつ}らるるなり」。

2 そこで、イエスは一人の子供を呼
び寄せ、彼らの中に立たせて、

3 言われた。「はっきり言っておく。
心を入れ替えて子供のようにならなけ
れば、決して天の国に入ることはでき
ない。

4 自分を低くして、この子供のよう
になる人が、天の国でいちばん偉いの
だ。

5 わたしの名のためにこのような一
人の子供を受け入れる者は、わたしを
受け入れるのである。」

6 「しかし、わたしを信じるこれら
の小さな者の一人をつまづかせる者は、
大きな石臼を首に懸けられて、深い海
に沈められる方がましである。

7 世は人をつまづかせるから不幸だ。
つまずきは避けられない。だが、つま
ずきをもたらず者は不幸である。

8 もし片方の手か足があなたをつま
づかせるなら、それを切って捨ててし
まいなさい。両手両足がそろったまま
永遠の火に投げ込まれるよりは、片手
片足になっても命にあずかる方がよい。

9 もし片方の目があなたをつまづか
せるなら、えぐり出して捨ててしま
いなさい。両方の目がそろったまま火の
地獄に投げ込まれるよりは、一つの目
になっても命にあずかる方がよい。」

10 「これらの小さな者を一人でも軽

んじないように気をつけなさい。言っておくが、彼らの天使たちは天でいつもわたしの天の父の御顔を仰いでいるのである。

In festo dedicationis S. Michael Archang. (大天使聖ミカエルの聖堂の献堂聖式の記念) p.92v

1 Discipolo IESVS no von-soba ni mayri, "Ten no cuni ni uojte izzure ga tacaqui to voboxi-mesu zo?" to mosare-quere ba, 2 xôjin (jin, uosanai fito; ji, uosanay chigo) ychi-nin mexi-yoxe, discipolo no naca ni voqui-tamajte, 3 notamaauaqu, "Nanjira ni macoto ni ximesu nari. Xôni no gotocu ni arazumba, ten no cuni ni ytaru-becarazu. 4 Cono xoni no gotocu fericudaru tomogara ua, ten no cuni nite voqui naru (itaru)-bexi. 5 Vaga na ni tayxite cono yo naru chijsaqui mono uo xojen (ytauran) tomogara ua, sunauachi vare uo xozu (ytauru nari)." 6 "Mata uare uo fides ni vquru cano chijsaqui mono vo vchi yori ychi-nin uomo susamu-bequi (uarai mosu) tomogara ua, yxiusu vo cucury-ccuquete caychu (vmi no naca) ni xizzumen coto, sono fito no tame ni moppara nari. 7 Escandalo aru cono xecay ua fubin cana! Escandalo ua quitarade cano-maji-querẽ domo, quuataten mono ua fubin nari. 8 Nandachi no arujua te arujua axi yori sono mi ni scandalo vo nasaba, quite suterare yo, xusocu (teaxi) uo mochi nagara, voari naqui quachu ni yran yorimo, youaqu coxi tatazu xite, jumeo (ynochi) ni itaru coto, *nadachi no tame ni yoqy coto nari (moppara nari). 9 Manaco yori escandalo araba, nujte succu-bexi. Reogan vo mochi nagara uouari naqui quachu (fi no naca) ni yran yori mo, ychigã uo motte jumeo ni itaru coto, mottomo sugure-tari." 10 "Camayte cono xoni no naca ni ychi-nin vomo sague *yaximu coto nacare. Nandachi ni yu nari, cano mono no xũgo no anjo ten ni maximasu vaga von-voya vo ccune ni faigan xi tatemaccu-raruru nari."

8 *nadachi=nandachi; 10 *yaximu=yyaximu; xũgo=xungo;

6 荒む: 「背き離れる、あるいは、自分の身から遠ざけ捨てる」(『日葡』)

7 不憫: 『日葡』においては「不便」の漢字を当てているが(「いたわしいこと、憐憫と同情」)、現代日本語では別の意味になるので、ここでは「不憫」とした。

8,9 火中: ローマ字では quachu とあり、「くわちゅう」と読まれていたと思われる。

終わり: ローマ字表記には voari [woari] と uouari [wowari] の二通りがあるが、正式には後者が正しい。

23 ゼズス、デシポロに譬えを^{たと}宣^{のたま}わく、
「^{しん か}臣下^{かんじょう}に勘定せらるる^{ていおう}帝王^{てん}に天^{くに}の国を
^{たと}譬^{もの}ゆるなり。

24 その^{はじ}始め^{ぎん すじっかんめ}に銀子^お十貫目^{もの}負^{もの}いたる者
^{いちにん}一人^ぐを具^きし来たり、

23 「そこで、天の国は次のようにたとえられる。ある王が、家来たちに貸した金の決済をしようとした。

24 決済し始めたところ、一万タラン
トン借金している家来が、王の前に連

- 25 返^{へん}弁^{べん}すべき力^{ちから}なきによって、『その
身^みを始^{はじ}めとして、妻^{さい}妾^{しやう}、財^{ざい}宝^{ほう}を沽^こ却^{きゃく}
て返^{へん}弁^{べん}されよ』とありければ、
26 彼^かの者^{もの}庭^{てい}上^{しやう}にひれ伏^ふし、『少^{すこ}し延^のべ
させ給^{たま}え、悉^{ことごと}く返^{へん}進^{しん}申^{もう}さん』と頼^{たの}みけ
るを、
27 さすが不^ふ憫^{びん}に思^{おも}われ、その身^みと請^う
け負^おいたるものも許^{ゆる}されけるなり。
28 その時^{とき}、御^{おん}前^{まえ}を罷^{まか}り立^たつに、銀^{ぎん}子^す
百^{ひゃく}目^め負^おおせけるものを、『只^{ただ}今^{いま}返^{かえ}せ』
と言^いいければ、
29 ひれ伏^ふして、『暫^{しばら}く延^のべられよ、
返^{へん}弁^{べん}すべし』と言^いいけれども、
30 暫^{ざん}時^じも許^{ゆる}さず、負^おおせたるものを
済^なすべきまでとて、籠^{ろう}者^{しや}させけるなり。
32-33 余^よの傍^{ほう}輩^{ばい}、このことを見^みて、大^{おお}
き^{かな}に悲^{かな}しみありのままに、我^わが主^{あるじ}に奏^{そう}
しければ、帝^{てい}王^{おう}彼^かの者^{もの}を召^めし出^でだされ、
『い^いかに狼^{ろう}藉^{ぜき}人^{にん}、汝^{なんじ}我^{われ}を頼^{たの}みけるによつて
憐^{あわ}れみ^{あわ}をなし、請^うけ負^おいたるものを
許^{ゆる}しける如^{ごと}く、何^{なに}とて傍^{ほう}輩^{ばい}に憐^{あわ}れみを
加^{くわ}えざるや』と、
34 大^{おお}きに逆^{ぎゃく}鱗^{りん}あつて、請^うけ負^おいける
もの^{かえ}を返^{かえ}すべき時^{とき}までとて、軍^{ぐん}兵^{びやう}に渡^{わた}
されけるなり。
35 されば、汝^{なんだち}達^ち心^{こころ}より兄^{きやう}弟^{だい}を許^{ゆる}さず
んば、天^{てん}に在^{まし}ま我^わが御^{おん}親^{おや}よりその如^{ごと}く
は^はか^たち^ち計^{けい}らい給^{たま}うべし』と宣^{のたま}うなり。

れて来られた。

25 しかし、返済できなかったので、
主君はこの家来に、自分も妻も子も、
また持ち物も全部売って返済するよう
に命じた。

26 家来はひれ伏し、『どうか待ってく
ださい。きっと全部お返しします』と
しきりに願った。

27 その家来の主君は憐れに思って、
彼を赦し、その借金を帳消しにしてや
た。

28 ところが、この家来は外に出て、
自分に百デナリオンの借金をしている
仲間に出会々と、捕まえて首を絞め、
『借金を返せ』と言った。

29 仲間はひれ伏して、『どうか待って
くれ。返すから』としきりに頼んだ。

30 しかし、承知せず、その仲間を引ッ
ぱって行き、借金を返すまでと牢に入
れた。

31 仲間たちは、事の次第を見て非常
に心を痛め、主君の前に出て事件を残
らず告げた。

32 そこで、主君はその家来を呼びつ
けて言った。『不届きな家来だ。お前
が頼んだから、借金を全部帳消しにし
てやったのだ。』

33 わたしがお前を憐れんでやったよ
うに、お前も自分の仲間を憐れんでや
るべきではなかったか。』

34 そして、主君は怒って、借金をすっかり返済するまでと、家来を牢役人に引き渡した。

35 あなたがたの一人一人が、心から兄弟を赦さないなら、わたしの天の父もあなたがたに同じようになさるであろう。」

Dominica xxj post Pentecost (聖霊御降臨後の第二十一主日) p.42v

23 IESVS discipolo ni tatoye vo notamauaqu, "Xinca ni cājō (sannho) xeraruru teyvō ni ten no cuni vo tatoyuru nari. 24 Sono fajime ni guinsu (xirocane) jicquanme voy-taru mono ichinin vo guxi-quitari, 25 fenben su-bequi chicara naqui ni yotte, sono mi vo fajime toxite, saixo, zayfō vo coqiacu (vru) xite, fenben sareyo.' to ari-quereba, 26 cano mono teixo (niua no vye) ni firefluxi, 'Sucoxi nobe-saxe-tamaye. Cotogotocu fenxin (xinji) mosan.' to tanomi-queru vo, 27 sasuga fubin ni vomouare, sono mi to vquevoy-taru mono mo yurusare-queru nari. 28 Sono toqui von-maye vo macari-taccu ni, guinsu fiacu-me voxer-queru mono vo 'Tadaima cayexe.' to iy-quere ba, 29 firefluxite 'Xibaracu nobe-rare yo. Fenben su-bexi.' to iy-quere domo, 30 zanji (xibaracu) mo yurusazu, 'Voxe-taru mono vo nasu-bequi made.' tote, rōxa saxe-queru nari. 32-33 Yono fōbay cono coto vo mite, voqui ni canaximi, arino-mama ni, vaga aruji ni sōxi-quereba, teivō cano mono uo mexi-idasare, 'Ycani, rojequini (quantaijin), nāji vare vo tanomi-queru ni yotte, auaremi uo naxi vquevoy-taru mono vo yuruxi-queru gotocu, nani tote fobay ni avaremi vo cuuayezaru ya?' to, 34 voquini guequirin atte, vquevoy-queru mono vo cayesu-beqi toqui made tote, gunbio (yqussa, ccuamono) ni uatasare-queru nari. 35 Sareba nādachi, cocoro yori quoday vo yurusazumba, ten ni maximasu vaga von-voya yori sono gotocu facaray-tamo bexi." to notamo nari

23 cājō=canjō; 32-33 rojequini-rojequinin; nāji=nanji; 35 nādachi=nanadachi;

24 十貫目：ローマ字は jicquanme とあり、「じっくわんめ」と読まれた。

25 返井させよ：ローマ字からは「・させよ」とも読める。その場合、「その身」から「されよ」までは本人に対する直接の命令となり、「」でくくることになる。

30 済す：「支払う、借金を支払う」(『日葡』)

19章

27 シモン・ペドロ、ゼズスへ、
ばんじす おんあとした われらなに
 「万事を捨て御跡を慕えば、我等何と
 27 すると、ペトロがイエスに言った。
 「このとおり、わたしたちは何もかも

あるべきぞ」と申されければ、

28 ゼズス宣わく、「真に示すなり。我が跡を慕われける各々は、世界改まりてビルゼンの子、我がマゼスタアデの高座に座せん時、汝達もイスラエル十二の子孫を糺さんために十二の座に直らるべし。

29 また我が名に対して、父母、兄弟、妻子、家、倉、所領を捨てたらん輩は一を百相倍に分じて、受け取り、また終わりなき一命を進退すべし」。

捨ててあなたに従って参りました。では、わたしたちは何をいただけるのでしょうか。」

28 イエスは一同に言われた。「はつきり言っておく。新しい世界になり、人の子が栄光の座に座るとき、あなたがたも、わたしに従って来たのだから、十二の座に座ってイスラエルの十二部族を治めることになる。

29 わたしの名のために、家、兄弟、姉妹、父、母、子供、畑を捨てた者は皆、その百倍もの報いを受け、永遠の命を受け継ぐ。」

In connexsione Sancti Paul. Apost. (使徒聖パウロの回心の記念日) p.95v

27 Simon Pedro IESVS ye, "Banji uo sute von-ato uo xitayeaba, varera nani to aru-bequizo?" to mosare-quereba, 28 IESVS notamauaqu, "Macoto ni ximesu nari. Vaga ato uo xitauare-queru vono-vono ua, xecay aratamarite, virgen no co vaga magestade no cōza ni zaxen toqui, nādachi mo Israel juni no xison vo tadasan tame ni, juni no za ni nauraru-bexi. 29 Mata vaga na ni tayxite bumo, quioday, sayxi, iye (xataqu), cura , xoreo (xotay, fīto no moccu fodo no coto) uo *suttetaran tomogara ua, ychi uo fiacu sōbay ni bunjite, vquetori, mata vovari naqui ichimej uo xīday su-(ychimei ni qiuamaru) bexi."

28 nādachi=nandachi; 29 *suttetaran=sutetaran; xīday=xinday;

28 マゼスタアデ： 葡majestade「威厳、尊嚴、威光、崇高」。

直る： 「座敷の自分の座にすわる、または自分の席へ移る」(『日葡』)

20章

1 ゼズス、デシポロに宣わく、「我が領地の柵せんために、夙に出でて人を雇い、万民を養わるる司に天の国を譬ゆるなり。

1 「天の国は次のようにたとえられる。ある家の主人が、ぶどう園で働く労働者を雇うために、夜明けに出かけて行った。

2 一日の手間賃として銀錢一個を
 えんと約束して我が領地に遣わすなり。
 3 辰の刻に出でて徒に居ける農人
 を見て、
 4 『汝達我が領地に行け、憲法の手間
 賃を与ゆべし』と申されければ、
 5 彼等行きけるなり。その後、午未
 の刻に出でて始めの如く約束して遣わ
 すなり。
 6 また、申の刻に出でて農人に逢う
 て、『汝何の故に一日を徒に過しけ
 るぞ』と問われければ、
 7 『雇う人なし』と答ゆるに、『さら
 ば、我が領地に行け』とありけるなり。
 8 暮れにおよんで、家の役者と呼び
 て、『始めより終わりまで雇いける者
 に手間料を渡すべし』とありけるなり。
 9 その時、申の刻に雇われける者ど
 も、銀錢一個ずつ受け取りければ、
 10 疾くより雇われける者ども、来た
 り、なお増して受け取らんと思ひける
 に、同じ如くに与えければ、
 11 これら恨みて曰く、
 12 『晩に來たつたただ一時働さける者
 と我等終日の炎天を凌ぎ辛勞しける者
 と同じ値を賜る』と言ひければ、
 13 主人の曰く、『いかに、親しき者ど
 も、汝達恥辱を与えぬなり。銀錢一個
 取らせんと約束せざるや。
 14 その身に当たる分を取つて歸るべ

2 主人は、一日につき一デナリオン
 の約束で、労働者をぶどう園に送った。
 3 また、九時ごろ行ってみると、何
 もしないで広場に立っている人々がいた
 ので、
 4 『あなたたちもぶどう園に行きなさい。
 ふさわしい賃金を払ってやろう』
 と言った。
 5 それで、その人たちは出かけて行っ
 た。主人は、十二時ごろと三時ごろに
 また出て行き、同じようにした。
 6 五時ごろにも行ってみると、ほか
 の人々が立っていたので、『なぜ、何
 もしないで一日中ここに立っているの
 か』と尋ねると、
 7 彼らは、『だれも雇ってくれないの
 です』と言った。主人は彼らに、『あ
 なたたちもぶどう園に行きなさい』と
 言った。
 8 夕方になって、ぶどう園の主人は
 監督に、『労働者たちを呼んで、最後
 に來た者から始めて、最初に來た者ま
 で順に賃金を払ってやりなさい』と言
 った。
 9 そこで、五時ごろに雇われた人た
 ちが来て、一デナリオンずつ受け取っ
 た。
 10 最初に雇われた人たちが来て、もつ
 と多くもらえるだろうと思っていた。
 しかし、彼らも一デナリオンずつであつ

し。晩^{ばん}に來^きたる者^{もの}に汝^{なんだち}達^{おな}と同じく與^{あと}う
ること、我が望^わみに任^{のぞ}すること叶^{まか}うま
じきや。

15 われ善^{ぜん}人^{にん}なるを汝^{なんじ}が眼^{まなこ}悪^あしく見^みけ
るや』と言^いわれける由^{よし}を宣^{のたま}い、

16 始^{はじ}めは終^おわり、終^おわりは始^{はじ}めなる
べし。その故^{ゆえ}は呼^よび出^いださるる者^{もの}は多^{おほ}
しと雖^{いえど}も、選^{えら}み取^とらるる者^{もの}少^{すくな}し』と宣^{のたま}
うなり。

た。

11 それで、受け取ると、主人に不平
を言った。

12 『最後に來たこの連中は、一時間し
か働きませんでした。まる一日、暑い
中を辛抱して働いたわたしたちと、こ
の連中とを同じ扱いにするとは。』

13 主人はその一人に答えた。『友よ、
あなたに不当なことはしていない。あ
なたはわたしと一デナリオンの約束を
したではないか。』

14 自分の分を受け取って帰りなさい。
わたしはこの最後の者にも、あなたと
同じように支払ってやりたいのだ。

15 自分のものを自分のしたいように
しては、いけないか。それとも、わた
しの気前のよさをねたむのか。』

16 このように、後にいる者が先にな
り、先にいる者が後になる。」

Dominica in Septergessima (七旬節の主日) p.15

1 JESVS discipolo ni *totamauaqu "Vaga riochi no sacu xê tame ni ccuto ni idete, fito vo yatoy, banmin vo yaxinaua-ruru ccucassa ni ten no cuni vo tatoyuru nari. 2 Ychijit no temachin to xite guinxen ycco vo atayen to yacusocu xite, vaga reochi ni ccucauas nari. 3 Taccu no cocu ni idete, itazura ni i-queru nonin vo mite, 4 'Nādachi vaga reochi ni yuque. Quenbo no temachin vo atayu-bexi.' to mosare-quereba, 5 carera yuqui-queru nari. Sono nochi vma-ficcuji no cocu ni idete, fajime no gotocu yacusocu xite ccucauas nari. 6 Mata saru no cocu ni idete nonin ni vote, nājji nani no yuye ni ychijit vo itazzura ni sugoxi-queru zo?' to touare-quereba, 7 'Yato fito naxi.' to cotayuru ni, 'Sareba Vaga reochi ni yuque.' to ari-queru nari. 8 Qure ni voyonde iye no yaxuxa vo yobite, 'Fajime yori voari made, yatoy-queru mono ni, temareo vo vatasu-bexi.' to ari-queru nari. 9 Sono toqui, saru no coqu ni yatovare-queru mono-domo guīxen ycco zzuccu vqueteri-quereba, 10 toqu yori yatouare-queru mono-domo quitari, navo maxite vqueteran to vomoy-queru ni, vonaji gotocu ni ataye-quereba, 11 corera vramite yuaqu, 12 'Ban ni

quittatte tada fito-toqui fataraqui-queru mono to, varera xūjit no yenten vo xinogui, xinro-xi-queru mono to vonaji atay vo tamauaru.' to iyqereba, 13 xujin no yuaqu, 'Ycani, xitaxiqui mono-domo, *nadachi chijocuo vo atayenu nari. Guinxen ycco toraxen to yacusocu xezaru ya? 14 Sono mi ni ataru bun vo totte, cayeru-bexi. Ban ni quitaru mono ni *nadachi to vonajiqu atoru coto, vaga nosomi ni macasuru coto, cano-majiqui ya? 15 Vare jennin naru vo, nanjji ga manaco axiqu mi-queru ya?' to yuare-queru yoxi vo notamay, 16 fajime va voari, voari ua fajime naru-bexi. Sono yuye va yobi-idasa-ruru mono va vovoxi to yyedomo, yerami-tora-ruru mono, sucunaxi." to notamo nari.

1 *totamauaqu=notamauaqu; xē=xen; 4 nādachi=na/dachi; 6 nājji=nanjji; 9 guīxen=guinxen; 13 *nadachi=nandachi;

14 *nadachi=nandachi;

1 柵： 「城やその他の場所の周りに木で作った囲い、または垣」（『日葡』）

夙に： 「朝早く」（『日葡』）

領地： ローマ字では riochi(1)、reochi(2)の両方が見られる。

3 辰の刻： 八時。

いたずらに： ローマ字では itazura, itazzuraの両方が見られる。「ず」と「づ」の混用。

4 憲法： 公正（『日葡』）

5 午羊の刻： 正午と二時。

6 申の刻： 四時。

10 疾く： 早い時間に（『日葡』）

11 恨み： 『不平をかこつ』（『日葡』）

20 ゼベデオの子の母二人の子供に望
を申さんため、ゼズスへ参り礼拝し
奉られければ、

21 ゼズス、「何を望まるぞ」と問い
給うに、「自らが彼の二人の子を御国
において一人は御右、一人は御左に座
させおき給え」と申されければ、

22 「汝達請わるることを弁えられず。
我が飲むべきカリスを飲むこと叶わる
べきや」と問い給うに、二人共に、
「安かるべし」と申されければ、

23 ゼズス「汝達我がカリスを飲まる
べきこと必定なれども、左右に住させ
ること、我に当たらず。唯、御親定め

20 そのとき、ゼベダイの息子たちの
母が、その二人の息子と一緒にイエス
のところに來て、ひれ伏し、何かを願
おうとした。

21 イエスが、「何が望みか」と言われ
ると、彼女は言った。「王座にお着き
になるとき、この二人の息子が、一人
はあなたの右に、もう一人は左に座れ
るとおっしゃってください。」

22 イエスはお答えになった。「あなた
がたは、自分が何を願っているか、分
かっていない。このわたしが飲もうと
している杯を飲むことができるか。」
二人が、「できます」と言うのと、

たも ひと のたも
給う人のためなり」と言うなり。

23 イエスは言われた。「確かに、あなたがたはわたしの杯を飲むことになる。しかし、わたしの右と左にだれが座るかは、わたしの決めることではない。それは、わたしの父によって定められた人々に許されるのだ。」

In festo Sancti Jacobi Apostoli (使徒聖ヤコボの祝日) p.89v

20 Zebedeo no cono faua ninin no codomo ni nosomi vo mosan tame, IESVS ye mayri, rayfay xi (raixi, faixi)-tatemaccu-rare-quereba, 21 IESVS "Nani uo nosoma-ruru zo?" to toy-tamo ni, "Mizzucara ga cano ninin no co vo von-cuni ni uoyte, ychinin ua von-migui, ychinin ua vō-fidari ni zasaxe-voquitamaye." to mosare-quereba, 22 "*Nadachi coua-ruru coto vo vaquimaye-rare zu. Vaga nomu-bequi calix vo nomu coto canauaru-bequi ya?" to toy-tamo ni, ninin tomo ni "Yasucaru-bexi." to mosare-quereba, 22 IESVS "Nandachi vaga calix uo nomaru-bequi coto fitijo naredomo, sayu ni jjusa-xeru coto, vare ni atarazu, tanda von-voya sadame tamo fito no tame nari." to notamo nari.

21 vō-fidari=von-fidari; 22 *nadachi=nandachi;

2 2 カリス： 葡 calice、伯 calix、「聖杯」

2 3 必定： 「確かな、確認されたこと」（『日葡』）

2 1 章

1 ゼズス、ゼルザレンへ近づき給い、
オリベテの山の麓ベトハゲという所
においてデシポロ二人を召して

2 宣いけるは、「汝達向かいの城にア
サナ親子繋がれてあるを解き許し引き
て来たらるべし。

3 もし人あって咎めば、『御主の御用』
と答えられよ。即ち許すべし」と宣い
て遣わし給うなり。

4-5 これ「いかに、シヨンの娘、

1 一行がエルサレムに近づいて、オ
リーブ山沿いのベトファゲに来たとき、
イエスは二人の弟子を使いに出そうと
して、

2 言われた。「向こうの村へ行きなさい。
するとすぐ、ろばが見つかる。そ
れをほどこして、わたしのところに引い
て来なさい。

3 もし、だれかが何か言ったら、『主

なんだち ていおう へりくだ たま おやこ
汝達の帝王は謙り給いてアサナ親子に
召して御幸ならせ給うべし。古、ポ
ロヘエタの申しおかれけることを遂げ
させられんためなり。

6 されば、ヂシポロ、ゼズス宣いけ
る如く

7 オサナ親子引きて参られ、我が
上衣を脱いで、上に掛けゼズスを乗せ
奉られければ、

8 万民衣裳を脱ぎて道に敷き、ある
いは木の枝を折り、敷き、

9 前後左右に参り集まりたる諸人声
を上げ、「デウスの御名をもって、来
たり給うダビツの御子、天において
我等を助け給え」と申し奉るなり。

がお入り用なのです』と言いなさい。
すぐ渡してくれる。」

4 それは、預言者を通して言われて
いたことが実現するためであった。

5 「シオンの娘に告げよ。『見よ、お
前の王がお前のところにおいでになる、
柔和な方で、ろばに乗り、荷を負うろ
ばの子、子ろばに乗って。』」

6 弟子たちは行って、イエスが命じ
られたとおりにし、

7 ろばと子ろばを引いて来て、その
上に服をかけると、イエスはそれにお
乗りになった。

8 大勢の群衆が自分の服を道に敷き、
また、ほかの人々は木の枝を切って道
に敷いた。

9 そして群衆は、イエスの前を行く
者も後に従う者も叫んだ。「ダビデの
子にホサナ。主の名によって来られる
方に、祝福があるように。いと高きと
ころにホサナ。」

Dominica in ramis Palmaris (枝の主日) p.21v

1 JESVS Jerusalem ye chicazuqui-tamay, Oliuete no yama no fumoto, Betfage to yu tocoro ni uojte, discipolo niñ vo mexite, 2 notamay-queru va, "Nandachi mucay no xiro ni asana voya-co ccunagarete aru vo toqui, yuruxi fiquite quitararu-bexi. 3 Moxi fito atte togameba, 'Von-aruji no goyo.' to cotaye-rare yo. Sunauachi yurusu-bexi." to notamayte ccucauaxi tamo nari. 4-5 Core 'Ycani, Syon no musume, *nadachi no teyvo va fericudari-tamayte, asana voya-co ni mexite, goco naraxe-tamo-bexi." Ynixiye profeta no moxi vocare-queru coto vo togue saxe-raren-tame nari. 6 Sareba discipolo JESVS notamay-queru gotocu, 7 osana voya-co fiquite majrare, vaga vuagui vo nuide, vye ni chaque, JESVS vo noxe-tatemaccu-rare-quereba, 8 banmin yxo vo nūguite, michi ni xiqui, arujua qui no yeda vo vori, xiqui, 9 jengo sayu ni mayri accumari-taru xonin, coye vo ague, "Deus no von-na vo motte quitari-tamo Daid no vō-co,

ten ni uoyte varera vo tasuque-tamayae." to moxi-tatemaccuru nari.

1 niñ=ninin; 4-5 *nadachi=nandachi; 9 vō-co=von-co;

2 アサナ： 葡 asno/a、羅 asina「驢馬」。ローマ字表記では asana となっているが、何語であるか不明。

9 助け給え： 「ホサンナ」。ヘブル「ホシャナ」に起源を持ち、ギリシア、ラテン語を通して広まった世界共通語。

33 ゼズス、御弟子^{みでし}さては Judeu の
万民^{ばんみん}に御譬^{おんたと}えを述べ給^のいけるは、「そ
もそも家来^{けらい}の主人^{しゅじん}、葡萄^{ぶどう}の枝^{えだ}を植^うえて
垣^{かんき}をし廻^{まわ}し、酒樽^{さかぶね}を整^{ととの}え、櫓^{やぐら}を組み上^み
げ、百姓^{ひやくしやうら}等に預^{あず}けおいてその身^みは遠境^{えんきやう}
に赴^{おもむ}かるるなり。

34 さる程^{ほど}に、漸^{ようや}くその実^みを取るべき
時節^{じせつ}なれば、かの主人^{しゅじん}百姓^{ひやくしやう}のもとに
検使^{けんし}をつか
検使^{けんし}を遣^{つか}わしければ、

35 百姓^{ひやくしやうら}等^{けんし}検使^{けんし}を搦^{から}め捕^とつてあるいは
傷^{きんず}をしつくるもあり、あるいは害^{がい}し、
あるいは石^{いし}を投げ打^なつもありけり。

36 その後^{のちしゅじん}主人^{しゅじん}なお数輩^{すうはい}の使者^{ししや}を遣^{つか}わ
しけれども、件^{くだん}の如^{ごと}く卑^{いや}しめけり。

37 さらばとて主人^{しゅじん}の嫡子^{ちやくし}を差^さし向^むけ
らるる。『さりともわが子^こをば憚^{はばか}るべ
し』と申^{もう}されけり。

38 されば、百姓^{ひやくしやうら}等^{ちやくし}かの嫡子^みを見て互^{たんが}
いに詮議^{せんぎ}致^{いた}しけるは、『これこそ主人^{しゅじん}
領主^{りやうしゅ}なれば、いざや害^{がい}して、その所領^{しやうりやう}
を奪^{うば}い取^とつて』

39 件^{くんだん}の子息^{しそく}を搦^{から}め捕^とつて知行^{ちぎやう}の中^{うち}よ
り追罰^{ついばつ}して遂^{つい}にその身^みを殺害^{せつがい}せり。

40 されば、領主^{りやうしゅ}来^きたるべき時^{とき}は、彼^か
の百姓^{ひやくしやうら}等に何^{なに}と致^{いた}さるべき』と問^とい給^{たま}

33 「もう一つのたとえを聞きなさい。
ある家の主人がぶどう園を作り、垣を
巡らし、その中に搾り場を掘り、見張
りのやぐらを立て、これを農夫たちに
貸して旅に出た。

34 さて、収穫の時が近づいたとき、
収穫を受け取るために、僕たちを農夫
たちのところへ送った。

35 だが、農夫たちはこの僕たちを捕
まえ、一人を袋だたきにし、一人を殺
し、一人を石で打ち殺した。

36 また、他の僕たちを前よりも多く
送ったが、農夫たちは同じ目に遭わせ
た。

37 そこで最後に、『わたしの息子なら
敬ってくれるだろう』と言って、主人
は自分の息子を送った。

38 農夫たちは、その息子を見て話し
合った。『これは跡取りだ。さあ、殺
して、彼の相続財産を我々のものにし
よう。』

39 そして、息子を捕まえ、ぶどう園
の外にほうり出して殺してしまった。

40 さて、ぶどう園の主人が帰って来
たら、この農夫たちをどうするだろう

えば、

41 ジュデウら申しけるは、「悪党を滅
ぼしてその領地を余の百姓に預け定ま
れる時節、かの葡萄酒を捧ぐるように
致すべし」と評議しけり。

42 ゼズス、「エスキリツウラに『役者
の嫌いし石を隅の頭に建てければ、
御主より計らい給うによって我等が
眼前に奇特なり』と読まざりつか。

43 然る間、汝等に示すなり。デウス
の御国汝達より召し上げられ、実を出
だすべき者に与え給うべし。

44 かの石上に落つべき者は、五体挫
ける。かの石また人の上に墜落せば、
忽ち破損すべし」と言うなり。

45 されば、サセルダウテの司、ハリ
ゼウ、ゼズスの御譬えを聴聞し奉りて
我が身の上と存じて、

46 掬め奉りたく願ひけれども、さす
が諸人大ボロヘエタの如くに奏し奉る
によって世間を懼れてきれしょくせり。

か。」

41 彼らは言った。「その悪人どもをひ
どい目に遭わせて殺し、ぶどう園は、
季節ごとに収穫を納めるほかの農夫た
ちに貸すにちがいない。」

42 イエスは言われた。「聖書にこう書
いてあるのを、まだ読んだことがない
のか。『家を建てる者の捨てた石、こ
れが隅の親石となった。これは、主がな
さったことで、わたしたちの目には不
思議に見える。』

43 だから、言うておくが、神の国は
あなたたちから取り上げられ、それに
ふさわしい実を結ぶ民族に与えられる。

44 この石の上に落ちる者は打ち砕か
れ、この石がだれかの上に落ちれば、
その人は押しつぶされてしまう。」

45 祭司長たちやファリサイ派の人々
はこのたとえを聞いて、イエスが自分
たちのことを言っておられると気づき、

46 イエスを捕らえようとしたが、群
衆を恐れた。群衆はイエスを預言者だ
と思っていたからである。

3a Feria Sexta (第三の金曜日) p.53v

33 IESVS mi-dexi sateua Judeo no banmin ni vō-tatoye uo nobe-tamay-queray ua, "Somo-somo queray
no xujin budo no yeda uo vyete cāqui uo xi-mauaxi, sacabune uo totonoye yagura uo cumiague, fiacuxo-ra
ni azzuque voyte, sono mi ua *yeriquio ni vomomuca-ruru nari. 34 Sarufodo ni yoyacu sono mi uo toru-
bequi jixet nareba, cano xujin fiacuxo no moto ni quenxi uo ccucauaxi-quereba, 35 fiacuxo-ra quenxi uo
caramete-totte, arujua qūzu uo xiccucuru mo ari, arujua gaixi, arujua yxi uo nague-veccu mo ari-queri. 36
Sono noch i xujin nauo sufai no xixa uo ccucauaxi-queredomo, cudan no gotocu *yaxime-queri. 37

Saraba tote, xujin no chacuxi uo saximuque-raruru. 'Saritomo vaga co uoba fabacaru bexi.' to mosare-queri.
 38 Sareba fiacuxo-ra cano chacuxi uo mite, fāgay ni xengui itaxi-queru ua, 'Core *cosso xujin reoxu nareba, yzaya gaixite, sono *xōrio uo vbay-totte', 39 cūdā no xisocu uo carame-totte, chiguiō no vchi yori ccujbat xite ccuj ni sono mi uo xetgay xeri. 40 Sareba reoxu quitaru-bequi toqui ua cano fiacuxo-ra ni nani to ytasaru-bequi?" to toy-tamayeba, 41 Iudeu-ra moxi-queru ua, "Acutō uo foroboxite, sono reochi vo yo no fiacuxo ni azuque, sadamereru jixet, cano *budoxi uo sasaguru yo ni ytasu-bexi." to fiogui xi-queri. 42 IESVS "Escriptura ni 'Yacuxa no quirayxi yxi uo sumi no caxira ni tate-quereba, vō-aruji yori facaray-tamo ni yotte, varera ga ganjen ni quidocu nari.' to yomazari-ccuru ca? 43 Xicaru ayda *nadjira ni ximesu nari, Deus no von-cuni *nadachi yori mexi-aguerare, mi uo ydasu-bequi mono ni ataye-tamo bexi. 44 Cano xequixo ni voccu-beqi mono ua gotay cuji-queru, cano yxi mata fito no vye ni daracu xeba, tachimachi fason su-bexi." to notamo nari. 45 Sareba, sacerdote no *ccucassa, Phariseu, IESVS no uon-tatoye uo chomon xi-tatemaccurite, vāga mi no vye to *zójite, 46 carame-tatemaccuri tacu nengay-quere domo, sasuga xonin dai profeta no gotocu ni soxi-tatemaccuru ni yotte, xequē uo vosorete *qirexocu xeri.

33 vō-tatoye=von-tatoye; 34 *yeriquio=yenquio; 35 qūzu=quinzu; 36 *yaxime-queri=iyaxime-queri; 38 fāgay=tangay;

*xōrio=xoriō; 39 cūdā=cudan; 41 *budoxi=budoxu; 42 vō-aruji=von-aruji; 43 *nadjira=nanjira; *nadachi=nandachi;

45 *zójite=zonzite; 46 xequē=xequen; *qirexocu xeri=?;

3 3 遠境：ローマ字表記はyeriquioと読めるが、yenquioの誤記と考える。

3 4 検使：「ある在所、土地を視察するために、あるいは、またある事を執行したり、改革するために、貴人から派遣された人」（『日葡』）

3 6 数輩：「多くの人々」（『日葡』）

3 8 奪い取って：この部分は文の区切りが不鮮明。「奪い取るべし」とて、とすると自然になる。

3 9 知行：「領地に同じ」（『日葡』）

追罰：「何かの悪事に対して加える処罰、または、死罪」（『日葡』）

4 2 役者：「何か役目にたずさわる人」（『日葡』）

奇特：「不思議、または奇跡」（『日葡』）

4 6 きれしょく：意味不明。

2 2 章

1 ゼズス、サセルダウテの司、同じ
くハリゼウに譬えを宣わく、

2 「太子に后をそなゆる祝儀をし給う
ていおう てん くに たと
帝王に天の国を譬うるなり。

1 イエスは、また、たとえを用いて
語られた。

2 「天の国は、ある王が王子のために
婚宴を催したのに似ている。

3 かの祝儀しゅうぎに相伴しょうばんの人々ひとびとを勅使ちよくしをもつて召されけれども叡慮えいりょを背いて、参らず、

4 重ねて別の勅使ちよくしを建て、『牝牛ぼぎゅう、鳥類ちようるいをも殺し、その外の用意ほかよういまでもなし給えば、急ぎ参内いそんさんだいあれ』と言うべし』と宣えども、

5 勅命ちよくめいをも重んぜず、我が里おちに帰る者ものもあり、自用じようかなを叶えんために行く者ものもあり、

6 偶々たまたま、残る者のこものは勅使ちよくしを召し捕り恥辱ちじよくを与え殺しけるなり。

7 帝みかんどこの由聞よしきこし召して逆鱗げきりん最も軽からず、官軍かんぐんを差し遣わし勅命ちよくめいを背きける者を攻め滅ぼし、その里々さとさとを放火せられ、

8 重ねて勅使ちよくしに宣いけるは、『祝儀しゅうぎ整えけれども、召しける者ものはその位におよばず、

9 然らば、本道ほんどうに行き、合うべき者ものどもを悉く召し寄すべし』と仰せければ、

10 勅使宣旨ちよくしせんじを承わり、街に出でて、善悪人ぜんあくにんを選まず招き集めければ、祝儀しゅうぎの座敷ざしきに満ち満ちたり。

11 帝みかんど、着座ちやくざの体を御覧ごらんせんため出で給えば、祝儀しゅうぎに似合にあわぬ衣裳いしやうを着たる者ものを御覧ごらんあって、

12 『いかに、親したしき者もの、祝儀しゅうぎの衣裳いしやうを持たずして何とてこの座に出でけるぞ』

3 王は家来たちを送り、婚宴に招いておいた人々を呼ばせたが、来ようとしなかった。

4 そこでまた、次のように言って、別の家来たちを使いに出した。『招いておいた人々にこう言いなさい。「食事の用意が整いました。牛や肥えた家畜を屠って、すっかり用意ができています。さあ、婚宴においでください。』

5 しかし、人々はそれを無視し、一人は畑に、一人は商売に出かけ、

6 また、他の人々は王の家来たちを捕まえて乱暴し、殺してしまった。

7 そこで、王は怒り、軍隊を送って、この人殺しどもを滅ぼし、その町を焼き払った。

8 そして、家来たちに言った。『婚宴の用意はできているが、招いておいた人々は、ふさわしくなかった。

9 だから、町の大通りに出て、見かけた者はだれでも婚宴に連れて来なさい。』

10 そこで、家来たちは通りに出て行き、見かけた人は善人も悪人も皆集めて来たので、婚宴は客でいっぱいになった。

11 王が客を見ようと入って来ると、婚礼の礼服を着ていない者が一人いた。

12 王は、『友よ、どうして礼服を着ないでここに入って来たのか』と言った。

と たい
と問い給えば、とかくの御返事を申さ
ず。

13 帝、兵に仰せて、『この者の手足
を搦め、震いわななき、泣き悲しむ外
の闇に落とすべし』とありける』と宣
いて後、

14 ゼズス、「呼出ださるる者は多しと
雖も選み取らるる者は少き」と宣うな
り。

この者が黙っていると、

13 王は側近の者たちに言った。『この
男の手足を縛って、外の暗闇にほうり
出せ。そこで泣きわめいて歯ぎしりす
るだろう。』

14 招かれる人は多いが、選ばれる人
は少ない。」

Dominica xviii. post Pent. (聖霊御降臨後第十九の主日) p.41

1 IESVS sacerdote no *ccucassa, vonajicu Phariseu ni tatoye vo notamauaqu, 2 "Taixi ni quisaqui
vo sonayuru xüguy uo xi-tamo teyvö ni ten no quni uo tatoru nari. 3 Cano xügüi ni xöban no fitobito
uo *chôquxi vo motte mesare-queredomo, *yeiriö (teyuö no zonbun) vo somujte, mairazu. 4 *Cassanete
bechi no chocuxi vo tate, "Boguiû, choruj vomo coroxi, sono foca no yoy (cacugo) made mo naxi-
tamayeba, ysongui sanday are." to yu-bexi!" to notamaye domo, 5 choqumey (teiuö no guioi) vomo
vomon-jezu (caröji), vaga sato ni cayeru mono mo ari, jiyo vo canayen tame ni yuqu mono mo ari, 6
tamatama nocoru mono va chocuxi vo mexi-tori, chijoqu vo ataye coroxi-queru nari. 7 Micando cono
yoxi quicoxi-mexite, guequirin mottomo carucarazu, quangun (xınca, buxi) vo saxi-ccucauaxi, choquimei vo
somuqui-queru mono vo xeme-foroboxi, sono satozato vo fôqua xerare, 8 *cassanete choquxi ni notamay-
queru ua, 'Xugui totonoye-queredomo, mexi-queru mono ua sono curay ni voyobazu. 9 Xicaraba, *fêdo
ni yuqui, vo-bequi mono-domo uo cotogotocu mexi-yosu bexi.' to voxé-queraba, 10 choquxi xenji (teiuo
notamo mune) vo vque-tamauari, chimata ni idete, jen-aqunin vo yeramazu manequi accume-queraba, xügüi
no zaxiqui ni michimichi tari. 11 Micando chaquza no tei uo goranjen tame, ide-tamayeba, xügüi ni
niauanu yxo vo quitaru mono vo goran atte, 12 'Ycani, xitaxiqui mono, xügüi no ixo uo motazu xite,
nani-tote cono za ni ide-queru zo?' to toy-tamayeba, tocaqu no vö-fenji uo mosazu, 13 Micando
ccuamono ni vöxete (uoxerarete), "Cono mono no axi te uo carame, furuj-uananaqui, naqui-canaximu, foca
no yami ni votosu-bexi." to ari-queru.' to notamajte nochí, 14 IESVS, "Yobi-idasa-ruru mono ua vouoxi
to iyedomo yerami-toraruru (yerabi ydasaruru) mono ua suquanaqi." to notamo nari.

3 *chôquxi=choquxi; *yeiriö=yeirio; 9 *fêdo ni=fondo ni; 12 vö-fenji=fon-fenji;

2 太子：「国王の子息」（『日葡』）

祝儀：「祝い、または、婚礼」（『日葡』）

3 相伴：「食卓の相手や食事のおともをすること」（『日葡』）

叡慮：「国王の心」（『日葡』）

4 牡牛：「こつとい」（『日葡』）とあり、「こつとい」には「去勢してない牡牛、または、純血種の

牡牛」とある。

7 官軍： ローマ字 quangun で、「くあんぐん」であつたと思われる。

放火： ローマ字 fōqua は「ほーくあ」であつたと思われる。

12 とかく： 「(否定を伴った場合には、決して・・・しないの意味を示す) (『日葡』)

15 ハリゼウ、ゼズスの御言葉^{おんことば}を聞き
咎^{とが}めんために詮議^{せんぎ}して、

16 エロデスの郎等^{ろうどう}に我が弟子^{でし}を添え^そ
遣^{つか}わして申しければ、「いかに師匠^{ししょう}、
御身正直^{おんみしょうじき}おわしまし、デウスの御道^{おんみち}を
真実^{しんじつ}に知らせられ、他事^{たじ}に心をかけず、
ひと うたが たま
人を疑^{うたが}い給^{たま}わず、

17 我今尋ね申^{われいます}なり。セザル帝王^{もう ていおう}に
人^{にん}べつ 別^{べつ}の銀銭^{ぎんせん}を捧^{ささ}ぐるこゝ専^{もつぱ}らなりや、
もつぱ 専^{もつぱ}らならざるや。何^{なに}と思^{おも}ひ召^めさるるぞ」
と申しければ、

18 ゼズスカの者^{もの}の悪心^{あくしん}を知^しろし召^めし
て、「いかに、名聞人^{みょうもんじん}、何^{なに}とて我^{われ}を
かな 金引^{かなひ}かんとしけるぞ、

19 上げらるる銭^{ぜに}を見^みせられよ」と宣^{のたま}
えば銀銭^{ぎんせん}一個^{いっ こまい}参^{まゐ}らせける。

20 ゼズス、「この銭^{ぜに}に表^{あら}わるる文字^{もんじ}と
うつりえ、た かたち と たま
写絵^{うつりえ}は誰^たが像^{かたち}ぞ」と問^とい給^{たま}えば、

21 「セザルの」と答^{こた}ゆるに、ゼズス、
「セザルに当^あたることをセザルに納^{おさ}め、
あ たてまつ ささ
デウスに当^あたり奉^{たてまつ}ることをデウスに捧^{ささ}
げ奉^{たてまつ}れ」と宣^{のたま}うなり。

15 それから、ファリサイ派の人々は
出て行って、どのようにしてイエスの
言葉じりをとらえて、罠にかけようか
と相談した。

16 そして、その弟子たちをヘロデ派
の人々と一緒にイエスのところに遣わ
して尋ねさせた。「先生、わたしたち
は、あなたが真実な方で、真理に基づ
いて神の道を教え、だれをもはばから
ない方であることを知っています。人々
を分け隔てなさらないからです。

17 ところで、どうお思いでしょうか、
お教えください。皇帝に税金を納める
のは、律法に適っているでしょうか。
適っていないでしょうか。」

18 イエスは彼らの悪意に気づいて言
われた。「偽善者たち、なぜ、わたし
を試そうとするのか。

19 税金に納めるお金を見せなさい。」
彼らがデナリオン銀貨を持って来ると、
20 イエスは、「これは、だれの肖像と
銘か」と言われた。

21 彼らは、「皇帝のものです」と言っ
た。すると、イエスは言われた。「で
は、皇帝のものは皇帝に、神のものは
神に返しなさい。」

Dominica xxij post Pentecost (聖霊御降臨後第二十二の主日) p.43

15 Phariseu IESVS no von-cotoba vo quiqui togamen tame ni xenguy xite, 16 Herodes no rodo ni vaga *vaga dexti vo soye ccuauaxite moxi-quereba, "Ycani, xixo, von-mi xojjiqui vouaxi-maxi, Deus no von-michi uo xinjit ni xiraxe-rare, taji ni cocoro vo caquezu, fito vo vtagai-tamaazu. 17 Vare ima tazune-mosu nari. Cesar Teyvō ni ninbet no guinxen vo sasaguru coto moppara nari ya? moppara narazaru ya? Nani to voboxi-mesa-ruru zo?" to moxi-quereba, 18 IESVS cano mono no acuxin vo xiroximexite, "Ycani, miomonjin, nani tote vare vo canabicante xi-queru zo? 19 Aguera-ruru jeni vo mixerare yo." to notamayeba, guīxen ycco mairaxe-queru. 20 IESVS "Cono jeni ni araua-ruru monji to vecuriye ua taga catachi zo?" to toy-tamayeba, 21 "Cesar no." to cotayuru ni, IESVS "Cesar ni ataru coto vo Cesar ni vosame, Deus ni atari-tatemaccuru coto vo D's ni sasague-tatemaccure." to notamo nari.

16 delete*vaga; moxi-quereva=moxi-quereba; 19 guīxen=guinxen; 21 D's=Deus;

17 セザル： 葡 Cesar。「カイサル、ローマ皇帝」

人別： 「各人毎に納める税、または、賦課金（『日葡』）

専ら： 「必要で重要なもの」(『日葡』)

34 数多^{あまた}のハリゼウどもゼズスの御傍^{おんそば}
に近寄^{ちかよ}り奉^{たてまつ}る中^{なか}に

35 ドウトル一人進^いみ出^いでて、金引^{かなひ}き
奉^{たてまつ}るために、

36 「いかに師匠^{ししょう}、掟^{おきて}の中に第一^{だいいち}のマン
ダメントはいずれぞ」と、問^とい奉^{たてまつ}れば、

37 ゼズス、「『御主^{おんあるじ}デウスをアニマ、
エンテンデメント、心^{こころ}および大切^{たいせつ}に思^{おも}
い奉^{たてまつ}るべし』。

38 これ第一^{だいいち}勝^{すぐ}れたるなり。

39 次に、『我が身^{つぎ}を思^わう如^みくポロシモ
を大切^{たいせつ}に思^{おも}うべし』との第二^{だいに}のマンダ
メントはこれに似^にたり。

40 掟^{おきて}を先^{さき}としてポロヘエタ書^かきおか
れける道理^{どうり}も皆^{みな}この二^{ふた}つに籠^{こも}る」と宣^{のたま}
いて、

41-42 在^あり合^あいけるハリゼウどもに、
「キリシトは誰^{たれ}人^{びと}の子^こと思^{おも}わるるぞ」

34 ファリサイ派の人々は、イエスが
サドカイ派の人々を言い込められたと
聞いて、一緒に集まった。

35 そのうちの一人、律法の専門家が、
イエスを試そうとして尋ねた。

36 「先生、律法の中で、どの掟が最も
重要でしょうか。」

37 イエスは言われた。『心^{こころ}を尽くし、
精神^{せいしん}を尽くし、思^{おも}いを尽くして、あな
たの神である主を愛しなさい。』

38 これが最も重要な第一の掟である。

39 第二も、これと同じように重要で
ある。『隣人を自分のように愛しなさい。』

40 律法全体と預言者は、この二つの
掟に基づいている。

41 ファリサイ派の人々が集まってい
たとき、イエスはお尋ねになった。

と問^とい給^{たま}えば、ハリゼウ、「ダビツの御^{おん}子^こ」と答^{こた}えけるに、

43 ゼズス、「その儀^ぎならば、何^{なに}とてダビツ、スピリトの御^{おん}告^つげをもつて主^{あるじ}とは言^いわれけるぞ。

44 故^{ゆえ}をいかに」と言^ゆうに、『御^{おん}主^{あるじ}、我^わが主^{あるじ}に宣^{のたま}わく、その身^みの敵^{てき}を踏^ふみ物^{もの}に置^おくべきまでは、わが右^{みぎ}に住^{じゅう}せよ』と言^いわれたるは、何^{なに}事^{ごと}ぞ。

45 キリシト、ダビツの子^こならば、何^{なに}の上^{うへ}に我^わが主^{あるじ}と呼ば^よれけるぞ」と宣^{のたま}えば、

46 とかくの御^{おん}返^{へん}事^じに叶^{かな}わずして、それより後^{のち}は尋^{たず}ね奉^{たてまつ}ることに、為^し臆^{おく}しけるなり。

42 「あなたたちはメシアのことをどう思うか。だれの子だろうか。」彼らが、「ダビデの子です」と言うと、

43 イエスは言われた。「では、どうしてダビデは、霊を受けて、メシアを主と呼んでいるのだろうか。

44 『主は、わたしの主にお告げになった。「わたしの右の座に着きなさい、わたしがあなたの敵をあなたの足もとに屈服させるときまで」と。』

45 このようにダビデがメシアを主と呼んでいるのであれば、どうしてメシアがダビデの子なのか。」

46 これにはだれ一人、ひと言も言い返すことができず、その日からは、もはやあえて質問する者はなかった。

Dominica xvij Post Pentecost (聖霊御降臨後第十七の主日) p.40

34 Amata no Phariseu-domo IESVS no von-soba ni chicayori-tatemaccuru naca ni, 35 Doctor ichinin susumi-idete, canabiqui-tatemaccuru tame ni, 36 "Ycani, xixo, voquite no naca ni day-ichi no mandamento va yzure zo?" to toy-tatemaccureba, 37 IESVS "'Von-aruji Deus vo anima, entendimẽto, cocoro voyobi tayxet ni vomoy-tatemaccuru-bexi.' 38 Core day-ichi suguretaru nari. 39 Ccugui ni 'Vaga mi vo vomõ-gotoqu proximo vo tayxet ni vomo-bexi.' tono day-ni no mandamẽto ua core ni nitari. 40 Voquite vo saquito xite profeta caqui-vocare-queru dori mo mina cono futaccu ni comoru." to notamayte, 41-42 ariay-queru. Phariseu-domo ni "Christo ua tare-bito no co to uomoua-ruru zo?" to toy-tamaye ba, Phariseu "Dauid no von-co." to cotaye-queru ni, 43 IESVS "Sono gui naraba, nani tote Dauid Spirito no von-ccugue vo motte Aruji toua yuare-queru zo? 44 Yuye vo ycani?" to yu ni, 'Von-Aruji vaga aruji ni notamauaqu, sono mi no tequi uo fumi-mono ni voqu-bequi made va, vaga migui ni jjiuxe yo.' to yuaretaru ua nani-goto zo? 45 Christo Dauid no co naraba, nani no vye ni vaga aruji to yobare-queru zo?" to notamaye ba, 46 *toqaccu no von-fenji ni canauazu xite, sore yori nochi ua tazune-tatemaccuru coto ni xi uoquxi-queru nari.

37 entendimẽto=entendimiento; 39 mandamẽto=mandamento; 46 *toqaccu=toqacu;

35 ドウトル： 葡 doutor. 羅 doctor。「博士、博学の人」

36 マンダメント： 葡 mandamento。羅 mandatum。「命令」

37 エンテンヂメント： 葡 entendimento。「理解力、知力」

23章

34 ゼズス、ユデウの万民サセルダ
 ウテの司に宣いけるは、「我、汝達へ
 ポロヘエタス、知者、学匠を遣わすな
 り。その中より殺さるる者と、クルス
 に掛けらるべき者あり。もし、各々シ
 ナゴウガにおいて打躑し、在々所々へ
 憎み渡さるべし。

35 これジュスト・アベルの血よりア
 ルタルとテンポロの間にて殺されたる
 バラシヤスの子なるザカリヤスまで、
 土の上に流されたる諸々のジュストの
 血の天罰を汝達に与えられんためなり。
 36 真に言うなり、これ皆この子孫の
 上来るべし」。

37 「いかに、ゼルザレン、いかに、
 ゼルザレン、ポロヘエタを殺し、汝が
 ために遣わされし人に石を打つなり。
 雌鶏の羽交をもって我が子を集むる如
 く、我汝の子を集めんとすれども望を
 かけざるなり。

38 汝の家は亡所となるべし。

39 『御主の名をもって来たり給う御方
 を貴み奉る』と申すべきまで、我を見

34「だから、わたしは預言者、知者、
 学者をあなたたちに遣わすが、あなた
 たちはその中のある者を殺し、十字架
 につけ、ある者を会堂で鞭打ち、町か
 ら町へと追い回して迫害する。

35 こうして、正しい人アベルの血か
 ら、あなたたちが聖所と祭壇の間で殺
 したバラキアの子ゼカルヤの血に至る
 まで、地上に流された正しい人の血は
 すべて、あなたたちにふりかかってくる。

36 はっきり言うておく。これらのこ
 との結果はすべて、今の時代の者たち
 にふりかかってくる。」

37「エルサレム、エルサレム、預言
 者たちを殺し、自分に遣わされた人々
 を石で打ち殺す者よ、めん鳥が雛を羽
 の下に集めるように、わたしはお前の
 子らを何度集めようとしたことか。だ
 が、お前たちは応じようとしなかった。
 38 見よ、お前たちの家は見捨てられ
 て荒れ果てる。

39 言うておくが、お前たちは、『主の
 名によって来られる方に、祝福がある

べからず」^{のたち}と宣うなり。

ように』と言うときまで、今から後、
決してわたしを見ることがない。」

Sancto Esteuao no Euangelho (殉教者聖ステファノの福音) p.7v

34 JESVS Judeo no banmin sacerdote no *ccucassa ni notamay-queru ua, "Vare nandachi ye profetas, chixa, gacuxo vo ccucauas nari. Sono naca yori corosa-ruru mono to, crus ni caqueraru-bequi mono ari. Moxi vono-vono sinagoga ni uojte *chôchaxi, zayzay-xoxo ye nicumi vatasaru-bexi. 35 Core justo Abel no chi yori altar to templo no aida nite corosare-taru Barachias no co naru Zacharias made ccuchi no vye ni nagasare-taru moro-moro no justo no chi no tembat vo *nadachi ni atayeraren tame nari. 36 Macoto ni yu nari. Core mina cono xison no vye quitaru bexi." 37 "Ycani, Jerusalem, ycani, Jerusalem, profeta vo coroxi (gaixi), *najji ga tame ni, ccucauasarexi fito ni ixi vo *vtcu nari. Mendori no fagaye (ccubasa) vo motte, vaga co vo accumuru gotocu, vare *najji no co vo accumen to *ccure-domo, nosomi vo caquezaru nari. 38 Nanjji no yye va boxo to naru bexi. 39 'Von-Aruji no na vo *vo motte, quitari tamo von-cata vo tattomi tatemaccuru.' to mosu bequi made, vare vo mi becarazu." to notamo nari.

34 *chôchaxi=chôchacuxi; 35 *nadachi=nandachi; 37 *najji=nanjji; *vtcu=vccu; *ccuredomo=suredomo; 39 delete *vo;

3 6 アベルの血： (『キ研』)では「アベルの地」とあるが、「血」が正しい。

3 7 羽交： 「鳥の翼」(『日葡』fagai)

3 8 亡所： 「滅亡した所」(『日葡』)

2 4 章

15 ゼズス、^{のたま}ヂシポロに宣わく、「ダ
ニエル・ポロヘエタ^と説き^{ごと}おかれける如
く、^{くず}崩れの^{たつと}アボミナサン^ぎ貴き座^{そな}に備わ
りたる^みを見たる時、^{とき}読む^よ人心^{ひところえ}得らるべ
し。

16 その^ご期^{のぞ}に臨^すんで^{さんちゆう}ジュデア^{にん}に住める
人は^き山中^いに逃げ去るべし。

17 ^い家^えの上^{うへ}に登^{のぼ}れる者は^{もの}物^{もの}を取らんと
^{くだ}下るべからず。

18 ^{さん}山野^やに出^いし人は^{ひと}その身^みの衣^い裳^{しょう}を取
^いえ^えらんと家^{かえ}に帰るべからず。

15 「預言者ダニエルの言った憎むべ
き破壊者が、聖なる場所に立つのを見
たら——読者は悟れ——、

16 そのとき、ユダヤにいる人々は山
に逃げなさい。

17 屋上にいる者は、家にある物を取
り出そうとして下に降りてはならない。

18 畑にいる者は、上着を取りに帰っ
てはならない。

19 それらの日には、身重の女と乳飲
み子を持つ女は不幸だ。

19 その時^{とき}に当^あたつて懷妊^{かいにん}しける女^{おんな}と
子^こを育^{そだ}つる女^{にょにん}人は甚^{はなは}だ不憫^{ふびん}なり。

20 汝^{なんじらふゆ}等冬^{ふゆ}とサバドの日^ひ逃^にげざるよう
に頼^{たの}み申^{もう}すべし。

21 天地^{てんち}開^{ひら}きてより以^い来^{らい}、な^のお後^ちの世^よ
におよぶとも準^{なぞ}らえ難^{がた}き艱難^{かんなん}あるべし。

22 その日^ひを少^{すく}なく約^{つづ}めずんば、人^{にんげん}間^{かん}
助^{たす}かり難^{がた}し、されども善^{ぜん}人^{にん}に對^{たい}してそ
の日^ひ数^{かず}を約^{つづ}めらるべし。

23 その時^{とき}人^{ひと}あつて、『キリシトここか
しこに在^{まし}す』と信^ゆうとも信^{しん}ずべからず。

24 その故^{ゆえ}は虚名^{きよめい}のキリシト・ポロヘ
エタ出^いずべきによつてなり。されば彼^{かれ}
も飛^ひ行^{ぎよう}自在^{じざい}の奇^き特^{とく}を現^{あらわ}し、叶^{かの}うにおい
ては善^{ぜん}人^{にん}と信^ゆうとも迷^{まよ}わすべし、

25 かるが故^{ゆえ}に予^{あらかじ}め汝^{なんだち}達^{だち}にこの儀^ぎを知^し
らしむるなり。

26 もし、キリシト、デゼルトに在^{まし}す
と信^ゆうとも、妄^{みだ}りにか^いしこに出^いずべか
らず。また『岩^{いわ}の洞^{ほら}に在^{まし}す』と信^ゆうとも
確^{たし}かに敢^あえて信^{しん}ずべからず。

27 されば電^{でん}光^{こう}は東^{ひがし}より西^{にし}に移^{うつ}る如^{ごと}く
ビルゼンの子^こ来^きたるべし。

28 その時^{とき}死^が骸^{がい}あらんと^{わしむら}ころに驚^{おど}群^{ぐん}が
り集^{あつ}まるべし。

29 「か^{かん}かる艱^{なん}難^{なん}過^すぎて後^{のち}、日^{にち}輪^{りん}黒^{くろ}くな
り、月^{つき}は光^{ひかり}を失^{うしな}ひ、星^{ほし}は天^{てん}より墜^おつべ
し。天^{てん}の精^{せい}鳴^{めい}動^{どう}し、

30 ビルゼンの子^この徴^{しるし}、天^{てん}に現^{あらわ}るるべ
し。その時^{とき}に当^あたつて、一^{いっ}切^{さい}人^{にん}間^{げん}大^{おほ}き

20 逃^にげるのが冬^{ふゆ}や安^{やす}息^{そく}日^{にち}にならない
ように、祈^{いの}りなさい。

21 そのときには、世界^{せかい}の初^{はつ}めから今^{いま}
までなく、今後^{こんご}も決^{けつ}してないほどの大^{おほ}
きな苦^く難^{なん}が来^きるからである。

22 神^{かみ}がその期^き間^{かん}を縮^{ちぢ}めてくださるな
ければ、だれ一^{ひと}人^{にん}救^{すく}われぬ。しかし、
神^{かみ}は選^{えら}ばれた人^{ひと}たちのために、その期^き
間^{かん}を縮^{ちぢ}めてくださるであらう。

23 そのとき、『見^みよ、ここ^{ここ}にメシ^{メシ}アが
いる』『い^いや、ここ^{ここ}だ』と信^{しん}ずる者がい
ても、信^{しん}じてはならない。

24 偽^{いつはり}メシ^{メシ}アや偽^{いつはり}預^よ言^{ごん}者^{しや}が現^{あら}れて、大^{おほ}
きなしるしや不思議^{ふしぎ}な業^{わざ}を行^いひ、でき
れば、選^{えら}ばれた人^{ひと}たちをも惑^{まど}わそうと
するからである。

25 あ^あなたがたには前^{まへ}もつて言^いつてお
く。

26 だから、人^{ひと}が『見^みよ、メシ^{メシ}アは荒^{あら}
れ野^のに^にいる』と信^{しん}ずる、行^いつてはな
らない。また、『見^みよ、奥^{おく}の部^ぶ屋^やにい
る』と信^{しん}ずる、信^{しん}じてはならない。

27 稲^{いね}妻^{つま}が東^{ひがし}から西^{にし}へひらめき渡^{わた}るよ
うに、人^{ひと}の子^こも来^きるからである。

28 死^し体^{たい}のある所^{ところ}には、はげ鷹^{たか}が集^{あつ}
まるものだ。」

29 「その苦^く難^{なん}の日^{にち}々^々の後^{のち}、た^たちま^まち太^た
陽^{やう}は暗^くくなり、月^{つき}は光^{ひかり}を放^{はな}たず、星^{ほし}は
空^{そら}から落^おち、天^{てん}体^{たい}は揺^ゆり動^{どう}かされる。

30 そのとき、人^{ひと}の子^この徴^{しるし}が天^{てん}に現^{あら}れ

に^{かな}悲^のしむべし。ビルゼンの^{こてん くも}子^の天^{ひる いな}の雲^{いり き}に
乗り、比類無き^{あまくだ}威力^のをもって天降るを
見べし。

31 その^{とき}時^{だいおんじよう}アンジョ、トロンベタをも
て^よ大音声^{とき}にて呼ばわるる時、^{とんざいなんぼく}東西南北、
^{てん ちじようげ}天地上下より^{ぜんにんたちあつ}善人達集まるべし」。

32 「されば、柿^{かき}の木^きの譬^{たと}えをもって
^{わきま}弁ゆべし。若^わ葉^か萌^ばすを見て、^み春^{はる}近^{ちか}くな
るを知る^し如^{ごと}く、

33 汝^{なんじら}等^ぎこの儀^みを見^{てん}ば、天^{くにちか}の国^し近^しきと
知^しらるべし。

34 真^{まこと}に汝^{なんじら}等^{しめ}に示^{あらわ}すなり。このこと現
れずんば、^{いま}今^しの子孫^{そんた}絶^{のたま}ゆることあるべ
からず。

35 たとい、^{てんち はめつ}天地^わは破滅^{ことば}すとも我^{ふえき}が
言^ご葉^{のたま}、不^ふ易^{えき}の語^ごなり」と宣^{のたま}うなり。

る。そして、そのとき、地上のすべて
の民族は悲しみ、人の子が大いなる力
と栄光を帯びて天の雲に乗って来るの
を見る。

31 人の子は、大きなラッパの音を合
図にその天使たちを遣わす。天使たち
は、天の果てから果てまで、彼によっ
て選ばれた人たちを四方から呼び集め
る。」

32 「いちじくの木から教えを学びな
さい。枝が柔らかくなり、葉が伸びる
と、夏の近づいたことが分かる。

33 それと同じように、あなたがたは、
これらすべてのことを見たなら、人
の子が戸口に近づいていると悟りなさい。

34 はっきり言うておく。これらのこ
とがみな起こるまでは、この時代は決
して滅びない。

35 天地は滅びるが、わたしの言葉は
決して滅びない。」

Dominica xxiiij post Pentecost (聖霊御降臨後第二十四の主日) p.44

15 IESVS discipolo ni notamauacu, "Daniel profeta toqui-vocare-queru gotocu, cuzzure no abominação
tattoqui za ni sonauari-taru uo mitaru toqui, yomu fito cocoroye-raru-bexi, 16 sono go ni nozōde, ludea
ni sumeru fito ua sanchu ni nîgue-saru-bexi. 17 Iye no vye ni nobo-reru mono va, mono vo torã to
cudaru-becarazu. 18 Sanya ni idexi fito ua sono mi no yxo vo toran to iye ni cayeru-becarazu. 19
Sono toqui ni atatte, quaynin (quaytai) xi-queru vōna to co vo sodaccuru nhonin va fanafada fubin nari.
20 *Najjira fuyu to sabado no fi niguezaru yo ni tanomi-mosu-bexi. 21 Tenchi firaquite yori yray, navo
nochi no yo ni voyobu tomo nazoraye gataqui kannan aru-bexi. 22 Sono fi uo sucunaqu cuzzumezumba,
ninguē tasucari gataxi. Saredomo jennin ni tayxite, sono ficazu vo cuzzume-raruru-bexi. 23 Sono toqui
fito atte, 'Christo coco caxico ni maximasu.' to yu tomo xinzu-becarazu. 24 Sono yuye ua quiomei no
Christo profeta yzzu-bequi ni yotte nari. Sareba care mo figuio jizay no quidocu vo arauaxi, cano ni uoite

ua, jennin to yu tomo mayouasu-bexi. 25 Caruga yuye ni, aracajime nādachi ni cono gui vo xiraximuru nari. 26 Moxi X^o. deserto ni maximasu to yu tomo, midari ni caxico ni yzzu-becarazu. Mata 'Yua no fora ni maximasu.' to yu tomo, taxica ni ayete *xizu-becarazu. 27 Sareba denquō va figaxi yori nixi ni vccuru gotocu, virgen no co quitaru-bexi. 28 Sono toqui xigay aran tocoro ni vaxi muragari *atccumaru bexi." 29 "Cacar cannan suguite nochī, nichirin curoqu nari, ccuqui ua ficari vo vxinay, foxi ua ten yori voccu-bexi. Ten no xej mejdōxi, 30 virgen no co no xiruxi, ten ni arauaruru-bexi. Sono toqui ni atatte, ytsay ningen voqui ni canaximu-bexi. Virgen no co ten no cumo ni nori, firui-naqui yriqui vo motte amacūdaru vo mi-bexi. 31 Sono toqui anjo trombeta vo motte dai-vonjo nite yobaua-ruru toqui, tōzay-nanbocu, tenchi, jōgue yori jennin-tachi accumaru-bexi." 32 "Sareba caqui no qui no tatoye vo motte vaquimayu-bexi. Uacaba quizasū vo mite, faru chicaqu naru vo xiru gotocu, 33 nanjjira cono gui vo miba, ten no cuni chicaqui to xiraru-bexi. 34 Macoto ni *najjira ni ximesu nari. Cono coto arauarezumba, ima no xison tayuru coto aru-becarazu. 35 Tatoy tenchi ua famet su tomo, vaga cotoba fuyequi no go nari." to notamo nari.

16 nozōde=nozonde; nīgue=ningue; 17 torā=toran; 19 vōna=voma; 20 najjira=nanjjira; 22 ninguē=ningue; 25 nādachi=nandachi; 26 X^o=Xristo; *xizu-becarazu=xinzu-becarazu; 28 *atccumaru=accumaru; 31 tōzay=tonzay; 34 *najjira=nanjjira;

1 9 懐妊：ローマ字 quaynin とあり、「くあいにな」と発音されていた。

2 0 サバド：葡 sabado、伯 sabbado、羅 sabbato 「安息日」（現代ポルトガル語では土曜日）。ヘブル語の「シャバット」から出た語であり、元来ユダヤ教の「土曜日」を指していたが、キリスト教で「日曜日」を「安息日」と考え、日曜日のことを指すようになった。

2 4 飛行：「飛んで行くこと」。飛行自在「自由自在に身軽に飛ぶこと、または、飛び回ること」（『日葡』）

3 1 トロンベタ：葡 trombeta。「ラッパ、トランペット」

2 5 章

1 ゼズス、デシポロに^{たと}譬えを^{のたま}宣わく、
「^{てん}天の^{くに}国、^{とうろう}灯籠を持ちて^もスポンソと、
スポンサを^{むか}迎いに^い出でらる^{じゅうにん}十人のビル
ゼン^{によにん}女人に^{たと}譬ゆるなり。

2 されば、このビルゼンの中^{うちごにん}五人は
^{ぐどん}愚鈍にして、^{いまごにん}今五人は^{かしこ}賢くなり。

3 鈍なる^{どん}五人は^{ごにん}灯籠を^{とうろう}持たると^も雖^{いえど}

1 「そこで、天の国は次のようにたとえられる。十人のおとめがそれぞれともし火を持って、花婿を迎えに出て行く。

2 そのうちの五人は愚かで、五人は賢かった。

3 愚かなおとめたちは、ともし火は

も、油あぶらを持たれざるなり。

4 賢かしこき五人は油ごにんあぶらを入れたる器うつわ物を取とつて灯籠とうろう共ともに持たるるなり。

5 さるほんどに、かのビルゼン、スポンソまを待ちかね眠ねむりて、臥ふしけるなり。

6 夜半やはんの頃ころ、大音だいおんをもって、『スポンソき来たられば、急いそぎ迎むかいに出いで給たまえ』とあるに、

7 ビルゼン悉ことごとく立たち上あがり、手毎てごとに灯籠とうろうを拵こしらえらるるに、

8 鈍どんなるビルゼン、賢かしこきビルゼンに、『自みづからが灯籠とうろう消えければ、御身おんみの油あぶらのうちを分け給たまえかし』と申もうさるるに、

9 賢かしこきビルゼン、『油あぶらを御身おんみに分わけては、自然しぜん互たいに油あぶらに欠けつ如じょすべし、結句けっく、油屋あぶらやに行ゆきて買かい給たまえ』と申もうされければ、

10 即すなわち買かわんと行ゆかれける間あいだ、スポンソ忽たちまち来たらる、その用意きあるビルゼン達たちは祝儀しゅうぎの座ざに入り着いき、門戸もんこを閉とじけるなり。

11 遂ついに残のこりのビルゼン帰かえつて、『ドミネ、ドミネ、開あけ給たまえ』と申もうされければ、

12 彼かのエスポンソ、『真まことに言ゆう、汝なんじを知らず』と答こたえられけるなり。

13 かるが故ゆえに時日じじつを知らざれば、用心ようじんすべし』と宣のたまうなり。

持っていたが、油の用意をしていなかった。

4 賢いおとめたちは、それぞれのともし火と一緒に、壺に油を入れて持っていた。

5 ところが、花婿の来るのが遅れたので、皆眠気がさして眠り込んでしまった。

6 真夜中に『花婿だ。迎えに出なさい』と叫ぶ声がした。

7 そこで、おとめたちは皆起きて、それぞれのともし火を整えた。

8 愚かなおとめたちは、賢いおとめたちに言った。『油を分けてください。わたしたちのともし火は消えそうです。』

9 賢いおとめたちは答えた。『分けてあげるほどはありません。それより、店に行って、自分の分を買って来なさい。』

10 愚かなおとめたちが買いに行っている間に、花婿が到着して、用意のきている五人は、花婿と一緒に婚宴の席に入り、戸が閉められた。

11 その後で、ほかのおとめたちも来て、『御主人様、御主人様、開けてください』と行った。

12 しかし主人は、『はっきり言っておく。わたしはお前たちを知らない』と答えた。

13 だから、目を覚ましていなさい。

あなたがたは、その日、その時を知らないのだから。」

Sancta Chatarina to S.. Ines virg. Martir no fi. (聖女カタリナと聖女アグネス童貞殉教者) p.96v

1 IESVS discipolo ni tatoye vo notamauaqu, "Ten no cuny tōrō uo mochite, sponso to sponsa uo mucay ni ide-raruru iu-nin no virgem nhonin ni tatoyuru nari. 2 Sareba cono virgen no vchi gonin ua gudon (uorocana) ni xite, ima gonin va caxicoqu (rico ni gozaru) nari. 3 Don naru gonin ua tōrō vo motaruru to yyedomo, ambura vo motare-zaru nari. 4 Caxicoqui gonin va abura uo yretaru vccuua-mono vo totte, tōro tomo ni motaruru nari. 5 Sarufondo ni, cano virgem sponso vo machi-cane, nemurite, fuxi-queru nari. 6 Yafan (yonaca) no coro (gibun) dayvon vo motte, 'Spōso quitarare-queraba, *ysongay mucay ni ide-tamaye.' to aru ni, 7 virgem cotogotocu tachi-agari, te goto ni tōrō vo coxiraye-raruru ni, 8 don naru virgem, caxicoqui virgem ni 'Mizzucara ga tōrō quie-queraba, von-mi no abura no vchi uo vaque-tamaye-caxi.' to mosaruru ni, 9 caxicoqui virgem 'Abura vo von-mi ni vaquete (mayraxa ba) ua, xijen tangaj ni abura ni quetjio (cotocaqi) su-bexi, quecqu abura-ya ni yuquite, cay-tamaye.' to mosare-queraba, 10 sunauachi cauan to yucare-queru aida, sponso tachimachi quita-raru. Sono yōy (cacugo) aru virgem-tachi va xugui no za ni yri ccuqui, monco vo tojji-queru nari. 11 Ccuj ni nocori no virgem *cayete (cayerite), 'Domine, Domine, aque-tamaye!' to mosare-queraba, 12 cano esponso 'Macoto ni yu, nājji uo xirazu.' to cotaye-rare-queru nari. 13 Caruga yuye ni, jijit (toqi, fi uo) uo xirazareba, yojin su-bexi." to notamo nari.

6 spōso=sponso; *ysongay=ysonguy; 11 *cayete=cayette; 12 nājji=nanjji;

1 スポンソ、スポンサ： 羅 sponso 「花婿、新郎」、羅 sponsa 「花嫁、新婦」、

1 2 汝を知らず： 『キ研』では「汝は知らず」とあるが、ローマ字表記を見ても、汝をが正しい。

26章

1 ゼズス、ヂシポロに^{のたま}宣わく、
2 「汝達^{なんだちし}知れる^{ごと}如く、これより二日^{ふつかめ}目
はパスコアに^あ当たるなり。ビルゼンの
子^こケルスに^か掛けらるるために^{わた}渡さるべ
し^{のたも}」と^{のたも}宣うなり。
3 折^{おり}節^{ふし}、サセル^{つかさ}ダウテの^{つかさ}司、
宿^{しゅく}老^{ろう}以下棟^{いんげ}梁^{とうりょう}なるカイハスの^{たち}館^よに^あ寄^あり
合^あい、

1 イエスはこれらの言葉をすべて語
り終えると、弟子たちに言われた。
2 「あなたがたも知っているとおり、
二日後は過越祭である。人の子は、十
字架につけられるために引き渡される。」
3 そのころ、祭司長たちや民の長老
たちは、カイアフアという大祭司の屋
敷に集まり、

4 ゼズスを^{から}搦め^と捕つて、害し^{がい}奉らん
と^{せん}詮議^ぎして^{もう}申しけるは、
5 「もし^{ばん}万民^{みん}の中より^{なか}所の^{ところ}騒ぎ^{さわ}や死出^し
だすべき、^にベアト^の日を^のば除く^ぞべし」と
い^いいけるなり。

4 計略を用いてイエスを捕らえ、殺
そうと相談した。
5 しかし彼らは、「民衆の中に騒ぎが
起こるといけないから、祭の間はやめ
ておこう」と言っていた。

Passio Domini nrilesu Christi (われらが主ゼズ・キリシトの御受難) より p.60v

1 IESVS discipolo ni notamauaqu, 2 "*Nadachi xireru gotocu, core yori fuccuca-me va paschoa ni
ataru nari. Virgem no co crus ni caque-raruru tame ni vatasaru-bexi." to notamo nari. 3 Vorifuxi
sacerdote no *ccucassa, xuquro *vngue torio naru Cayfas no tachi ni yoriay, 4 IESVS uo carame-totte
gayxi-tatemaccuran to xengui xite, moxi-queru ua, 5 "Moxi banmin no naca yori tocoro no sauãguj ya
xi idasu-bequi beato nichu uoba nozoqu-bexi." to iyqeru nari.

2 *nadachi=nandachi; 3 *vngue=ingue; 5 sauãguj=sauavguj;

5 死い出す: ローマ字は sauãguj ya xiidasu-bequi とあり、「騒ぎやすい出す・・」の「やしいだす」
の部分で「師い出す」、「しい出す」、「やしい出す」可能性をいろいろ考えたが、一応「死い出す」が最
もふさわしいと考えた。

ベアト日: 「祝福された日、祭の日」

6 さる^{ほど}程に、ゼズス、ベタニアのシ
モン・レポロゾの家におわしますとこ
ろに、

7 ある^{にょ}女人アラバスト^いロの^え小箱^こに^す優
れた^くる^{すり}薬^もを持ち^き来^はた^{んだ}って、^い飯台^でに出向^む
かわせ給う。ゼズスの御髪^{おん}に^{ぐし}かけ^た奉^たら
れければ、

8-9 ギシボロ、これを見^みられ、顔^{がん}色^{しよく}
に怒^{いか}りを現^{あら}し、「この^く薬^{すり}を高^たき^あ値^{たい}に^う売^う
り、貧^ひ人に^に施^ほさ^どずして、何^{なに}とて^ゆ故^えなく、
失^うわれ^しけ^なる^ぞ」と議^ぎせられければ、

10 ゼズス、「汝^{なん}達^だ何^{なに}の^ゆ故^えに、彼^かの^{にょ}女^{にょ}人^{にょ}
に悲^{かな}し^あみを^た与^わえ^れらる^{たい}る^ぞ。我^わに^{たい}対^{たい}して
良^よき^わ業^ざを^せられ^しなり。

6 さて、イエスがベタニアで重い皮
膚病の人シモンの家におられたとき、

7 一人の女が、極めて高価な香油の
入った石膏の壺を持って近寄り、食事
の席に着いておられるイエスの頭に香
油を注ぎかけた。

8 弟子たちはこれを見て、憤慨して
言った。「なぜ、こんな無駄遣いをす
るのか。

9 高く売って、貧しい人々に施すこ
とができたのに。」

10 イエスはこれを知って言われた。
「なぜ、この人を困らせるのか。わた
しに良いことをしてくれたのだ。

11 されば、^{なんだち}汝達の中に常に^{なか}貧人^{つね}あるべけれども、^{われ}我、いつも^{なんだち}汝達ともに居ることあるべからず。

12 ただいま、^{くすり}薬をかけられつことは、^わ我が身^みを埋^{うず}むべきために^{いた}致されける^{しるし}印なり。

13 真^{まこと}に言うなり。世界^よにこのエワンゼリ^{せかい}ヨ弘^{ひろ}まらん所^{ところ}、^わこはかの^お女人^いの業^{わざ}、^{われ}我を^{おも}思い出^{いだ}すために^{いた}致されけると^{きた}沙汰あるべし」と^{のたま}言うなり。

11 貧しい人々はいつもあなたがたと一緒にいるが、わたしはいつも一緒にいるわけではない。

12 この人はわたしの体に香油を注いで、わたしを葬る準備をしてくれた。

13 はっきり言うておく。世界中どこでも、この福音が宣べ伝えられる所では、この人のしたことも記念として語り伝えられるだろう。」

Passio Domini (主の御受難) より p.61

6 Sarufodo ni IESVS Betania no Simō leproso no iye ni voaximasu tocoro ni, 7 aru nhonin alabastro no cobaco ni suguretaru qusuri uo mochi quitatte, fanday ni ide mucauaxe-tamo. IESVS no von-guxi ni caque tatemaccurare quereba, 8-9 discipolo core vo mirare, ganxoqu ni ycari uo arauaxi, "Cono qusuri uo tacaqui atay ni vri, finin ni fodocosazu xite, nani tote yuye naqu vxinauare-queru zo?" to guixerare-quere ba, 10 IESVS "Nandachi nani no yuye ni cano nhonin ni canaximi uo ataye-raruru zo? Vare ni tayxite yoqui vaza uo xerarexi nari. 11 Sareba, nandachi no naca ni ccune ni finin aru-bequere-domo, vare yccumo *nadachi tomo ni yru coto aru-becarazu. 12 Tadayma qusuri uo caque-rareccuru coto ua, vaga mi uo vzumu-bequi tame ni ytasare-queru xiruxi nary. 13 Macoto ni yu nari. Xecay ni cono euangelio firomaran tocoro, coua cano nhonin no vaza, vare uo vomoy-idasu tame ni ytasare-queru to sata aru-bexi." to notamo nari.

6 Simō=Simon; 11 *nadachi=nandachi;

6 レポロゾ： 葡 leproso、羅 lepra, leprosus、希 lepros、英 leprosy, leper 「レプラ」「重い皮膚病」「ツァラアトに冒された」。

7 アラバストロ： 葡 alabastro 「アラバスター、石膏」

小箱： 『キ研』には「香箱」とあるが、ローマ字表記はcobacoであり、わざわざ「香」とする必要はないと判断する。

14 されば、^{じゅうににん}十二人の^{つかさ}ヂシポロ^ゆのうちの、ユダス・エスカリヨテス、サセルダウテの^{つかさ}司^ゆに言いて、

15 「我^{われ}ゼズスを^{ごへんだち}御^{わた}辺^{もう}達^{もう}に^{もう}渡^{もう}し申^{もう}さば、

14 そのとき、十二人の一人で、イスカリオテのユダという者が、祭司長たちのところへ行き、

15 「あの男をあなたたちに引き渡せば、

なに 何たることを与え給わんや」と言いけ
れば、銀錢三十文と約束す。

16 それよりジュダス、ゼズスを渡し
奉らんとの際を窺うなり。

幾らくれますか」と言った。そこで、
彼らは銀貨三十枚を支払うことにした。

16 そのときから、ユダはイエスを引
き渡そうと、良い機会をねらっていた。

Passio Domini (主の御受難) より p.61v

14 Sareba juni-nin no discipolo no vchi Judas Escariotes, sacerdote no *ccucassa ni yuyte, 15 "Vare
IESVS uo gofen tachi ni vataxi mosaba, nani taru coto uo ataye-tamauan ya?" to iy-quereba, guinxen sanju-
mon to yaqusoqu su. 16 Sore yori Iudas, IESVS uo uataxi-tatemaccuran to no fima uo vcago nari.

14 *ccucassa=ccucasa;

1 4 エスカリヨテス： 葡Iscariotes、「イスカリオテ」、ヘブル語「イス+カリオテ」、「カリオテ(村)
の」の意で、ヨシヤ15：25などに言及されている。

1 5 銀錢三十文： 「銀貨三十枚」。

17 さる程に、アジマの初日にデシポ
ロ、ゼズスへ参られ、「パスコアに持
ち給うべき御食物をば、いずかたにて
調え奉るべきぞ」と問い申されければ、

18 ゼズス、二人のデシポロに宣わく、
「汝達ゼルザレンに行かれよ。途に水
を入れたる壺を持ちける者に会わるべ
し。その後を慕い行きて、落ち着くべ
き家の主に、『師匠、我が時、ほど近
ければ、御辺のもとにてデシポロとも
にパスコアをすべし』と言われよ」。

(マルコ14：12-14参照)

19 デシポロ、御掟の如く、パスコア
のセアを調え申されければ、

20 暮れ方にゼズス、十二人のデシポ
ロ、ともに御出でなされ、

21 並み居てパンを服し給う時に、宣
わく。「真に示すなり。汝等の中より

17 除酵祭の第一日に、弟子たちがイ
エスのところに来て、「どこに、過越
の食事をなさる用意をいたしましょう
か」と言った。

18 イエスは言われた。「都のあの人の
ところに行ってこう言いなさい。『先
生が、「わたしの時が近づいた。お宅
で弟子たちと一緒に過越の食事をする」
と言っています。』

19 弟子たちは、イエスに命じられた
とおりにして、過越の食事を準備した。

20 夕方になると、イエスは十二人と
一緒に食事の席に着かれた。

21 一同が食事をしているとき、イエ
スは言われた。「はっきり言うておく
が、あなたがたのうちの一人がわたし
を裏切ろうとしている。」

われ わた ひといちにん のたま
 我を渡すべき人一人あり」と言えば、
 22 ギシボロ、大きに悲しみ、「いかに、
 ドミネ、某にて候や」と問い申されけ
 れば、
 23 ゼズス、「我、ともに鉢に手を入る
 者渡すべきなり。
 24 スクリツウラに見えける如く、ビ
 ルゼンの子、渡るべきが、渡さん者は、
 不憫なり。されば、かの人、生まれざ
 るには如かじ」と宣うなり。
 25 ジュダス、「いかに、師匠、我にて
 や」と申しければ、ゼズス、「御辺言
 わる」と宣うなり。

22 弟子たちは非常に心を痛めて、「主
 よ、まさかわたしのことでは」と代わ
 る代わる言い始めた。
 23 イエスはお答えになった。「わたし
 と一緒に手で鉢に食べ物を浸した者が、
 わたしを裏切る。
 24 人の子は、聖書に書いてあるとお
 りに、去って行く。だが、人の子を裏
 切るその者は不幸だ。生まれなかった
 方が、その者のためによかった。」
 25 イエスを裏切ろうとしていたユダ
 が口をはさんで、「先生、まさかわた
 しのことでは」と言うと、イエスは言
 われた。「それはあなたの言ったこと
 だ。」

Passio Domini (主の御受難) より p.61v

17 Sarufodo ni, azyma no xonichi ni, discipolo JESVS ye may-rare, "Paschoa ni mochi-tamo-beqi von-
 xobut uoba yzzu-cata nite totonoye-tatemaccuru-bequi zo?" to toy mosare-quereba, 18 IESVS ninin no
 discipolo ni notamauaqu, "*Nadachi Jerusalem ni yucare yo. Michi ni mizzu uo yretaru cubbo uo mochi-
 queru mono ni avaru-bexi. Sono ato uo xitay-yuquite, vohiccucu-bequi iye no nuxi ni 'Xixo, vaga toqui
 fodo-chica-qereba, gofen no moto nite discipolo tomo ni paschoa vo subexi.' to yuare yo." 19 Discipolo
 gojo no gotocu paschoa no cea uo totonoye mosare-quereba, 20 quregata ni IESVS, juninin no discipolo
 tomo ni von-yde nasare, 21 nami-yte pan uo buquxi-tamo toqui ni notamauaqu, "Macoto ni ximesu nari,
 *najjira no naca yori, vare uo vatasu-bequi fito ychinin ari." to notamayeba, 22 discipolo voqini
 canaximi, "Ycani, D'ne, soregaxi nite soro ya?" to toy mosare-quereba, 23 IESVS "Vare tomo ni fachi
 ni te uo yruru mono, vatasu-bequi nari. 24 Scriptura ni miye-queru gotocu, virgem no co, vataru-bequi
 ga, vatasan mono ua fubin nari. Sareba, cano fito vmarezaru niua xicaji." to notamo nary. 25 Iudas
 "Ycani, xixo, vare nite ya?" to moxi-quereba, IESVS "Gofen yuaruru." to notamo nari.

18 *nadachi=nandachi; 20 *najjira=nanjjira; 22 D'ne=Domine;

17 アジマ： 羅 azyma 「酵母を用いざるパン」

パスコア： 葡 páscoa、伯 paschoa、羅 pascha 「過越祭」

19 セア： 葡 ceia、「夜食、最後の晚餐」

21 パン： 葡 pāo、「パン」(西洋語からの最初の外来語の一つ) pāo azimo「パン種(酵母)を入れないパン。」

26 パンを取り上げ、文を唱え、割り
 給い、デシポロに賜り、「これ我が
 身肉なり、服せられよ」と宣いて、
 27 またカリスを取り上げ給い、御礼
 あって、デシポロに下され宣いけるは、
 「各々これを飲まれよ。
 28 汝達と数多の人の咎を送るべきた
 めに流すべき新しき Testament の我
 が身の血なり。
 29 汝達我を思い出すために、かくの
 如く致されよ。御親の国にて、汝達と
 もに新しき酒を飲むべき、この酒を飲
 むべからず」と宣い、
 30 オラシヨし給いて後、

26 一同が食事をしているとき、イエ
 スはパンを取り、賛美の祈りを唱えて、
 それを裂き、弟子たちに与えながら言
 われた。「取って食べなさい。これは
 わたしの体である。」
 27 また、杯を取り、感謝の祈りを唱
 え、彼らに渡して言われた。「皆、こ
 の杯から飲みなさい。
 28 これは、罪が赦されるように、多
 くの人のために流されるわたしの血、
 契約の血である。
 29 言うておくが、わたしの父の国で
 あなたがたと共に新たに飲むその日ま
 で、今後ぶどうの実から作ったものを
 飲むことは決してあるまい。」
 30 一同は賛美の歌をうたってから、
 オリーブ山へ出かけた。

Passio Domini (主の御受難) より p.64

26 Pan uo toriague, mon uo tonaye, vari-tamay, discipolo ni tamauari, "Core vaga xinniqu nari. Buquxe-rare yo." to notamayte, 27 mata calix uo toriague-tamay, von-rey atte, discipolo ni qūdasare, notamay-qeru ua, "Vono vono core uo nomare yo. 28 Nandachi to amata no fito no toga uo voquru-bequi tame ni, nagasu-bequi ataraxiqi Testamēto no vaga mi no chi nari. 29 Nandachi vare uo vomoy-idasu tame ni, caqu no gotocu ytasare yo. Vō-voya no cuni nite, *nadachi tomo ni ataraxiqi saque uo nomu-beqi, cono saque uo nomu-becarazu." to notamay, 30 Oratio xi-tamayte nochi, ...

27 qūdasare=qundasare; 28 Testamēto=Testamento; 29 vō-voya=von-voya; *nadachi =nandachi;

26 文： (文を唱ふる)「人が栄福を祈る際など、信仰上の成句や語を唱える」(『日葡』)

身肉： 「人間の肉体、または、人間の肉」(『日葡』)

27 カリス： 葡 cálice、伯羅 calix、「聖杯」

28 テスタメント： 葡 *testamento* 「遺言、（神と人間との）契約」

31 「汝達、今宵我よりスカンダロを
受けらるべし。その故は、『パストル、
疵を蒙らん時、オベリヤ散乱す』とス
キリツウラに見えたり。

32 然りと雖も、甦りて後、ガリレア
において見えん」と宣いければ、

33 ペドロ申されけるは、「人は師匠よ
りスカンダロを受けらるるとも、我は
長く受くべからず。たとい、君とともに
に籠者せられ、死罪に及ぶとも御伴致
すべき覚悟仕る」と申されければ、

34 ゼズス、「真に御辺に言うなり。
今宵、鶏鳴かぬ前に三度我を陳ぜらる
べし」と宣えば、

35 ペドロ重ねて、「師匠とともに死ぬ
るとも陳ずることあるべからず」と申
されければ、残りのデシポロも同じく
申されけるなり。

31 そのとき、イエスは弟子たちに言
われた。「今夜、あなたがたは皆わた
しにつまずく。『わたしは羊飼いを打
つ。すると、羊の群れは散ってしまう』
と書いてあるからだ。

32 しかし、わたしは復活した後、あ
なたがたより先にガリラヤへ行く。」

33 するとペトロが、「たとえ、みんな
があなたにつまずいても、わたしは決
してつまずきません」と言った。

34 イエスは言われた。「はっきり言っ
ておく。あなたは今夜、鶏が鳴く前に、
三度わたしのことを知らないと言うだ
ろう。」

35 ペトロは、「たとえ、御一緒に死な
ねばならなくなっても、あなたのこと
を知らないなどとは決して申しません」
と言った。弟子たちも皆、同じように
言った。

Passio Domini （主の御受難）より p.64

31 "Nandachi coyoy vare yori scandalo uo vqueraru-bexi. Sono yuye ua, 'Pastor quizzu uo comurã toqui, ouelha sanran su.' to scriptura ni miye-tari. 32 Xicari to iye domo, yomigayerite nochi, Galilea ni uoyte mamiyen." to notamay-quereba, 33 Pø. mosarequeru ua, "Fito ua xixo yory scandalo uo vqueraruru tomo, vare ua nagaqu vqu-becarazu. Tatoy quimi to tomo ni roxa xerare, xizay ni voyobu tomo von-tomo ytasu-bequi cacũgo ccucamaccuru." to mosare-quereba, 34 IESVS "Macoto ni gofen ni yu nari, coyoy tori naquanu maye ni, mitabi vare uo chinjeraru-bexi." to notamayeba, Pø. casanete "Xixo to tomo ni xinuru tomo, *chizuru coto aru-becarazu." to mosare-qereba, nocori no discipolo mo vnajiqu mosare-geru nari.

31 comurã toqui=comuran toqui; 33 cacũgo=cacungo; 33, 34 Pø.=Pedro; 34 *chizuru=chinzuru;

31 スカンダロ： →エスカンダロ

34 陳ぜらる： =陳防、「否定する」(『日葡』)

36 されば、^{ほど}程なくゼツセマニという
^{さと}里に着き給い、^つデシポロに仰せけるは、^{たまた}
^{われ}「我オラシヨせん間、^{あいだ}この所にしかと
^い居られよ」と宣い、^{のたま}

37 ペドロ、ジャコブ、ジョアンを
^{おんとも}御伴にて^{もり}森の奥へ^{おく}入り^い給えは、^{たま}恐れ悲
^{おんこころ}しき御心を受け始め給いて、^{はじ}

38 宣いけるは、^{のたま}「我、^{われ}色体を離るま
^{はな}で、^{なんだち}悲しきなり。汝達、^{ばん}ここに番して
^い居られよ」とて、

39 三人の^{さんにん}居らるる所より^い少し^{ところ}行き伸
^{たま}び給い、^{ひざまず}跪き給い^{たま}申させ^{もう}給うは、^{たち}「い
^{なにごと}かに、^{かな}ペアデレ、何事も^{たま}叶い給えは、
^{われ}我よりこの^{のぞ}カリスを除け^{たま}給え。然れど
^わも、我が^{ぞんぶん}存分を^{そだ}育て^{たち}給うべからず。た
^{おぼ}んだ思し^め召すまに^{たま}あらせ^{のたま}給え」と宣
^いいて、

40 デシポロの^い居られける所へ^{ところ}歸り給
^{ねむ}い、^{ごらん}眠られけるを^{たま}御覧あつて、^{ねむ}ペドロ
^{のたま}に宣いけるは、^{いかに}「いかに、シモン、^{ねむ}眠
^{ひととき}られけるか。ただ、一時の番を^{ばん}さえ我
^{とど}とともに^{かな}届くること、^い叶われざるや。

41 テンタサンに入るまじきために、
^{ばん}番して^{つよ}オラシヨせらるべし。スピリツ
^{しきしん}は強けれども、^{よわ}色身は弱きなり」と宣
^{のたま}いて、

42 重ねて^{きさ}元の^{もと}所に^{ところ}到り^{いた}給い、^{たま}「いかに、

36 それから、イエスは弟子たちと一
 緒にゲツセマネという所に来て、「わ
 たしが向こうへ行つて祈っている間、
 ここに座っていなさい」と言われた。

37 ペトロおよびゼベダイの子二人を
 伴われたが、そのとき、悲しみもだえ
 始められた。

38 そして、彼らに言われた。「わたし
 は死ぬばかりに悲しい。ここを離れず、
 わたしと共に目を覚ましていなさい。」

39 少し進んで行って、うつ伏せにな
 り、祈つて言われた。「父よ、できる
 ことなら、この杯をわたしから過ぎ去
 らせてください。しかし、わたしの願
 いどおりではなく、御心のままに。」

40 それから、弟子たちのところへ戻
 って御覧になると、彼らは眠っていたの
 で、ペトロに言われた。「あなたがた
 はこのように、わずか一時もわたしと
 共に目を覚ましていられなかったのか。

41 誘惑に陥らぬよう、目を覚まして
 祈っていなさい。心は燃えても、肉体
 は弱い。」

42 更に、二度目に向こうへ行つて祈
 られた。「父よ、わたしが飲まないか
 ぎりこの杯が過ぎ去らないのでしたら、
 あなたの御心が行われますように。」

ペアデレ、このカリスを飲^のまで叶^{かな}わぬ
において、御オンタアデを遂^とげ給^{たま}え」
と申^{もう}させ給^{たま}い、

43 またヂシポロに歸^{かえ}り給^{たち}うに悲^{かな}しみ
のあまりに、両眼重^{りょうがんおも}くなりて、眠^{ねむ}られ
ければ、・・・

43 再び戻って御覧になると、弟子た
ちは眠っていた。ひどく眠かったので
ある。

Passio Domini (主の御受難) より p.64v

36 Sareba fodonaqu Jetsemani to yu sato ni ccuqui-tamay, discipolo ni voxegeru ua, "Vare oratio xen
ayda, cono tocoro ni xicato yrare yo." to notamay, 37 P^o. Jacob, Joan uo von-tomo nite, mori no voqu
ye yri-tamayeba, vosore canaxiqi von-cocoro uo vque fajime-tamayte, 38 notamay-queru ua, "Vare xiquitay
uo fanaruru made canaxiqi nari. Nandachi coco ni ban-xite yrare yo.", tote, 39 šānin no y-raruru tocoro
yori sucoxi yuqi-nobi-tamay, fizamazuqui-tamay mosaxe tamo va, "Ycani, Padre, nani goto mo canay-
tamaye ba, vare yori cono calix uo nozoque-tamaye. Xicaredomo vaga *zobun uo sodate-tamo-becarazu,
fāda voboximesu mama ni araxe-tamaye." to notamajte, 40 discipolo no yrare-queru tocoro ye cayeri-
tamay, nemurare-queru uo goran atte, P^o. ni notamay-queru ua, "Ycani, Simon, nemurare-queru ca? Tada
fitotoqui no ban uo saye, vare to tomo ni todo-quru coto canauare-zaru ya? 41 *Tentacão ni yru-majiqi
tame ni, ban-xite oratio xeraru-bexi. Sp'u. va ccuyo-queredomo, xiquixin ua youaqui nari." to notamayte,
42 casanete moto no tocoro ni ytari-tamay, "Ycani, P^e., cono calix uo nomade canauanu ni uoyte,
go-uontade uo togue-tamaye." to mosaxe tamay, 43 mata discipolo ni cayeri-tamo ni, canaximi no amari
ni reogan vomoqu narite, nemurare-quereba, ...

37 P^o. =Pedro; 39 šānin=sāmin; *zobun=zonbun; fāda=tāda; 41 tentacão tentação Sp'u.=Spiritu; 42 P^e.=Padre;

3 9 存分: 「意見、判断、または、意志」(『日葡』)

4 2 オンタアデ: 葡 vontade 「意志」

45 その後、オラシヨの所^{のち}を立^{ところ}たし給^{たま}
い、ヂシポロの傍^{そば}に御出^{おん い}であつて、宣^{のたま}
いけるは、「今は汝達^{いま}、心安^{なんだち}く臥^{ところやす}さる
べし。ビルゼンの子^こ、悪人^{あくにん}の手に渡^てる
べき時^{とき}来るなり。

46 立^たち上^あがり、我^{われ}とともに向^むかわる
べし」と宣^{のたま}う。

47 御言葉^{みことば}の下^{した}より、十二人^{じゅうににん}のヂシポ

45 それから、弟子たちのところに戻
て来て言われた。「あなたがたはまだ
眠っている。休んでいる。時が近づい
た。人の子は罪人たちの手に引き渡さ
れる。

46 立て、行こう。見よ、わたしを裏
切る者が来た。」

47 イエスがまだ話しておられると、

口のうち、^{とうりよう}ジュダス・エスカリオテス、
^{しゅくろう}サセルダウテの^{つか}棟梁、^{あまた}エスキリバ、^{つわもの}宿老より^{あんないしゃ}遣わしける^ひ数多の^{とば}兵の^{ほこ}案内者^{ひょうじよう}として、^{たい}火を^{きた}点し、^す銚、^{たい}兵杖を^{きた}帯して
 来るなり。

48 ^{むほんにん}謀反人の^{やくそく}ジュダス、かねての約束
 には、「^{われおんかお}我御顔を^す吸い^{たてまつ}奉る^{じんたい}べき人体を
^{から}搦め^と取って、^{ゆだん}油断なく^め召し^こ籠められよ」
 と言^いい捨^すて、

十二人の一人であるユダがやって来た。
 祭司長たちや民の長老たちの遣わした
 大勢の群衆も、剣や棒を持って一緒に
 来た。

48 イエスを裏切ろうとしていたユダ
 は、「わたしが接吻するのが、その人
 だ。それを捕まえろ」と、前もって合
 図を決めていた。

Passio Domini (主の御受難) より p.65v

45 Sono noch i oratio no tocoro vo tataxi-tamay, discipolo no soba ni von-yde atte, notamay-qeru ua,
 "Ima ua *nadachi cocoro-yasuqu fusaru bexi. Virgem no co aquinin no te ni vataru-bequi toqui quitaru nari.
 46 Tachi-agari, vare to tomo ni mucauaru-bexi." to notamo. 47 Mi-cotoba no xita yori juninĩ no
 discipolo no vchi, ludas Escariotes, sacerdote no torio, escriba, xuquro yori ccuauaxi-queru amata no
 ccuamono no annayxa toxite, fi uo toboxi, foco, fiojjo uo tayxite quitaru nari. 48 Mufon-nin no ludas
 canete no yaqusoqu niua, "Vare von-cauo uo sui-tatemaccuru-bequi jintay uo *caramé-tote, yudan naqu
 mexi-comerare yo." to iysute, ...

45 *nadachi=nandachi; 47 juninĩ=juninin; 48 *caramé-tote=caramé-totte;

47 兵杖：「槍や刀のような武器」(『日葡』)

48 御顔を吸い：日本では、人前で挨拶として接吻することはなかったので、初期の翻訳にはかなり苦勞しているようである。ウィリアムズ「口を吸う」、ベッテルハイム「口を吸う」、ゴープル「しゃぶる」

49 されば、^{ちか}ジュダス^{たてまつ}近づき奉^{もう}りて、^あ「アベ・ラビ」と^{おんかお}申し上^すげ御顔を^{たてまつ}吸い奉
 るに、

50 ゼズス、「^{した}いかに、^{なか}親しき^{なに}仲、何の
^{ゆえ}故にか^{きた}来られ^すけるぞ。吸うことを^{あいず}合図
 にして、^こビルゼンの^{わた}子、^{わた}渡され^{かこ}けるや」
 と^{のたま}宣^{おりふし}う。折^{つわもの}節、兵ども^と取り^{かこ}囲^{かこ}うでゼズ
 スを^{あらけ}荒^{から}気なく^{たてまつ}搦め奉れば、

49 ユダはすぐイエスに近寄り、「先
 生、こんばんは」と言って接吻した。

50 イエスは、「友よ、しようとしてい
 ることをするがよい」と言われた。す
 ると人々は進み寄り、イエスに手をか
 けて捕らえた。

51 そのとき、イエスと一緒にいた者
 の一人が、手を伸ばして剣を抜き、大

51 ペドロ^{けん}剣^ぬを抜き、ポンチヒセの
郎等^{ろうどう}マルコという者^{もの}の右^{みぎ}の耳^{みみ}を切り離^{きはな}
さるれば、

52 ゼズス、「ペドロ^{けん}、剣^{さや}を鞘^{ころ}にさされ
よ。剣^{けん}にて殺^{ころ}さば、剣^{けん}にて殺^{ころ}さるべし。

53 我^{われ}、御親頼^{おんおやたの}み申^{もう}さば、十二^{じゅうに}のレヂ
ヤンよりもなお数々^{かずかず}のアンジョ^{たまわ}を賜^{たまわ}
べきこと^しを知られざるや。

54 その義^ぎならば、スキリツウラ^{おきて}の掟^{おきて}
を何^{なに}としてか遂^とぐべきや」。

55 ジュデウら^おに仰^おせけるは、「我^{われ}、
毎日^{まいにち}テンポロ^{おし}において教^{おし}えし時^{とき}は、

56 かくの^{のんごと}如^{ごと}く、あること皆^{みな}スキリツ
ウラ^{とん}を遂^{とん}げんがためなり」と宣^{のたち}うなり。

祭司の手下に打ちかかって、片方の耳
を切り落とした。

52 そこで、イエスは言われた。「剣を
さやに納めなさい。剣を取る者は皆、
剣で滅びる。

53 わたしが父にお願いできないとで
も思うのか。お願いすれば、父は十二
軍団以上の天使を今すぐ送ってくださ
るであろう。

54 しかしそれでは、必ずこうなると
書かれている聖書の言葉がどうして実
現されよう。」

55 またそのとき、群衆に言われた。
「まるで強盗にでも向かうように、剣
や棒を持って捕らえに来たのか。わた
しは毎日、神殿の境内に座って教えて
いたのに、あなたたちはわたしを捕ら
えなかった。

56 このすべてのことが起こったのは、
預言者たちの書いたことが実現するた
めである。」このとき、弟子たちは皆、
イエスを見捨てて逃げてしまった。

Passio Domini (主の御受難) より p.66

49 Sareba Judas chicazzuqui *tetemate, "Aue Rabi!" to moxi-ague, von-cauo sui-tatemaccuru ni, 50
IESVS "Ycani, xitaxiqi naca, nani no yuye nica quitarare-queru zo? Su coto uo ayzu ni xite, virgem no co
vatasare-queru ya?" to notamo. Vorifuxi, ccuamono-domo toricacode, IESVS uo araque-naqu carame-
tatemaccureba, 51 Po. quen uo nuqui, pontifice no rodo Malco to yu mono no migui no mimi uo quiri-
fanasa-rureba, 52 IESVS "Pedro, quen uo saya ni sasare yo. Quen nite corosa ba, quen nite corosaru-
bexi. 53 Vare von-voya tanomi-mosaba, juni no legião yorimo nauo cazu-cazu no anjo uo tamauaru-
bequi coto uo xirarezaru ya? 54 Sono gui naraba, scriptura no voquite uo nani to xite ca togu-bequi ya?"
55 Iudeu-ra ni vox-e-queru ua, "Vare maynichi templo ni uojte voxiyexi toqi ua, ... 56 Caqunõ gotocu

aru coto, mina Scriptura uo tonguẽ ga tame nari." to notamo nari.

49 *tetemate=tatemaccuri/ tatemaccurite/ tatemaccutte; 51 P_o=Pedro; 56 caquũ=caquon; tonguẽ=tonguen;

4 9 アベ: 羅ave「ようこそ、さようなら」。cf. Ave Maria

ラビ: ヘブル語「先生」。ユダヤ教の教師、ギリシア語、ラテン語を通して伝えられた。

5 1 ポンチヒセ: 葡pontifice、羅pontifex、「司教、大司教」。この場合は、「大祭司」

5 3 レヂヤン: 葡legião、「(古代ローマ) 軍団、レギオン」

59 サセルダウテの棟梁^{とうりょう}、あるいはエ
スクリバ、あるいは所の宿老^{ところ しゆくろうい}以下ゼズ
ス^{し ざい}を死罪^{らくじやく}に落着せしむるために虚名^{きよめい}を
尋ね^{たず}求むれども、

60 なかりつる所^{ところ}に、ある人二人^{ひとに にんす}進み
出^{いで}て、申しかくる虚説^{きよせつ}には、

61 「『我^{われ}デウスのテンポロを崩し、
さん^{さん}にちすつくた^たもう
三日過ぎて造り建てん』と申されける
を、某^{それがし}奉る』^{それがしうけたまわ}と言^いいけれども、この
二人^{ににん}の証^{しょう}拠^こも正^{ただ}しからねば、

62 カイハス立ち上^たがり、「いかに、
ご^ごへんたい^{たい}もう
御^ご辺^{へん}対して申^{もう}しかけるることの
返^{へん}答^{とう}すし^すもなきや」と申^{もう}しけれども、

63 兎角^{とこう}の御^{おん}応^いえもし給^{たま}わず、重^{かさ}ねて
サセルダウテの司^{つかさ}「尊^{たつと}きデウス・ヒイ
リヨ・キリシトとは御^{おん}身^みにて在^{まし}すや」
と申^{もう}しければ、

64 ゼズス、「我^{われ}をデウス・ヒイリヨと
ご^ごへんい^い
は御^ご辺^{へん}言^ごわるるなり。ビルゼンの子^こデ
ウス・パアレの御^{おん}右^{みぎ}に住^{じゅう}し、雲^{くも}に乗^の
りて出^いでんことを汝^{なんだち}達見^みらるべし」と
宣^{のたま}えば、

65 その時^{とき}、カイハス「悪^{あつこう}口^{こう}に給^{たま}う」
わ^わいし^{いし}よう^{よう}ひ^ひやぶ^{やぶ}
とて我^わが衣^い裳^{しやう}を引き破^{やぶ}り「かほどの

59 さて、祭司長たちと最高法院の全
員は、死刑にしようとしてイエスにとつ
て不利な偽証を求めた。

60 偽証人は何人も現れたが、証拠は
得られなかった。最後に二人の者が来
て、

61 「この男は、『神の神殿を打ち倒し、
三日あれば建てることができる』と言
いました」と告げた。

62 そこで、大祭司は立ち上がり、イ
エスに言った。「何も答えないのか、
この者たちがお前に不利な証言をして
いるが、どうなのか。」

63 イエスは黙り続けておられた。大
祭司は言った。「生ける神に誓って我々
に答えよ。お前は神の子、メシアなの
か。」

64 イエスは言われた。「それは、あな
たが言ったことです。しかし、わたし
は言うておく。あなたたちはやがて、
人の子が全能の神の右に座り、天の雲
に乗って来るのを見る。」

65 そこで、大祭司は服を引き裂きな
がら言った。「神を冒瀆した。これで

あつこうもう うえ べつ しょうこ い
悪口申さる上は、別の証拠も要るべ
あつこう き
らず。ただいまの悪口を聞かれざるや。

66 いかに」と申されければ、^{もう} ^{おのおの} 各々
「最も殺さで叶わぬ人なり」と死罪に
ちとと ころ かな ひと し ざい
らくじゃくいた
落着致しけるなり。

67 されば、^{あなど たてまつ} ジュデウら、侮り奉るた
め、^{おんかお つはき は おんりようが} 御顔に唾を吐きかけ、御両眼を
ゆ ふさん おんうなぜ う たてまつ
結い塞ぎ、御項を打ち奉り、

68 「ただいま打ちける者の名を言い当
^{たまた もう ぞうにんばら いた}
て給え」と申し、雑人原に至るまでも、
おんかお う たてまつ
御顔を打ち奉るなり。

もまだ証人が必要だろうか。諸君は今、
冒流の言葉を聞いた。

66 どう思うか。」人々は、「死刑にす
べきだ」と答えた。

67 そして、イエスの顔に唾を吐きか
け、こぶしで殴り、ある者は平手で打
ちながら、

68 「メシア、お前を殴ったのはだれか。
言い当ててみる」と言った。

Passio Domini (主の御受難) より p.67v

59 Sacerdote no toriô, arujua escriba, aruyua tocoro no xuquro igue IESVS uo xizay ni raqujaqu
xeximuru tame ni quiomej uo tazune motomure domo, 60 nacaricuru tocoro ni, aru fito ninin susumi
idete, moxi-caquuru quioxet niua, 61 "Vare Deus no templo uo quuzuxi san-nichi suguite, ccuquri taten."
to mosare-queru uo, soregaxi vque-tamauaru." to iy-qeredomo, cono ninin no xoco mo tadaxi caraneba, 62
Caifas tachi-agari, "Ycani, gofen ni tayxite moxi caquera-ruru coto no fento sucoximo naqi ya?" to moxi-
quere-domo, 63 toco no von-yraye mo xi-tamauazu, casanete sacerdote no *ccucassa, "Tattoqui Deus
filho Christo toua von-mi nite maximasu ya?" to moxi-qere ba, 64 IESVS "Vare uo Deus Filho to ua
goften yuaruru nari. Virgẽ no co Deus Padre no von-migui ni ijuxi, qumo ni norite yden coto uo nandachi
mi-raru-bexi." to notamayeba, 65 sono toqui Caifas "Acco xi-tamo!" tote vaga yxo uo fiqui-yaburi,
"Cafodo no acco mosaruru vye ua bet no xoco mo yru-becarazu. Tadaima no acco uo quicarezaru ya?
66 Ycani?" to mosare-quereba, vono-vono "Mottomo corosade canauanu fito nari." to xizay ni raqujaqu
itaxi-queru nari. 67 Sareba Judeu-ra anadori-tatemaccuru tame ni, vō-cauo ni ccufaqi uo faqui caqe, von-
reogan uo yuy fusangui, von-vnaze uo vchi-tatemaccuri, 68 "Tada-ima vchi-queru mono no *no na uo *iy-
atte tamaye." to moxi, zoninbara ni ytaru made mo von-cauo uo vchi-tatemaccuru nari.

64 virgẽ=virgem; 67 vō-cauo=von-cauo; 68 delete *no; *iy-atte=iy-ate;

68 雑人原：「下賤な者、または、下級の軍勢」（『日葡』）

69 さればペドロ火に当たって居られ
けるに、^{げじ よいちにん き} 下女一人来たって、「御辺は
^{どうしん ひと い}
ナザレトのゼズス同心の人なり」と言

69 ペトロは外にいて中庭に座ってい
た。そこへ一人の女中が近寄って来て、
「あなたもガリラヤのイエスと一緒に

いければ、

70 ペドロ「更に見^{さら}ず知^みらざる人^しなり」
とて庭^にへ出^いでらるるに、

71 別^{べつ}の下女^{げじょ}来^きたて、ペドロに指^{ゆび}
差^さし、「いかに、人々^{ひとびと}、これこそゼズ
ス同心^{どうしん}の人^{ひと}よ」、と言^いいければ、

72 「彼^かの人^{ひと}を知ら^{ちか}ず」と誓^{ちか}い給^{たま}うをもつ
て陳^{ちん}じ申^{もう}さるるなり。

73 ややあつて、耳^{みみ}を切り離^きされける
ポンチヒセの郎等^{ろうどう}の一族^{いちぞく}来^きたて、
「汝^{なんじ}はゼズス同心^{どうしん}の者^{もの}なり、その故^{ゆえ}は、
汝^{なんじ}の口^{くち}からその身^みを露^{あら}わすなり」と言^い
いければ、

74 ペドロ誓^{ちか}いをもつて、「ゼズスと言^い
える人^{ひと}をば見^み知り申^{もう}さぬ」と陳^{ちん}ぜらる
る。折^{おり}節^{ふし}、鶏^{にわとり}既に鳴^なきけるに、

75 ゼズス、ペドロを顧^{かえり}み給^{たま}えば、「鶏^{にわとり}
前^{ぜん}に三^み度^{たび}、我^{われ}に對^{たい}して陳^{ちん}すべし」宣^{のたま}い
つることを思^{おも}ひ合^あわせて、門^{もん}外^がに出^いて
悲^{かな}しみの涙^{なみだ}を流^{なが}されけるなり。

いた」と言った。

70 ペトロは皆の前でそれを打ち消し
て、「何のことを言っているのか、わ
たしには分からない」と言った。

71 ペトロが門の方に行くと、ほかの
女中が彼に目を留め、居合わせた人々
に、「この人はナザレのイエスと一緒
にいました」と言った。

72 そこで、ペトロは再び、「そんな人
は知らない」と誓って打ち消した。

73 しばらくして、そこにいた人々が
近寄って来てペトロに言った。「確か
に、お前もあの連中の仲間だ。言葉遣
いでそれが分かる。」

74 そのとき、ペトロは呪いの言葉さ
え口にしながら、「そんな人は知らない
」と誓い始めた。するとすぐ、鶏が
鳴いた。

75 ペトロは、「鶏が鳴く前に、あなた
は三度わたしを知らないと言うだろう
」と言われたイエスの言葉を思い出した。
そして外に出て、激しく泣いた。

Passio Domini (主の御受難) より p.68

69 Sareba Pedro fi ni *attatte yrare-queru ni, guejjo ychinin quitatte, "Gofen ua Nazaret no IESVS doxin no fito nari." to iy-quereba, 70 P^o. "Sara ni mizu-xirazaru fito nari." tote, niua ye ide-raruru ni, 71 bet no guejjo quitatte, Pedro ni yubi uo saxi, "Ycani, fito-bito, core *cosso IESVS doxin no fito yo.", to iy-queru ba, 72 "Cano fito uo xirazu." to chicay-tamo uo motte, chinji mosaruru nari. 73 Yaya atte, mimi uo quiri-fanasare-queru pōtifice no rōdō no ychizoqu quitatte, "*Najji ua IESVS doxin no mono nari. Sono yuye ua, *najji no cuchi cara sono mi uo arauasu nari." to iy-quereba, 74 P^o. chicay uo motte "IESVS to iyeru fito uoba mixiri-mosanu." to chīje-raruru. Vorifuxi niuatori sude ni naqui-queru ni, 75 IESVS Pedro uo cayerimi-tamaye ba, "Niuator ien ni mitabi vare ni tayxite *chisu-bexi." notamay ccuru

coto uo vomoy-auaxete, mongay ni idete, canaximi no namida uo nagasare-queru nari.

69 *attatte=atatte; 70, 74 P_o=Pedro; 73 pōtifice=portifice; najji=nanjji; 74 chīje=chirje; 75 *chisu=chinsu;

7 1 別：ローマ字はbetで、「べち」とも読める。

27章

1 さる^{ほど}程に、その^よ夜の^あ明け^が方にサセ
ル^{とうりょう}ダウテの棟梁、ス^{ところ}キリバ、所^{しゅくろう}の宿老
以下^{いげ}寄り^よ合い、詮^あ議^{せんぎ}評^{ひょう}定^{じょう}取^とり取^とりにゼ
ズ^{しざい}を死罪^{らくじゃく}に落着^しして
2 引^ひき出^{いだ}し奉^{たてまつ}り、

1 夜が明けると、祭司長たちと民の
長老たち一同は、イエスを殺そうと相
談した。
2 そして、イエスを縛って引いて行
き、総督ピラトに渡した。

Passio Domini (主の御受難) より p.68v

1 Sarufodoni sono yo no aquegata ni sacerdote no tōriō, scriba, tocoro no xuquro igue yoriay, xengui
fiōjo tori-dori ni IESVS uo xizay ni raquaju-xite 2 fiqui-idaxi tatemaccuri, ...

3 さる^{ほど}程に、ユダ^{しざい}スはゼズ死罪^{しざい}
に定^{さだ}まり給^{たち}うを見^みて後^{こう}悔^{かい}の心^{こころ}を起^おこし、
三十^{さんじゅうもん}文^{もん}の銀^{ぎん}銭^{せん}を持^もち、サセル^もダウテの
つか^{つか}さし^{しゅくろう}宿老^なども並^いみ居^{ところ}ける所^ゆに行^{もう}きて申
しけるは、
4 「^{おん}ジ^ちストの御^{わた}血^ちを渡^{わた}すをも^{おも}って重
き^{つみ}罪^{いた}を致^いせる」と言^いいければ、サセル
ド^{われ}ウテ、「我^{すこ}、少^{くる}しも苦^{なんじ}しからず、汝^{なんじ}
知^しるべし」と応^いえければ、
5 この銀^{ぎん}銭^{せん}をテン^{なん}ボロに投^いげ入^たれ立
ち^{かえ}歸^くり、首^{くび}をく^{かた}くり、片^{かた}腹^{はら}破^{やぶ}れて（使
徒^し1：18）死^ししけるなり。
6 さる^{ほど}程にサセル^{つかさ}ダウテの司^{せん}、詮^ぎ議

3 そのころ、イエスを裏切ったユダ
は、イエスに有罪の判決が下ったのを
知って後悔し、銀貨三十枚を祭司長た
ちや長老たちに返そうとして、
4 「わたしは罪のない人の血を売り渡
し、罪を犯しました」と言った。しか
し彼らは、「我々の知ったことではな
い。お前の問題だ」と言った。
5 そこで、ユダは銀貨を神殿に投げ
込んで立ち去り、首をつって死んだ。
6 祭司長たちは銀貨を拾い上げて、
「これは血の代金だから、神殿の収入
にするわけにはいかない」と言い、

しけるは、「この銀銭^{ぎんせん}は血^ちの代わりなれば、テンポロのセポ^せに入るべきこと本意^{ほんい}にあらず」とて、

7 土鍋造^{つちなべつく}りの屋敷^{やしき}を買い取り^か、他国^{たこく}より来る無縁^{むえん}の人の三昧^{さんまい}と定め、アケルデマエと名付^{なづ}けたり。

8 これ血^ちの屋敷^{やしき}ということなり。

9 ゼレミヤス・ポロヘエタ、御主^{おんあるじ}、我がために定め給うに相違^{さだい}わず。イスラエルの子より値切^{ねぎ}りたる三十銭^{さんじっせん}を取つて、土鍋造^{つちなべつく}りの屋敷^{やしき}の代わり^かに渡^{わた}しける」とのポロヘシヤを遂^とげ給うなり。

7 相談のうえ、その金で「陶器職人の畑」を買い、外国人の墓地にすることにした。

8 このため、この畑は今日まで「血の畑」と言われている。

9 こうして、預言者エレミヤを通して言われていたことが実現した。「彼らは銀貨三十枚を取った。それは、値踏みされた者、すなわち、イスラエルの子らが値踏みした者の値である。」

Passio Domini (主の御受難) より p.69

3 Sarufodo ni Judas ua IESVS xizay ni sadamari tamo uo mite, coquai no cocoro uo vocoxi, sanjumon no guinxẽ uo mochi, sacerdote no *ccucassa, xuquro-domo nami-y-queru tocoro ni yuqite, moxi-queru ua, 4 "Iusto no von-chi uo vatasu uo motte, vomoqi ccumi uo ytaxeru." to iy-quereba, sacerdote "Vare sucoximo quruxi carazu, *najji xiru-bexi." to yraye-qereba, 5 cono guinxen uo *uo templo ni nãgue-ire, tachi-cayeri, qubi uo ququri, cata-fara yaburete, xixiqueru nari. 6 Sarufodo ni sacerdote no *ccucassa, xengui xi-queru ua, "Cono guinxen va chi no cauari nareba, templo no cepo ni yru-bequi coto fon-y ni arazu." tote, 7 ccuchinabe-ccuquri no yaxiqi uo caytori, tacoqu yori quitaru muyen no fito no sanmay to sadame, Aqueldamae to nazzuqe-tari. 8 Core chi no yaxiqui to yu coto nari. 9 Jeremias profeta "Von-aruji uaga tame ni sadame tamo ni *aycatagauazu. Israel no co yori neguiri-taru sanjix-xen uo totte, ccuchinabe-ccuquri no yaxiqui no cauari ni vataxi-queru." *tomo profesia uo togue tamo nari.

3 guinxẽ=guinxen; 3 *ccucassa=ccucasa; 4 *najji=najji; 5 delete *uo; nãgue-ire=nange-ire; 6 *ccucassa=ccucasa

9 *aycatagauazu=aytagauazu; *tomo=tono;

3 後悔: ローマ字表記 coquai とあることから、「こうくあい」と読まれたと思われる。

6 セポ: 葡 cepo。「(教会にある) 施し物を入れる空洞の円柱、慈善箱」。最近の翻訳では tesouro が用いられる。

7 三昧: 「(寺院内の) 墓地、または、共同墓地」(『日葡』)

13 その時^{とき}、ピラトス、数多^{あまた}のジュデウ^{もう}より申しかくることを聞き給わぬ

13 するとピラトは、「あのようにお前に不利な証言をしているのに、聞こ

や」と申^{もう}されけれども、

14 それにも御返^{おんへん}事^じし給^{たま}わざれば、ピ
ラトス大^{おお}きに驚^{おどろ}き申^{もう}されけるなり。

15 されば、昔^{むかし}よりの法^{はつと}度にパスコア
の^ひ日に当^あたって、万^{ばん}民^{みん}の望^{のぞ}みに任^{まか}せ、
籠^{ろう}者^{しや}一人^{いちにん}守^{しゅ}護^ご人^{にん}より許^{ゆる}さることあり。

16 折^{おり}節^{ふし}、盗^{ぬす}みをし、人^{ひと}を殺^{ころ}し、隠^{かく}れ
なきバルバ^{ろつしや}スという籠^{ろう}者^{しや}ありけるな
り。

17 ピラトス、ジユデウども、ゼズス
を憎^{にく}み奉^{たてまつ}って讒^{さん}奏^{ざう}を^しすると知^しられ、サ
セルダウ^とテに問^とわれけるは、「このパ
スコア^ひの^あ日に当^あたって、キリシトと申^{もう}
すゼズスとバルバ^{ろつしや}スとを^いば何^いれをか
許^{ゆる}すべきぞ」と言^いいて、

えないのか」と言^いった。

14 それでも、どんな訴^うえにもお答^{こた}え
にならなかつたので、総^{そう}督^{とく}は非常^{ひじょう}に不
思^ふ議^ぎに思^{おも}った。

15 ところで、祭^{まつり}の度^{たび}ごとに、総^{そう}督^{とく}は
民^{たみ}衆^{しゅう}の希^き望^{ぼう}する囚^{りう}人^{にん}を一人^{ひとり}釈^{しやく}放^{はう}するこ
とに^{して}いた。

16 そのころ、バラバ・イエスという
評^{へい}判^{はん}の囚^{りう}人^{にん}がいた。

17 ピラトは、人^{ひと}々^々が集^あま^りて来^きたと
きに言^いった。「ど^どち^ちら^らを^を釈^{しやく}放^{はう}してほし
いのか。バラバ・イエスか。それとも
メシ^メアとい^いわ^われる^るイエスか。」

Passio Domini (主の御受難) より p.71v

13 *Son toqui Pilatus "Amata no Judeu yori moxi caquru coto uo quiqui tamauanu ya?" to mosare-
queredomo, 14 sore nimo von-fenji xi-tamauazareba, Pilatos voqini vodoroqui mosare-queru nari. 15
Sareba mucaxi yori no fatto ni, pascoa no fi ni atatte, banmin no nosomi ni macaxe, roxa ychinin xugonin
yori yurusaruru coto ari. 16 Vorifuxi, nusumi uo xi, fito uo coroxi, caqure naqui Barrabas to yu roxa
ari-queru nari. 17 Pilatos Iudeu domo IESVS uo nicumi *tatematte sanzo uo suru to xirare, sacerdote
ni touarequeru ua, "Cono paschoa no fi ni *attatte, Christo to mosu IESVS to Barrabas to uoba, izzure uoca
yurusu-bequi zo?" to iyte, ...

13 *son toqui=sono toqui; 17 *tatematte=tatemaccutte; *attatte=atatte;

15 パスコア： ユダヤの「過越の祭」。キリストの十字架と復活がこの祭りの最中であつたため、
キリスト教会では、イースターのことを pascoa と呼ぶ。

17 讒奏： ローマ字表記は sanzo となっているが、適当な言葉がない。『キ研』はこれを「讒奏
(さんざう)」を採っている。おそらく「讒奏」か「讒訴」であろう。(讒奏)「偽りの告訴」(『日葡』)、
(讒訴)「讒言をして訴えること」、(讒奏)「天皇に讒言すること」(『新潮』)。

19 チリブナルに座^ざして居^いられけるに、
簾^{れん}中^{ちゅう}より遣^{つか}いを立^たてられ、「か^かの善^{ぜん}人^{にん}」

19 一方、ピラトが裁判の席に着いて
いるときに、妻から伝言があつた。

の上に沙汰し給うべからず。その故は、
過ぎし夜、その善人について様々の
難儀を堪えつることあり」と申されけ
るなり。

21 その時、ピラトス重ねてユデウ
に、「何れをか許すべきぞ」と申され
ければ、(サセルダウテの司、諸人に
ゼズスよりもバルラバスを請ひ許すよ
うに申し勧めて〔マルコ15:11〕)、
声々に、「バルラバスを許し給え」と
言いけれども、

22 (なおなお、ピラトスゼズスを許し
奉らんとて〔ルカ23:20〕)、重ねてサ
セルダウテに、「ユデウの帝王を何
と計らい申すべきや」と問われければ、
「クルスに掛け給え」と申しけるなり。

23 ピラトス、「何たる悪事をせられ
けるぞ」と問われけるに、ユデウ等
いよいよ大音声をもって、「クルスに
掛け給え」と申しければ、

24 ピラトスこの体を見られ、かよう
に申し乱らす上は言う甲斐なしと思わ
れ、「我、このジュストの血に穢れず、
おのおの知るべし」とて穢れぬ証と
して水を召し寄せ、諸人の前にて手を
洗われければ、

25 ユデウら、「その血は我を先とし
て、子孫の上にかかるべし」と言いけ
るなり。

26 その時、ピラトス、ユデオの望

「あの正しい人に関係しないでくださ
い。その人のことで、わたしは昨夜、
夢で随分苦しめられました。」

20 (省略)

21 そこで、総督が、「ふたりのうち、
どちらを釈放してほしいのか」と言う
と、人々は、「バラバを」と言った。

22 ピラトが、「では、メシアといわれ
ているイエスの方は、どうしたらよい
か」と言うと、皆は、「十字架につけ
ろ」と言った。

23 ピラトは、「いったいどんな悪事
を働いたというのか」と言ったが、群
衆はますます激しく、「十字架につけ
ろ」と叫び続けた。

24 ピラトは、それ以上言っても無駄
なばかりか、かえって騒動が起こりそ
うなのを見て、水を持って来させ、群
衆の前で手を洗って言った。「この人
の血について、わたしには責任がない。
お前たちの問題だ。」

25 民はこぞって答えた。「その血の責
任は、我々と子孫にある。」

26 そこで、ピラトはバラバを釈放し、
イエスを鞭打ってから、十字架につけ
るために引き渡した。

まか ゆる
みに任せ、バルラバスを許し、ゼズス
ちょうちやくたてまつ
を打擲し奉らるるなり。

Passio Domini (主の御受難) より p.71v

19 Tribunal ni xaxite yrare-queru ny, renchu yori ccucay uo tate-rare, "Cano jennin no vye ni sata xitamo-becarazu. Sono yuye ua suguixi yo, sono jennin ni ccujte samazama no nãgui uo coraye ccuru coto ari." to mosare-queru nari. 21 Sono toqui Pilatos casanete Judeu ni *izzuru uo ca yurusu-bequi zo?" to mosare-queru ba, sacerdote no *ccucassa, xonin ny IESVS yori mo Barrabas uo coy yurusu yony moxi susumete (Mk 15:11), coyegoye ni "Barrabas uo yuruxi-tamaye." to iy-queru domo, 22 nauo nauo Pilatos IESVS uo yuruxi-tatemaccuran tote (Lk 23:20), casanete sacerdote ni "Judeu no Teyuô uo nani to facaraj mosu-bequi ya?" to *toua-queruba, "Crus ni caque-tamaye!" to moxi-queru nari. 23 Pilatos "Nani taru aqiji uo xerare-geru zo?" to touare-queru ni, Iudeu-ra iyo-iyo day-unjo uo motte, "Crus ni caque-tamaye!" to moxi-qere ba, 24 Pilatos cono tey uo mirare, cayo ni moxi midarasu vye ua, yu cay naxi to vomouare, "Vare cono iusto no chi ni quengarezu, vono-vono xiraru-bexi." tote quegarenu xiruxi to xite, mizzu uo mexi-yoxe, xonin no maye nite te uo arauare-queru ba, 25 Iudeu-ra "Sono chi ua vare vo saqi toxite, xison no vye ni cacaru-bexi." to iy-queru nari. 26 Sono toqui Pilatos Iudeo no nosomi ni macaxe, Barrabas uo yuruxi, IESVS uo chochaqu xi-tatemaccura-ruru nari.

19 nãgui=nãgui; *izzuru=izzure; 21 *ccucassa=ccucasa; 22 *toua-queruba=touare-queruba;

19 チリブナル： 葡羅 tribunal。「ローマ大官の座席のあった高壇、裁判官の座席」

簾中： 「貴人の妻の意」(『日葡』)

沙汰： 「ある訴訟に関する話、または、取り調べ」(『日葡』)

27 その後、下人ども奥に引き入れ申し、

28 赤き衣装を着させ、

29 ジュンコと申す棘の輪を作り、御髪に打ち込め、御右の手に竹を参らせ、

侮り申すために在り合いける人を召し集め、御前に畏まって、「アベ、レス・ジュデオルン」と申し上げ、

30 御顔を打ち唾を吐きかけ、御手に持たせ給う竹を取って御髪を打ち奉るなり。

27 それから、総督の兵士たちは、イエスを総督官邸に連れて行き、部隊の全員をイエスの周りに集めた。

28 そして、イエスの着ている物をはぎ取り、赤い外套を着せ、

29 茨で冠を編んで頭に載せ、また、右手に葦の棒を持たせて、その前にひざまずき、「ユダヤ人の王、万歳」と言って、侮辱した。

31 このようにイエスを侮辱したあげく、外套を脱がせて元の服を着せ、十

31 すなわち、^{あか いしよう め もう}赤き衣装を脱がせ申し、^{はじ いしよう き まい かた}字架につけるために引いて行った。
^{はじ いしよう き まい かた}初めの衣装を着せ参らせ、クルスを担
^{たてまつ}げさせ奉り、

Passio Domini (主の御受難) より p.72v

27 Sono nochi guenin domo vocuni fiqui-yre moxi, 28 acaqi yxo uo qisaxe, 29 junco to mosu
ybara no ua vo ccucuri, von-guxi ni vchi-come, vom-migui no te ni taque uo mayraxe, anadori-mosu tame
ni, ariay-queru fito uo mexi-accume, von-maye ni caxicomatte, "Aue Rex Iudeorũ!" to moxi-ague, 30
von-cauo vo vchi, ccufaquí uo faqicaqe von-te ni motaxe-tamo taque uo totte, von-guxi uo vchi-tatemaccuru
nari. 31 Sunauachi acaqi yxo uo nugaxe moxi, fajime no yxo uo quixe mayraxe, crus uo catague saxe-
tatemaccuri,...

29 Iudeorũ=Iudeorum;

29 ジュンコ： 葡junco。「イグサ、スゲ」

竹： 原語では「葦」を表す。

30 レス・ジュデオルン： 羅Rex Iudaeorum「ユダヤ人たちの王」

31 クルス： 葡cruz、羅crux。「十字架」

33 さる^{ほど}程に、ゼズスにクルスを担^{かた}げ
^{たてまつ}させ奉り、カルバリの山に引き登り申
し、
34 苦^{にが}きものに酔^すを合^あわせて御口^{おんくち}に入
^{たてまつ}れ奉るを味^{あじ}わい給^{たま}いて、飲^のみ入^いれ給^{たま}わ
ぬなり。

33 そして、ゴルゴタという所、すな
わち「されこうべの場所」に着くと、
34 苦いものを混ぜたぶどう酒を飲ま
せようとしたが、イエスはなめただけ
で、飲もうとされなかった。

Passio Domini (主の御受難) より p.74

33 Sarufodoni IESVS ni crus uo catague saxe tatemaccuri, Caluari no yama ni fiqui-nobori moxi, 34
niguaqui mono ni su uo auaxete, von-quchi ni yre-tatemaccuru uo anjiuay-tamayte, nomi-yre tamauanu nari.
33 カルバリ： 羅Calvariae「頭骸骨」を表すラテン語であって、固有名詞ではなく、普通名詞。ヘ
ブル語のゴルゴタの翻訳。ラテン語聖書を通して、ヨーロッパ諸国ではカルバリという言葉は良く用い
られ、固有名詞かの如く考えられることがある。

引き登り： 『キ研』は「引き登し」としているが、『登り』の方がふさわしいと判断した。

40 「テンポロを崩^{くず}し、三日に造^みり建^つく

40 言った。「神殿を打ち倒し、三日

てんとありける^{うえ}上は、我^{われ}とその身^みを助^{たす}
けられよ。デウス・ヒイリヨならばク
ルスより^お下りられよかし」と申^{もう}すなり。
41 サセルダウテ、スキリバ、宿老^{しゆくろう}ど
もクルスのもとに立^たち並^{なら}び、悪口^{あつこう}申し
けるは、
42 「他人^{たに}を助^{たす}け、我^{われ}が身^みを助^{たす}けられざ
るや。デウス・ヒイリヨと名^な乗^のられけ
る上^{うえ}は、ただいまクルスより^お下りられ
よ。然^{しか}れば、我^{われ}等^らもイスラエルの帝^{てい}王^{おう}
と誠^{まこと}に承^うくべし」と申^{もう}すなり。

で建てる者、神の子なら、自分を救っ
てみる。そして十字架から降りて来い。」
41 同じように、祭司長たちも律法学
者たちや長老たちと一緒に、イエスを
侮辱して言った。
42 「他人は救ったのに、自分は救えな
い。イスラエルの王だ。今すぐ十字架
から降りるがいい。そうすれば、信じ
てやろう。」

Passio Domini (主の御受難) より p.75

40 "Templo uo quzzuxi, micca ni ccuquri-taten to ari-queru vye ua, vare to sono mi uo tasuque-rare yo.
D's Filho naraba, crus yori vorirare yo caxi." to mosu nari. 41 Sacerdote, scriba, xuquro-domo, crus no
moto ni tachi-narabi, acco moxi-queru ua, 42 "Tanin uo tasuqe, vaga mi uo tasuque-rarezaru ya? Deus
Filho to nanorare-queru vye ua, tadaima crus yori vorirare yo. Xicareba, varera mo Israel no Teyuo to
macoto ni vqu-bexi." to mosu nari.
40 D's=Deus

45 然^{しか}ればセスタ時^{どき}よりノナの時^じ分^{ぶん}ま
で日輪^{にちりん}光^{ひかり}を失^{うしな}いければ、世界^{せかい}常闇^{いとこやみ}とな
るなり。
46 ノナに移^{うつ}る時^じ分^{ぶん}、ゼズス御^{おん}声^{こえ}を挙^あ
げ給^{たま}い、「いかに、デウス・メウス、
いかに、デウス・メウス、何^{なに}とて我^{われ}を
放^{はな}し給^{たま}うぞ」と宣^{のたま}い、

45 さて、昼の十二時に、全地は暗く
なり、それが三時まで続いた。
46 三時ごろ、イエス是大声で叫ばれ
た。「エリ、エリ、レマ、サバクタニ。」
これは、「わが神、わが神、なぜわた
しをお見捨てになったのですか」とい
う意味である。

Passio Domini (主の御受難) より p.76

45 Xicareba, sexta-doqui yori nona no jibun made, nichirin ficari uo vxinay-quereba, xecay toco-yami
to naru nari. 46 Nona ni vccuru jibun IESVS von-coye uo ague-tamay, "Ycani, Deus meus, ycani,

Deus meus, nani tote vare uo fanaxi-tamo zo?" to notamay, ...

4 5 セスタ： 葡 sexta、羅 sextus, -a (第六番目の)、ポルトガルの一般の「六番目」という時には、seisを用い、sextaは「(古代ローマ) 一日の四つの時間区分のうち三番目」を表す。現在の正午頃。

ノナ： 葡 nona、羅 nonus, -a (第九番目の)。一般の「第九番目」としても用いられるが、ここでは「(古代ローマ) 計時法の第九時」。現在の午後三時頃。

4 6 デウス・メウス： 羅 Deus meus、「我が神」、「いかに」と合わせて「我が神よ」の意。ただし、deus meus は実際には呼格ではない。

51 その折節、テンボロ^{おりふし}にかかりたる
ペオ^{ふた}二つに裂け、大地^さ大きに震動^{だいじおお しんどう}して、
石^{いし}は己^{おの}れと砕^{くだ}け、

52 数多^{あまた}の善人^{ぜんにん}生き返^いり、

53 ゼズス^い生き返^いり給^{かえ}いて後、棺槨^{いのち}を
出^いでて、ゼルザレン^{たまた}にて諸人^{のち}に見えら
れけるなり。

54 されば、センツリヨ^{ばん}ともに番^{ばん}して
居^いける者^{もの}ども、天地^{てんち}に出^いで来る^{きた}徴^{しるし}を見^み

て、大きに怖^{おお}れけるなり。中^{おそ}にも、セ
ンツリヨ^{まこと}は「これ誠^{まこと}にデウス・ヒイリ

ヨ^{もう たつと たてま}にてまします」と申し貴^{つか}み奉^{たてま}るなり。

55 さるほどに、ガリレア^{まい}より仕^{にょにんたち}え奉^{なか}

るために参^{まい}られける女人^{おんはわ}達^{まし}の中に、
56 マリヤ・マグダネラ、マリヤ・ジャ
コベ、ジョゼフ^{おんはわ}の御母^{まし}サロメ^{まし}も在^{まし}すな
り。

51 そのとき、神殿の垂れ幕が上から
下まで真っ二つに裂け、地震が起こり、
岩が裂け、

52 墓が開いて、眠りについていた多
くの聖なる者たちの体が生き返った。

53 そして、イエスの復活の後、墓か
ら出て来て、聖なる都に入り、多くの
人々に現れた。

54 百人隊長と一緒にイエスの見張り
をしていた人たちは、地震やいろいろ
の出来事を見て、非常に恐れ、「本当
に、この人は神の子だった」と言った。

55 またそこでは、大勢の婦人たちが
遠くから見守っていた。この婦人たち
は、ガリラヤからイエスに従って来て
世話をしていた人々である。

56 その中には、マグダラのマリア、
ヤコブとヨセフの母マリア、ゼベダイ
の子らの母がいた。

Passio Domini (主の御受難) より p.76

51 Sono vorifuxi templo ni caqari-taru veo futaccu ni saqe, dajiji uoqui ni xīdo xite, yxi ua vonore
to qūdaqe, 52 amata no jennin yqui-cayeri, 53 JESVS yqui-cayeri-tamayte nochi, quanquaqu uo idete,
Jerusalem nite xonin ni mamiye-rare-queru nari. 54 Sareba, centurio tomo ni ban-xite y-queru mono-

domo, tenchi ni yde-uitaru xiruxi uo mite, voquini vosore-queru nari. Naca nimo centurio ua "Core macoto ni Deus Filho nite maximasu." to moxi, tattomi-tatemaccuru nari. 55 Sarufodo ni Galilee yori ccucaye-tatemaccuru tame ni, may-rare-queru nhonin-tachi no naca ni, 56 M^a. Magdanella, M^a. Jacobe, Josef no vō-faua Salome mo maximasu nari.

51 qūdaqe=qundaqe; 56 M^a.=Maria; 56 vō-faua=von-faua;

5 1 ベオ： 葡 véo、伯 véu、「カバー、布の覆い、ペール」。

5 3 棺槨： ローマ字が³quanquaqu とあることから「くあんくあく」と読まれたと考えられる。

61 されば^{おんあと まい}御跡より参^{まい}られけるマリヤ・
マグダネラ、別のマリヤもその所^{べち ところ}に
居^{いた}給^{たま}い、納^{おさ}め奉^{たてまつ}り様を見^{よう み}られけるなり。

62 次の日^{つぎ ひ}、サセルダウテの司^{つかさ}、同じ
くハリゼウ、ピラトスの許^{もと}に行^ゆいて申^{もう}
しけるは、

63 「いかに、主^{あるじ}、かの人^{ひと}、存生^{ぞんじよう}の時^{とき}、
『三日^{さんにち}過ぎて生き返^{い かえ}らん』と言^いわれた
るなり。

64 然^{しか}れば、弟^で子^しどもその死^し骸^{がい}を盗^{ぬす}み
取^とって、生き返^{い かえ}らると諸^{しやうにん}人^ひに披^ひ露^{ろう}す
べし。然^{しか}れば、初^{はじ}めの迷^{まよ}いよりも終^おわ
りの乱^{みだ}れはなほ深^{ふか}かるべし。三日^{さんにち}まで、
その棺^{かん}に警^{けい}護^ごの武^ぶ士^しを置^おき給^{たま}え」と申^{もう}
しければ、

65 ピラトス、「ともかくも面^{めん}々^{めん}の望^{のぞ}み
に任^{まか}せ、番^{ばん}を据^すえられよ」とありしか
ば、

66 ジュデウ^{みかん}ら御^{うえ}棺^{いんばん}の上^すに印^{いん}判^{ばん}を据^すえ、
数^{あまた}多^{ばんしゆう}の番^お衆^{しゆう}を置^おきけるなり。

61 マグダラの MARIA ともう一人の MA-
RIA とはそこに残り、墓の方を向いて
座っていた。

62 明くる日、すなわち、準備の日の
翌日、祭司長たちとファリサイ派の人々
は、ピラトのところに集まって、

63 こう言った。「閣下、人を惑わすあ
の者がまだ生きていたとき、『自分は
三日後に復活する』と言っていたのを、
わたしたちは思い出しました。

64 ですから、三日目まで墓を見張る
ように命令してください。そうでない
と、弟子たちが来て死体を盗み出し、
『イエスは死者の中から復活した』な
どと民衆に言いふらすかもしれません。
そうになると、人々は前よりもひどく惑
わされることになります。」

65 ピラトは言った。「あなたたちには、
番兵がいるはずだ。行って、しっかりと
見張らせるがよい。」

66 そこで、彼らは行って墓の石に封
印をし、番兵をおいた。

Passio Domini (主の御受難) より p.77v

61 Sareba von-ato yori mayrare-queru Maria Magdanella, *betchi no Maria mo sono tocoro ni y-tamay, vosame-tatemaccuri yo uo mirare-queru nari. 62 Ccugui no fi sacerdote no *ccucassa vonajiqu Phariseu, Pilatos no moto ni yuyte, moxi-queru ua, 63 "Ycani, Aruji, cano fito zonjo no toqui, 'Sannichi *ccūguite, iqui-cayeran.' to yuaretaru nari. 64 Xicareba dexti-domo sono xigay uo nusumi-totte, yqui-cayera-ruru to xonin ni firoso-bexi. Xicareba, fajime no mayoy yori mo voari no midare va nauo fuca-caru-bexi. Sannichi made sono quan ni qeigo no buxi uo voqui-tamaye." to moxi quereba, 65 Pilatos "Tomo-caquomo menmen no nosomi ni macaxe, ban uo suyerare yo." to arixica ba, 66 Judeu-ra miquã no vye ni, ynban uo suye, amata no banxu uo voqiqueru nari.

61 *betchi=bechi 63 *ccūguite=sunguite; miquã=miquan;

6 3 過ぎて: ローマ字は ccūnguite と ccu が使われているが、英語と同様、「つ」音で始まる語を持たないポルトガル語話者の誤記と考える。

6 4 棺: ローマ字は quan であり、「くあん」と発音された。6 6 節も同じ。

28章

18 その時代、ゼズス、デシポロに宣
わく。「天地において、あらゆる司の
勢、威力を我に与え給うなり。」

19 然れば、行きて万民に教え、パ
アレとヒイリヨとスピリト・サントの
御名をもって、その者どもにパウチズ
モを授けよ。

20 汝等に言い付けける程のことを保
つべき様に教化をすべし。然れば世界
の破滅まで我汝等ともにあるべし」と
宣うなり。

18 イエスは近寄って来て言われた。
「わたしは天と地の一切の権能を授かっ
ている。

19 だから、あなたがたは行って、す
べての民をわたしの弟子にきなさい。
彼らに父と子と聖霊の名によって洗礼
を授け、

20 あなたがたに命じておいたことを
すべて守るように教えなさい。わたし
は世の終わりまで、いつもあなたがたと
共にいる。」

Dominica Sanctissima Trinitatis. (聖三位一体の主日) p.28v

18 Sono jiday JESVS discipolo ni notamauaqu "Tenchī ni uojte *arayeru ccucassa no xei, iriqui vo vare ni ataye-tamo nari. 19 Xicareba, yuquite banmin ni voxieye, Pē. to Filho to Spirito Sancti no mi-na

vo motte, sono mono-domo ni baptismo vo sazuque yo. 20 *najiira ni yuy ccuque-queru fodo no coto
vo tamoccu-bequi yo ni quioque vo su-bexi. Xicareba xecay no famet made vare nãjjira tomo ni aru-bexi."
to notamo nari.

18 *arayeru=arayuru; *ccucassa=ccucasa; 19 P^c. =Padre; 20 *najiira=nanjijira; nãjjira=nanjijira;

19 バウチズモ： 葡 baptismo、伯 baptismo、「バプテスマ、洗礼」、この語はギリシア語（沈める）
からラテン語を通し、ヨーロッパの言語に広まった。

編集方針等については四国学院『論集』（121号、2006年12月22日）「バレット写
本現代訳（1）の序を参照されたい。